

HiBase Version 4.1

for the Machintosh

オペレーション・マニュアル

HiBase (ハイベース) をお買い求めいただき、
誠にありがとうございます。

HiBase を未永く有効にお使いいただくため、
このマニュアルをお役立てください。



本マニュアル、およびマニュアルに記載されているソフトウェア（コンピュータプログラム）は、ホロン株式会社にすべての権利が帰属します。

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、ホロン株式会社の書面による同意なしには、本マニュアルやプログラムの一部または全部を問わず、複製を禁じています。

本ソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。

本マニュアルには、正確な情報を記載するように努めましたが、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。

また、本ソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

Appleの名称、ロゴマークは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されたソフトウェア、ハードウェア製品の名称およびロゴマークは、すべて開発および著作・販売会社等、関係各社の商標または登録商標であることを明記し、本文中での表記を省略させていただきます。

本マニュアルに記載された人物、団体名は、全て架空であり、実在いたしません。

類似の人物、団体名が存在する場合は、全くの偶然であり、本マニュアルには一切関係がありません。

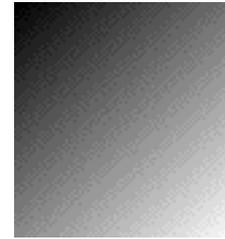
また、本マニュアルに記載された他社商品名は、参考を目的としたものであり、それら製品の使用を強制または推奨するものではありません。



はじめに ...

H i B a s e

Welcome...



HiBase へようこそ!!

「データベース」というと、なにか複雑でわかり難い気がします。
その理由は、データベースがとても多彩な応用力を持っているからに他
なりません。

「イントラネット」、「PIM(個人情報管理システム)」、「CAL& (生産・調達・
運用支援統合情報システム)」、「BPR (ビジネス・プロセス・リエンジ
ニアリング)」...

「データベース」は、これら新しいコンピュータの可能性を実現する「グ
ループウェア」や「エージェントソフト」の心臓部です。

もっと手軽にいろんなことを...

HiBase のコンセプトはそこにあります。

マックの行動半径を広げる新しい世界へ、さあ、ご案内いたします。

HiBase の「マニュアル構成」と読み方...



How To Use This Manual...

お買い求めいただいた **HiBase** には、「スタートアップ・マニュアル」、「オペレーション・マニュアル」の 2 冊の「操作マニュアル」および、**HiBase** のアプリケーションプログラムを開発するための「プログラミング・ガイド」、「プログラミング・リファレンス」が用意されています。

この「マニュアル」は、「**オペレーション・マニュアル**」です。

ご案内

「ビギナー」の方は...

- ➡ まず、「**スタートアップ・マニュアル**」をひととおりお読みになり、**HiBase** の基本操作に慣れてください。

「スタートアップ・マニュアル」は、**HiBase** のセットアップ、および、**HiBase** の操作に最低限必要な知識、**HiBase** の概略を説明しています。

また、「**HiBase** の基本アプリケーション」を具体的な実務でご利用いただく方法を、ステップ・バイ・ステップで紹介しています。

「データベース」をよくご存じの方

／「**HiBase** のアプリケーション・プログラム」を開発する方は...

- ➡ 「スタートアップ・マニュアル」の「第 1 章」を参考に **HiBase** の基本アプリケーションや補足ファイル、インタフェース・プログラムなどをインストールしてください。

以降、必要に応じて、「オペレーション・マニュアル」や「プログラミング・ガイド」、「プログラミング・リファレンス」の該当ページをお読みいただいても構いません。

「旧バージョンの HiBase」からアップグレードされた方は...

- ➡ 「**HiBase 4**」は、「データベース・コネクティビティ」の強化に伴い、「データベース仕様」に幾つかの改善を行ないました。

「旧バージョンの **HiBase**」で作成した「データベース」を引き続き利用する場合は、「オペレーション・マニュアル」の「第 2 章 / データベースを管理する」を参考に「データベース」をメンテナンスしてください。

専門的な用語はその都度解説していますが、**HiBase** に関する用語の意味や操作手法、概念、ライセンスなどを調べたいときは、「オペレーション・マニュアル」巻末の「用語解説」、「ソースコードライセンスのご案内」をお役立てください。

マッキントッシュや漢字Talk の基本操作や専門用語については、『マッキントッシュ』や『漢字Talk』付属のマニュアル、ご利用周辺機器や各アプリケーション、ネットワークなどについての詳細は各々の説明書を参照してください。

表示の一部や参考例などが、ご使用になられるシステム構成によって異なることもありますので、ご了承ください。

「オペレーション・マニュアル」は、「**HiBase**の基本アプリケーション (**HBServer**、**HBUtil**、**Session**)」および、「**HiBase**のJava アプレット(**HBUtil**、**HBBrowser**)」の機能や操作方法を、標準的な作業順序にしたがって説明しています。

参考書のように、必要箇所だけをお読みにできるように構成されていますので、ご利用中、随時、必要なページを探してお読みください。
なお、附録として、**HiBase**の「ソースコードライセンスのご案内」および、**HiBase**の用語解説、基本仕様などを説明しています。

第1章 **HiBase**の紹介です

HiBaseの構成と特長 および、「**HiBase**の基本アプリケーション / Java アプレット」を使った一連の作業手順を紹介しています。

一読することで、**HiBase**の概略がご理解いただけます。

第2章 **HiBase**のアドミニストレーション・ガイドです

基本アプリケーションの「**HBServer**」や「**HBUtil**」を利用した「データベース / Web サイト」の運営 / 管理機能と操作方法を説明しています。

データベースをメンテナンスする際、必要に応じてご覧ください。

第3章 **HiBase**のオーサリング・ガイドです

基本アプリケーションの「**Session**」を利用した「セッション・オーサリング」の機能と操作方法を説明しています。

セッションをメンテナンスする際、必要に応じてご覧ください。

第4章 **HiBase**のブラウジング・ガイドです

基本アプリケーションの「**Session**」を利用した「ブラウジング」の機能や操作方法を説明しています。

データを表示 / 操作する際、必要に応じてご覧ください。

第5章 **HiBase**のJava アプレット・ガイドです

Java アプレットの「**HBUtil**」や「**HBBrowser**」を利用した「データベース管理 / ブラウジング」の操作方法を説明しています。

「**HiBase**のJava アプレット」を利用する際、必要に応じてご覧ください。

特別な情報は、次のように示します...



操作に関する補足情報や別の操作法を示します。



注意すべき操作を警告します。



親トピックのページへジャンプします。





Contents

| | |
|--|----|
| はじめに... | 3 |
| HiBase の「マニュアル構成」と読み方... | 4 |
| 第 1 章 Preface... | 13 |
| HiBase へようこそ... | 14 |
| HiBase の特長 | 16 |
| HiBase の「基本アプリケーション」 | 19 |
| 「基本アプリケーション」での作業手順 | 20 |
| 第 2 章 Database Administration ... | 23 |
| HiBase の「基本アプリケーション」を使う | 24 |
| HBServer を開始 / 終了する | 24 |
| サーバの運用を開始する | 25 |
| サーバの設定を確認 / 変更する | 26 |
| クライアント情報を確認する | 28 |
| サーバの運用を停止 / 終了する | 29 |

| | |
|-----------------------------|----|
| データベースを管理する | 30 |
| HBUtil を開始 / 終了する | 30 |
| - HBUtil を開始する場合は... | 31 |
| - HBUtil を終了する場合は... | 33 |
| データベースを作成する | 34 |
| データベースとは... | 34 |
| データベースを作成 / 削除する | 38 |
| - データベースを作成する場合は.. | 38 |
| - データベースを削除する場合は.. | 39 |
| データベースファイルを作成する | 40 |
| データベースファイルを作成 / 削除する | 40 |
| - データベースファイルを作成する場合は.. | 40 |
| - データベースファイルを削除する場合は.. | 42 |
| アイテムとキーをセットする | 43 |
| - アイテムやキーを作成する場合は... | 44 |
| - アイテムやキーを削除する場合は... | 48 |
| データをロードする | 49 |
| - データを読み込む場合は... | 50 |
| ロードファイルの作成方法 | 50 |
| データの読み込み方法 | 51 |
| - データを書き出す場合は... | 54 |
| データベースの情報を確認する | 56 |

| | |
|---|----|
| 第3章 Authoring the Session ... | 59 |
| セッションを管理する | 60 |
| Session を開始/終了する | 61 |
| - Session を開始する場合は... | 61 |
| - Session を終了する場合は... | 63 |
| セッションを作成する | 65 |
| セッションとは... | 65 |
| セッションを作成/削除する | 66 |
| - セッションを作成する場合は.. | 66 |
| - セッションを削除する場合は.. | 68 |
| セッションをオーサリングする | 70 |
| レイアウトを編集する | 70 |
| レイアウトとは... | 70 |
| レイアウトを作成/削除する | 72 |
| - レイアウトを作成する場合は.. | 73 |
| - レイアウトを削除する場合は.. | 75 |
| フレームなどを設計する | 76 |
| - 一覧レイアウトまたは詳細レイアウトの ウィンドウを表示する場合は.... | 76 |
| - フレームを選択する場合は.. | 77 |
| - フレームを削除する場合は.. | 78 |
| - フレームの位置/サイズ、表示方法などを 変更する場合は... | 79 |
| - フレームを追加する場合は.. | 82 |
| - チェックボックス、ラジオボタンを セットする場合は... | 86 |
| - 背景にグラフィックなどを貼り込む場合は... | 89 |
| レイアウト編集を終わる | 90 |

| | |
|----------------------------------|------------|
| グループを編集する | 92 |
| グループとは... | 92 |
| グループを作成 / 削除する | 93 |
| - グループを作成する場合は.. | 94 |
| - グループを削除する場合は.. | 96 |
| 検索条件を編集する | 98 |
| - グループ編集のウィンドウを表示する場合は... | 98 |
| - 検索条件をセットする場合は... | 99 |
| - 検索条件を選択する場合は.. | 104 |
| - 検索条件を削除する場合は.. | 104 |
| - 検索条件の順番を変更する場合は.... | 105 |
| グループ編集を終わる | 106 |
| 第4章 Browsing the Data ... | 109 |
| データを閲覧する | 110 |
| データを表示する | 110 |
| セッションを開く | 110 |
| - グループを開く場合は... | 112 |
| - 詳細表示する場合は... | 114 |
| データを処理する | 116 |
| データを編集する | 116 |
| データを更新する | 116 |
| レコードを追加 / 削除する | 118 |
| - レコードを追加する場合は... | 118 |
| - レコードを削除する場合は... | 120 |
| データファイルを読み込む / 書き出す | 122 |
| - データファイルを読み込む場合は... | 122 |
| - データファイルを読み込む場合は... | 123 |
| データを並べ変える | 124 |
| データを印刷する | 130 |

| | |
|---------------------------------------|-----|
| 第5章 Using HiBase Applet ... | 133 |
| HiBase の「Java アプレット」を使う | 134 |
| HiBase のWeb サイトを利用する | 134 |
| HiBase のWeb サイトとは... | 134 |
| HBUtil, HBBrowser を開始 / 終了する | 136 |
| HBUtil, HBBrowser をロードする | 137 |
| - データベースにアクセスする場合は.. | 138 |
| - HBUtil, HBBrowser を終了する場合は.. | 139 |
| データベースファイルを管理する | 140 |
| データベースファイルを作成する | 140 |
| データベースファイルを作成 / 削除する | 140 |
| - データベースファイルを作成する場合は.. | 140 |
| - データベースファイルを削除する場合は.. | 142 |
| アイテムとキーをセットする | 143 |
| - アイテムやキーを作成する場合は... | 143 |
| - アイテムやキーを削除する場合は... | 146 |
| データベースファイルの情報を確認する | 147 |
| データを閲覧 / 編集する | 148 |
| データを表示する | 148 |
| セッションを開く | 149 |
| - グループを開く場合は... | 150 |
| データを編集する | 152 |
| データを更新する | 152 |
| レコードを追加 / 削除する | 153 |
| - レコードを追加する場合は... | 153 |
| - レコードを削除する場合は... | 155 |

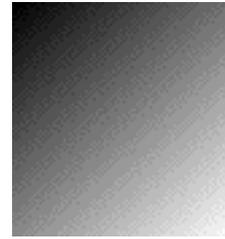
| | | |
|--------------|--------------------------|-----|
| Appendix - A | Information... | 156 |
| | ソースコードライセンスのご案内 | 158 |
| | ライセンスの種類 | 158 |
| | - HiBase 使用ライセンス | 159 |
| | - HiBase コピーライセンス | 161 |
| | - HiBase 改変ライセンス | 162 |
| | ライセンスの選び方 | 162 |
| | - データベース運用 | 163 |
| | - プロダクト販売 | 163 |
| | - その他 | 164 |
| Appendix - B | Commentary... | 165 |
| | 用語解説 | 166 |
| | HiBase の主な仕様 | 182 |
| | 標準的な使用環境 | 182 |
| | HiBase の基本仕様 | 184 |



第 1 章

H i B a s e

Preface...



この章では、**HiBase**の構成と特長、および、「**HiBase**の基本アプリケーション」や「Java アプレット」を使った一連の作業手順について説明します。

一読することで、**HiBase**の概略がご理解いただけます。





「HiBase」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

「HiBase」は、

「データベースサーバ」と「Webサーバ」を統合した
HiBase の「複合サーバ」を利用して、

「インターネット/イントラネット」をはじめとした
「データベース・システム」を構築/運用するための
「利用環境 (基本アプリケーション)」と、

独自の「アプリケーション」や「アプレット」などを開発し、
マルチプラットフォームで、ダイナミック、かつ、双方向の
「データベース・システム」を開発するための
「開発環境 (インタフェース・プログラム)」を
セットにした、

「リレーショナルデータベース・管理システム」です。

「イントラネット」をはじめとした各種「データベース・システム」、Client/Server 環境での「グループウェア」の運用/開発にお役立てください。

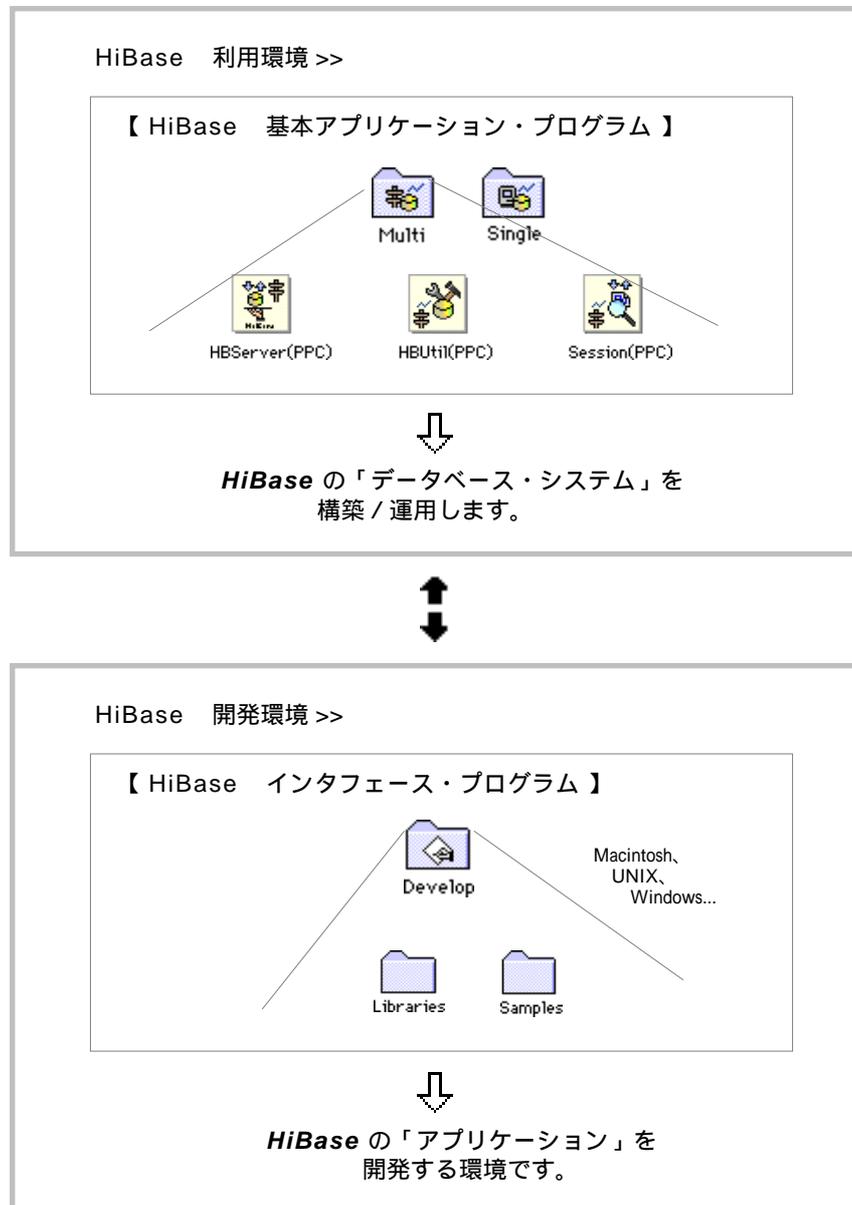


お買い求めいただいた「HiBase」には、HiBase の「使用ライセンス」が含まれますが、HiBase で開発した独自の「アプリケーション・プログラム」を第三者に配付/販売したり、HiBase に移植や改変を行うためには、別途「コピーライセンス」や「改変ライセンス」が必要です。



HiBase の「アプリケーション・プログラム開発」や「HiBase インタフェース・プログラム」についての詳細は「プログラミング・ガイド」、HiBase のライセンス契約についての詳細は、「ソースコードライセンスのご案内」をご覧ください。

【 HiBase リレーショナルデータベース・管理システム 】



「HiBase」は、TCP/IP に対応した「Client/Server モデル」の「データベースサーバ」と、「Web サーバ (HTTP サーバ)」を装備しています。

HiBase の開発環境は、Macintosh、UNIX、Windows などの主要マルチプラットフォームはもちろん、特殊なOSへの移植も短期間で行うことができるように設計されています。

HiBase の特長



「HiBase」は、「TCP/IP」に対応したネットワーク対応、マルチ・プラットフォームの「リレーショナルデータベース・管理システム」です。

「HiBase 4」は、更に「データベース・コネクティビティ」を強化しました。

Network Connectivity

「インターネット」/「イントラネット」対応の
「アプリケーション・プログラム」を開発支援

「HiBase」は、「Client/Server モデル、Multi User / Multi Thread 環境」を標準としています。

「HiBase」を利用した「アプリケーション・プログラム」は、自動的に「グループウェア」として機能するため、開発者は、独自にTCP/IPに関するプログラミングをする必要がなく、「インターネット/イントラネット」対応した独自の「ネットワーク・システム」、「グループウェア」開発を行うことができます。

HiBase での「アプリケーション・プログラム」開発は、データベース管理システム特有の難しい考え方を必要としません。

HiBase の「クラス・ライブラリ」を「CodeWarrior (または、Visual C++) プロジェクト」に追加するだけですぐにプログラミングを開始することができます。

「HiBase 4」は、従来の「DB Server」に加え、「HTTP Server (WEB Server)」を用意しました。

これらを機能統合した「複合サーバ」は、「インターネット/イントラネット環境」での「データベースアクセス」を容易にします。

「DB Server」は、複数の「クライアント・マシン」から、異なるプロトコルでの同時アクセスが可能です。

「HTTP Server」は、JAVA言語で開発された HiBase クライアントプログラム (アプレット) の集中管理を行うノードとしての機能も提供しています。

また、現在開発中の「SQL Server」との連動により、HiBase を将来更に強力なシステムに拡張することも可能です。

User Connectivity

Macintosh、UNIX、Windows の
マルチプラットフォーム上で稼働 / 高移植性

「HiBase」のエンジンは、Macintosh、Windows (Windows31, 95, 98, NT)、UNIX など、現在考えられるすべての汎用「プラットフォーム」上で稼働し、特殊なOSへの移植も短期間で行えるよう「移植性・柔軟性」に重点を置いて設計されています。

更に、「HiBase 4」は、汎用「Web Browser (Netscape Navigator, Microsoft Internet Explorer ect..)」からの「データベースアクセス」を可能にしました。

各環境で作り上げた「データベース・ファイル」は、ハードウェアやOSに左右されないバイナリレベルでのコンパチビリティがあり、ユーザコネクティビティの高い「データベーストランザクション処理」を実現することができます。

たとえば、メーカー独自の「P I M」へHiBase を移植し、独自の「業務アプリケーション」を提供したり、「Macintosh」で作出した「データベース」を「Windows」にコピーして使う、「Web Browser」でブラウズする ... といったことが容易に可能となります。

「HiBase」開発の当初（1993年4月）の目的は、「アプリケーションから利用できるデータベースエンジンの提供」にありました。そのため、開発の当初から「C/Pascal」のような汎用言語をクライアントとする「API」を備えています。

現在、「HiBase」は、「データベースエンジン」を中核として、「HiBase API」、「JAVA API」、「SQL サーバ」、「SQL プロセッサ」、「ODBC ドライバ」... を組み合わせた高度なレイヤー構造になっています。

「HiBase 4」は、従来の「C/C++言語インタフェース (HiBase API)」に加え、「JAVA 言語インタフェース (HiBase JAVA API)」を用意しました。

HiBaseのクライアントプログラムをJAVA言語で開発し、「アプレット」として実行することで、汎用ブラウザから「データベーストランザクション処理」を行ったり、面倒なCGI開発を伴わずに、ダイナミックな「WEB Site」を構築することができます。

更に、現在開発中の「SQL Server」は、複数の利用者から「SQL言語」でのデータベースアクセス要求を実行するプロセッサで、「ODBC/JDBC」との組み合わせも可能です。

開発者は、用途に合わせて、「汎用言語」、「JAVA 言語」及び「SQL」を選択することができ、HiBaseのどの階層からでも「データベース」へアクセスすることができます。

これらの利用により、HiBaseを他のRDBMSと共存させ、将来に渡って安定した「データプロセッシング環境」を運用することが保証されます。

「HiBase」は、どんな分野の「アプリケーション・プログラム」にも適応する、汎用化の目的を持って設計されています。

また、「RDBMS」であると同時に、「ソリューションベース」という側面も持っています。

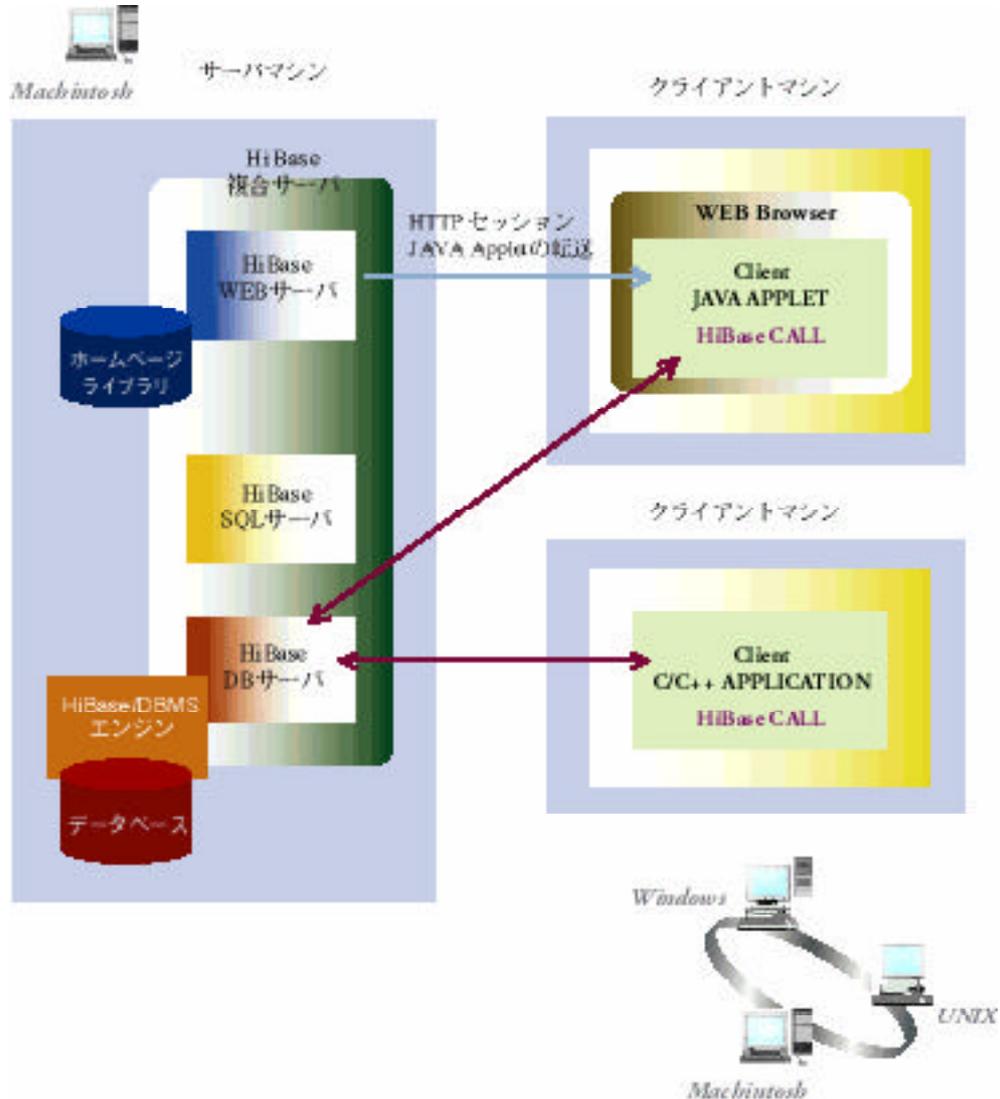
HiBaseは、すべてのデータ項目に複数のバリューを格納する（「マルチバリュー」）ことができ、データスキーマとして「グラフィックス」、「サウンド」、各種「ドキュメント」...などもサポートしています。

通常「RDBMS」は、1つの「アイテム」に1つの「値」しか格納できませんが、HiBaseでは、レコード内の全ての「アイテム」それぞれに、複数個の値を格納できるという性格もっています。

また、HiBaseは、「アイテム」の「データタイプ」、「サイズ」、「値の数」、「アイテムの定義有無」まで含め、全てが実行時に結合するという、他に例を見ない柔軟性を備えています。

更に、「HiBase 4」は、項目の最大長の制限を取り去りなど、HiBaseの応用分野を大きく拡げるための改善を行ないました。

「HiBase を利用した データベース管理システム」



「HiBase」は、データ操作を「集合演算指向のトランザクション処理」で行うため、**大量データでも高速に**処理することができます。

集合操作には、

- ・ 「完全 / 前方 / 後方 / 中間一致」などを利用した特定条件を満たすレコード群から構成される「集合の作成」
- ・ 集合間の「and」、「or」、「not」操作による、新たな「集合演算」
- ・ 集合内のレコード項目値の降順 / 昇順における並び変え（「集合ソート」）
など、多彩な関数群が用意されています。

また、「データベース」のI/Oバッファとして「独自のディスクキャッシュ」をメモリ上に確保し、時間のかかるディスクI/Oを最小限に抑え、「処理の高速化・データベース更新の効率化」をはかるなど、快適な操作環境を実現するための工夫が随所に凝らされています。

「HiBase」を深く理解していただき、「データベースの最適化」にお役立ていただくため、「HiBase / プロフェッショナル環境」では、**全てのソースコードを開示 / 提供**しています。

HiBase の「基本アプリケーション」



HiBase には、

次の 3 種類の「基本アプリケーション」と「Java アプレット」が用意されています。

HiBase の「基本アプリケーション」は、HiBase を利用するための基本的な「アプリケーション・プログラム」です。

HiBase のデータベースの定義、トランザクション処理、Web サイトの運用 / 利用... など、一連の処理操作を行うことができます。

HiBase の「複合サーバ」プログラム

(「HBServer (68k)」, 「HBServer (PPC)」)

本マニュアル中では、これらの基本アプリケーションを「HBServer」と表記します。



HBServer(PPC)

➡ 「HBServer」は、

HiBase を複数のコンピュータ間で共有してご利用いただくための「データベースサーバ / Web サーバ」プログラムです。

HiBase の「データベース定義ユーティリティ」ツール

(「HBUtil (68k) for Single」, 「HBUtil (PPC) for Single」)

または、「HBUtil (68k) for Multi」, 「HBUtil (PPC) for Multi」)

本マニュアル中では、これらの基本アプリケーションを「HBUtil」と表記します。



HBUtil(PPC)

➡ 「HBUtil」 & Java アプレット「HBUtil」は、

HiBase の「データベース」を定義 / 管理するためのツールです。

Web サイトを利用して HiBase の「データベース」を定義 / 管理する場合は、「Java アプレット (「HBUtil」)」を利用します。

HiBase の「データベース定義ユーティリティ」ツール

(「Session (68k) for Single」, 「Session (PPC) for Single」)

または、「Session (68k) for Multi」, 「Session (PPC) for Multi」)

本マニュアル中では、これらの基本アプリケーションを「Session」と表記します。



Session(PPC)

➡ 「Session」 & Java アプレット「HBBrowser」は、

HiBase の「データベース」を表示 / 操作するためのツールです。

Web サイトを利用して HiBase の「データベース」を表示 / 操作する場合は、「Java アプレット (「HBBrowser」)」を利用します。



各アプリケーションに、「68K Macintosh」用と「PowerPC」用があります。また、「HBUtil」と「Session」には、「シングル・ユース」用と「ネットワーク・ユース」用があります。(各アイコンのデザインが少しずつ異なります。)

「基本アプリケーション」での作業手順...



HiBaseの「基本アプリケーション」での作業は、
大きく分けて、次の3段階に分れます。



HBServer(PPC)

データベース・システムの運用/管理

➡ 「HBServer」, 「HBUtil」を利用します。



HBUtil(PPC)

1. 「データベースシステム/Web サイト」の運用/管理 (アドミニストレーション)

HiBaseの「データベースサーバ/Webサーバ」の運用を開始/終了したり、「データベース」や「データベース・ファイル」の作成/削除/メンテナンス...などを行います。

主に、「データベース」の作成、削除などに権限を持つ「データベース管理者」が行います。



Session(PPC)

データベースの利用

➡ 「Session (HBBrowser)」を利用します。

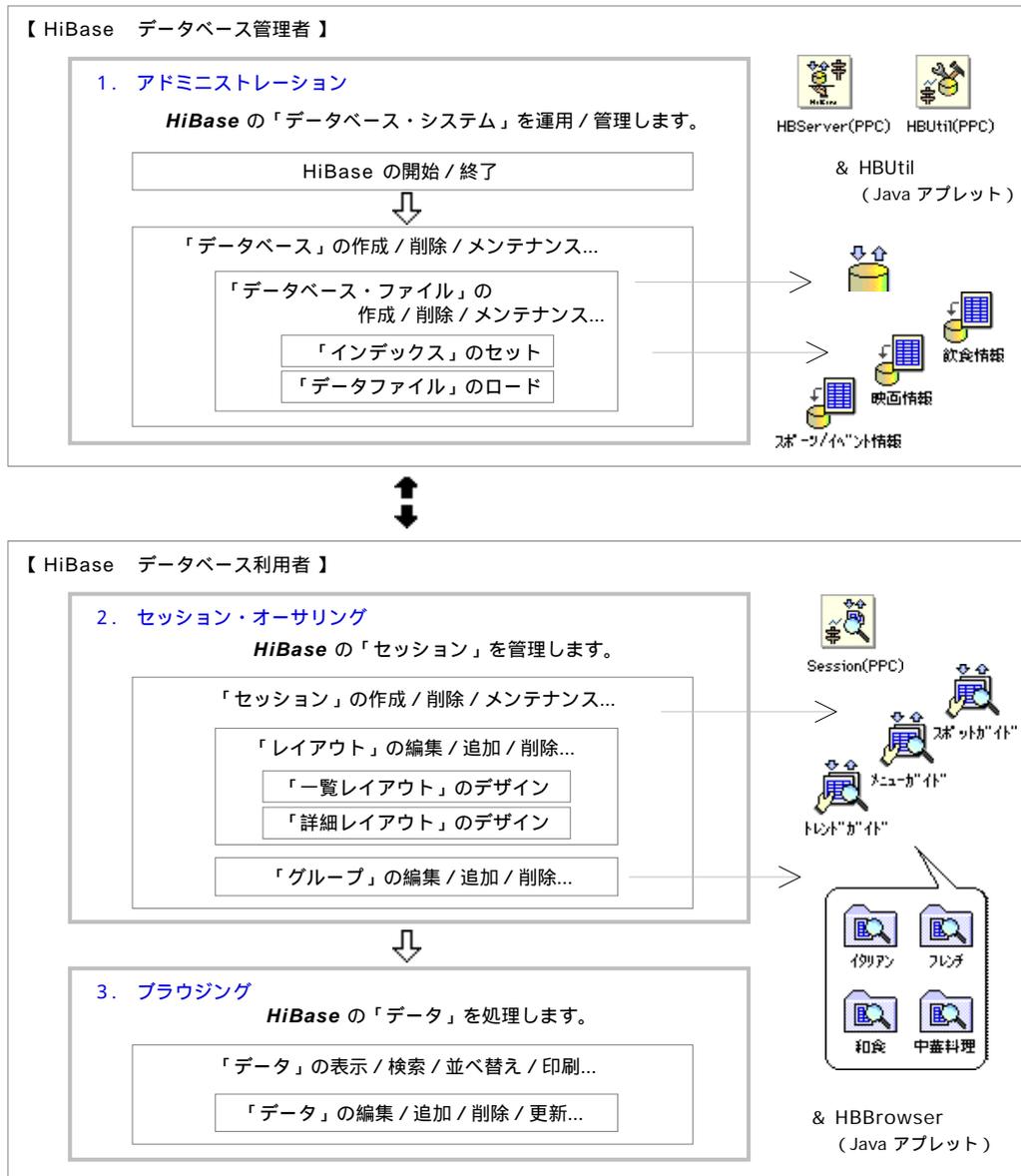
2. 「データベース」の表示設計 (セッション・オーサリング)

「データ」の並べ方(「レイアウト」デザイン)や、検索条件(「グループ」)の設計図である「セッション」の作成/削除/メンテナンス...などを行います。

3. 「データ」の表示/編集 (ブラウジング)

「データ」の表示/検索/並べ替え/印刷...などを行います。
新しい「レコード」の追加/削除/更新...などの編集作業を行うこともできます。

【 HiBase 基本アプリケーションでの作業手順 】



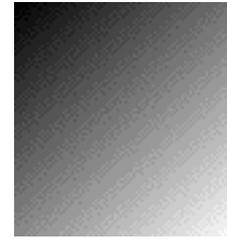




第 2 章

H i B a s e

Database Administration ...



この章では、「**HBServer**」や「**HBUtl**」を利用した、「データベースシステム」や「Web サイト」の運用 / 管理機能と操作方法を、標準的な作業順序にしたがって説明します。

HiBaseの「データベース」をメンテナンスする際、随時ご覧ください。



目次



マニュアルガイド

HiBase の「基本アプリケーション」を使う



Database Administration ...

「HiBase」は、以下の2通りの方法でご利用いただけます。



ご利用方法によって、利用するアプリケーションの種類が異なりますのでご注意ください。



各「基本アプリケーション」のファイル構成やインストールについての詳細は、『スタートアップ・マニュアル』をご覧ください。

HiBase を

1台のMacintosh 上でのみご利用になる場合は...
(Webサイトを運用しない場合)

➡ 「シングル・ユース」用(「Single」フォルダ内)の基本アプリケーションをご利用ください。

ネットワーク環境でご利用になる場合は...

➡ 「ネットワーク・ユース」用(「Multi」フォルダ内)の基本アプリケーションをご利用ください。

HBServerを開始/終了する

ネットワーク環境でご利用になる場合は...

HiBase を ネットワーク 環境でご利用になる場合は...

(複数のMacintosh間で共有してご利用になる場合や、Webサイトを運用する場合)

➡ まず最初に、「HBServer (HiBaseの複合サーバ)」を起動し、
HiBaseの「データベースサーバ/Webサーバ」の運用を開始する必要があります。

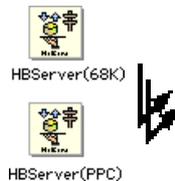
HiBaseを1台のMacintosh上でのみご利用になる場合(「Single」フォルダ内の基本アプリケーションをご利用になる場合)は、「HBServer」の起動を行う必要がありません。

HBServerの開始/終了は、「データベース」の作成/削除や、「Webサイト」の運用/管理などに権限を持つ「データベース管理者」が行ってください。

サーバの運用を開始する



HiBase の「データベースサーバ」、「Web サーバ」の運用を開始するときは、次のように操作します。



「Multi」フォルダの中の
「HiServer」のアイコンを選択し、
ファイルメニューから「開く」を選択します。
「HiServer」のアイコンをダブルクリックしても起動できます。

68K Macintosh でご利用の場合



Power Macintosh でご利用の場合



「HiBas Server Group」のウィンドウが表示されます。



HiBase を共有する複数の端末コンピュータのことを「クライアント」といいます。

「HiBas Server Group」のウィンドウは、HiBase の各「サーバ」と「クライアント」間の接続状況を示します。

運用するサーバの「サービス開始」をクリックし、 にします。

HiBase の「データベースサーバ」や「Web サーバ」の運用が開始されます。



各ネットワークなどについての詳細は『マッキントッシュ』や『漢字 Talk』付属のマニュアル、各ネットワークに付属のマニュアルを参照してください。

サーバの設定を確認 / 変更する



HiBase は、各サーバを運用するために必要な情報やデータを、次のファイルやフォルダに保管しています。

「データベースサーバ / Webサーバ」の環境設定

システムフォルダ > 「Holon」フォルダ内の  HiBase.ini

「データベース / Web サイト」の運用データ

 内の >  と  WebSite

「HiBase」や「DBSite」、「WebSite」のフォルダ名は、変更しないでください。



以下の場合は、「データベースサーバ」、「Webサーバ」の環境設定を変更してください。

- 「HiBase」や「DBSite」、「WebSite」フォルダの位置を変更する場合
- 各サーバの「ポート番号」を変更する場合
(各サーバの初期値：データベースサーバ = 3330、Webサーバ = 80)
- 各サーバの「キャッシュサイズ」を変更する場合
- 「旧バージョンの **HiBase**」で作成した
「データベース番号=2」以降の「データベース」を利用する場合
- 「Web マスタメールアドレス」を設定する場合

「データベースサーバ」、「Webサーバ」の環境設定を確認 / 変更する場合は、次のように操作します。

「HiBase Server Group」のウィンドウで、
設定を変更するサーバのイラストをクリックします。

各サーバの「環境情報」のパネルが表示されます。

【データベースサーバの環境設定】

「データベースサーバ」の環境設定

「DBSite」フォルダの保管場所

アクティブな「データベースID番号」



【 Web サーバの環境設定 】



大容量のデータを扱う場合など、必要があれば、「キャッシュサイズ」を入力しても構いませんが、通常変更の必要はありません。
(初期値以下への変更はお薦めできません。)

各内容を確認 (変更) し、

() をクリックします。

設定を変更した場合は、「HBServer」を起動し直してください。



「データベースサーバ」、「Webサーバ」の環境設定は、
「HBServer」終了後、「SimpleText」などのエディタを起動して、

システムフォルダ >  内の  を開き、
Holon HiBase.ini

以下のパラメータ値を変更、保存しても変更できます。

ROOTPATH = HiBaseフォルダへのパス
DBSITE = DBSiteフォルダへのパス
WEBSITE = WebSiteフォルダへのパス
DBPORT = データベースサーバのポート番号
DBACTIVE = アクティブなデータベースのID番号
WEBPORT = Webサーバのポート番号
WEBMASTER = Webマスタのメールアドレス
LOGFILE = コマンドログを書き出すファイル名
DBCASH = データベースサーバのキャッシュサイズ (kbytes単位)
WEBCASH = Webサーバのキャッシュサイズ (kbytes単位)
[DB#1] = データベース番号 1 のデータベース名、コメント
NAME = " "
DESC = " "

クライアント情報を確認する

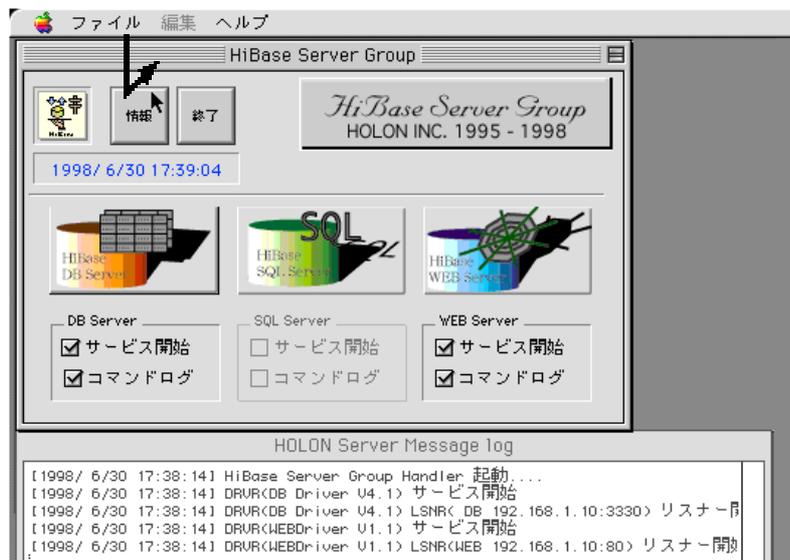


現在 **HiBase** へアクセスしている「クライアント」の情報を確認する場合は、次のように操作します。

「HiBase Server Group」のウィンドウの



をクリックします。



- 「クライアント情報」のパネルに、現在 **HiBase** へアクセスしているクライアント数などが表示されます。

「最大クライアント数」を変更する場合は、

「最大クライアント数」を変更し、



をクリックします。

「データベースサーバ」は、最大255人までアクセスできます。



「サーバ」へのアクセス状況は、システムフォルダ > 「Holon」フォルダ > 「HiBase.ini」ファイル内の「LOGFILE」パラメータで指定されているファイルに記録されます。

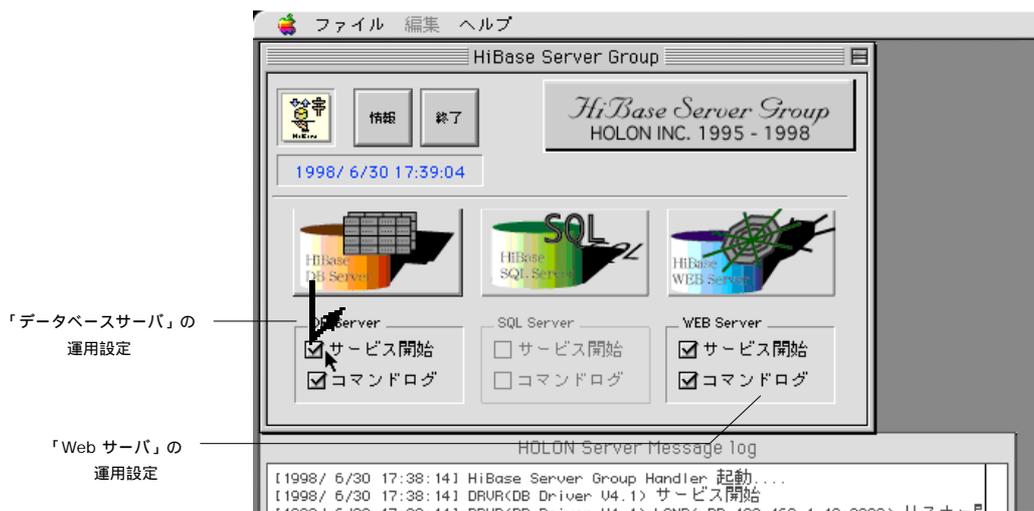
サーバの運用を停止 / 終了する



「データベースサーバ」、「Web サーバ」の運用を停止 / 終了する場合は、事前に全クライアントに運用停止を知らせてください。
また、「クライアント情報」のパネルで、現在 **HiBase** へアクセスしている「クライアント数」が「0」であることを確認してください。

「データベースサーバ / Web サーバの運用」を停止する場合は...

➡ 停止するサーバの「サービス開始」を にしてください。



「データベースサーバ / Web サーバの運用」を終了する場合は...

➡  をクリックします。

ファイルメニューから「終了」を選択しても同じ操作ができます。

☒ 「HiBas Server Group」のウィンドウが閉じて、ファインダに戻ります。

データベースを管理する



Database Administration ...

「データベース」や「データベースファイル」の作成、削除...などのメンテナンスを行う場合は、基本アプリケーションの「**HBUtil**」(または、「Java アプレットの **HBUtil**」)を利用します。

データベースの管理は、「データベース」の作成、削除などに権限を持つ「データベース管理者」が行ってください。



「Java アプレットの **HBUtil**」の利用については、『**HiBase**のJava アプレットを使う』をご覧ください。

HBUtilを開始/終了する

「**HBUtil**」をはじめる前に...



HiBase をネットワーク環境でご利用の方は...

➡ **HiBase** の「データベースサーバ」が運用していることを確認してください。

HiBase を1台のMacintosh上でのみご利用になる場合(「Single」フォルダ内の基本アプリケーションをご利用になる場合)、「**HBServer**」を起動する必要はありません。



「**HBServer**」の起動については『**HBServer**を開始/終了する』をご覧ください。



「**HBUtil**」は、ご利用中のMacintoshで、他の**HiBase**の基本アプリケーションが実行している間はご利用になれません。

ご利用のMacintosh上で「**Session**」または、Java アプレットの「**HBUtil**」「**HBBrowser**」が起動中の場合は...

➡ いったんそれらを終了してください。



「**Session**」の終了については『**Session**を開始/終了する』、Java アプレットの「**HBUtil**」や「**HBBrowser**」の終了については『**HiBase**のJava アプレットを開始/終了する』をご覧ください。

HBUtil を開始する場合は...



「Single」または、「Multi」フォルダの中の
「HBUtil」のアイコンを選択し、
ファイルメニューから「開く」を選択します。
「HBUtil」のアイコンをダブルクリックしても起動できます。

1台のMacintosh 上でのみご利用の場合 = 「Single」フォルダ

68K Macintoshでご利用の場合



Power Macintosh でご利用の場合



ネットワーク 環境でご利用の場合 = 「Multi」フォルダ

68K Macintoshでご利用の場合



Power Macintosh でご利用の場合



☐ 「Multi」フォルダ内のアプリケーションをご利用の場合は、
「接続ノード」を設定するパネルが表示されます。

「Single」フォルダ内のアプリケーションをご利用の場合、「接
続ノード」の設定パネルは表示されません。

「ホスト名」と「ポート番号」を入力します。

「ホスト名」には、サーバの「ドメイン名」または、「IP アドレス」など、「DNS」の解釈可能なサーバアドレスを入力してください。

「ポート番号」には、「データベースサーバポート番号（初期値= 3330）」を入力してください。

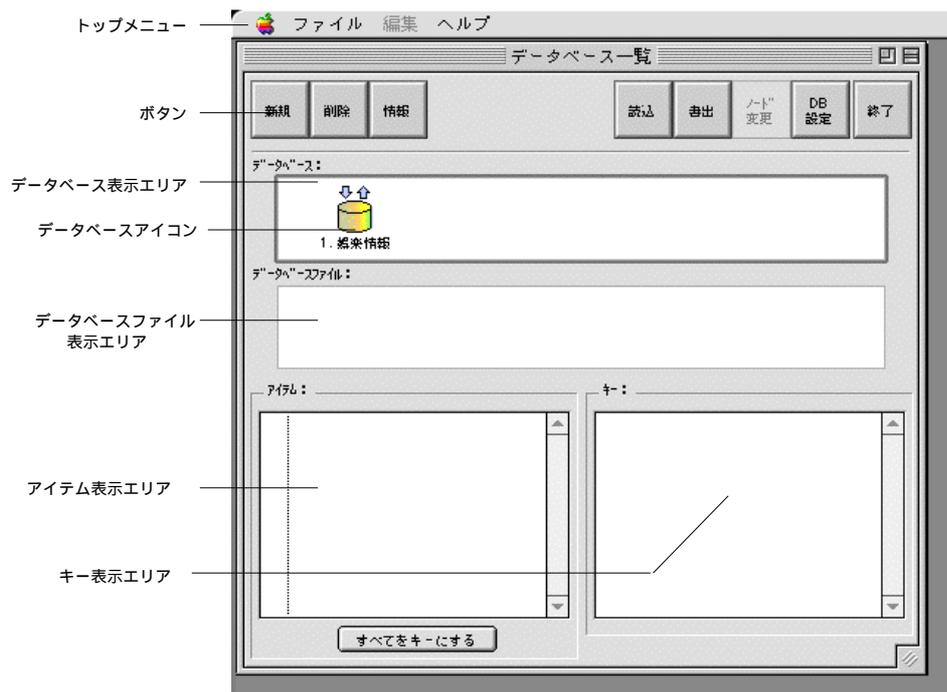
共有設定、各ネットワークなどについての詳細は『マッキントッシュ』や『漢字Talk』付属のマニュアル、各ネットワークに付属のマニュアルを参照してください。



 をクリックします。

 「*HBUtil*」が起動し、「データベース一覧」のウィンドウが表示されます。

【*HB Util* の「データベース一覧」ウィンドウ】



「データベース一覧」のウィンドウは、「*HB Util*」の基本画面です。

利用可能な「データベース」や「データベースファイル」、「アイテム」、「キー」が表示されます。

(「*HiBase 4*」は、アクティブな「データベース」が1つになったため、「データベースアイコン」は1つしか表示されません。)

HBUtil を終了する場合は...

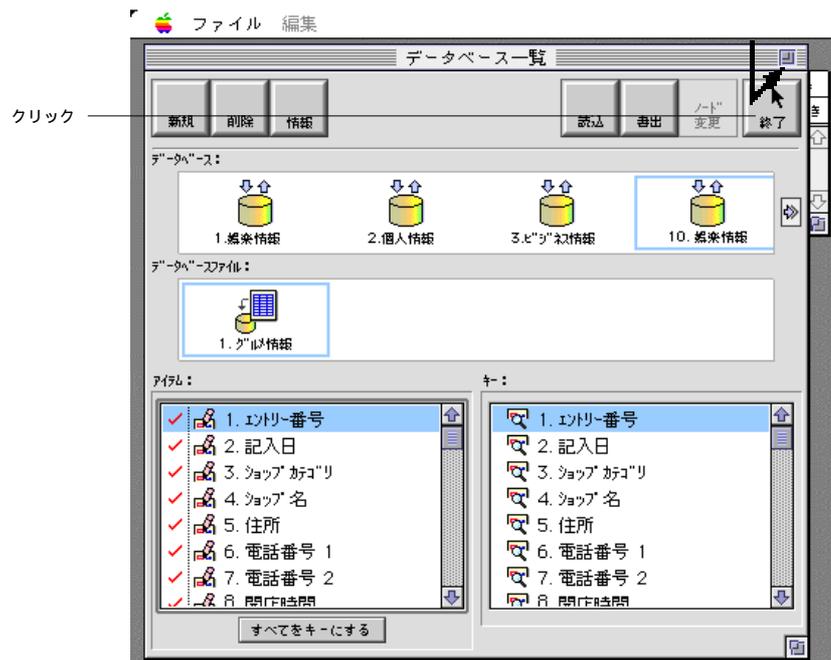


「データベース一覧」のウィンドウの



をクリックします。

ファイルメニューから "終了" を選択しても同じ操作ができます。



「データベース一覧」のウィンドウが閉じて、ファインダに戻ります。

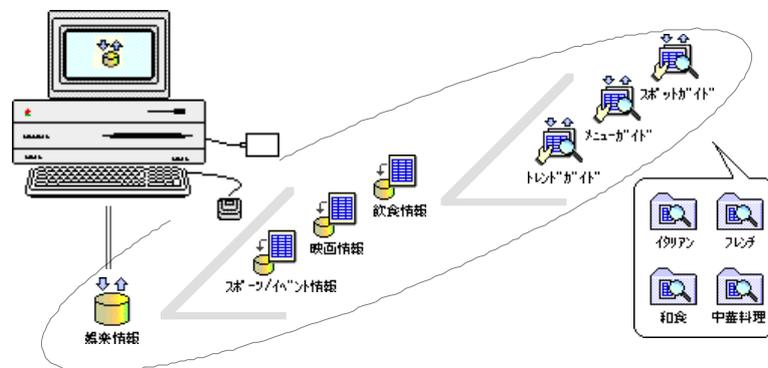
データベースを作成する



散乱する大量の情報を、再利用可能な有効データにするコツは、情報を効率的に保管/整理することです。

HiBaseの「データベース」は、家庭やオフィスで使うキャビネットや引き出しのように、情報の保管や整理に役立ちます。

「データベース」の場合、「データベースファイル」を階層化することで、系統だった整理が可能です。



データベースとは...

「データベース」とは、**HiBase**で扱う情報の基地です。

「データベース」の中には、最大64,000個の「データベースファイル」を作成することができます。

「データベースファイル」には、文字列や数値、グラフィック、音声...など、さまざまな情報を保管することができます。

また、他のアプリケーションで作成した「データ」を読み込み、**HiBase**で再利用することもできます。

こうしたさまざまな「データ」を分類するため、「データベースファイル」には、「アイテム」と「キー」をセットすることができます。

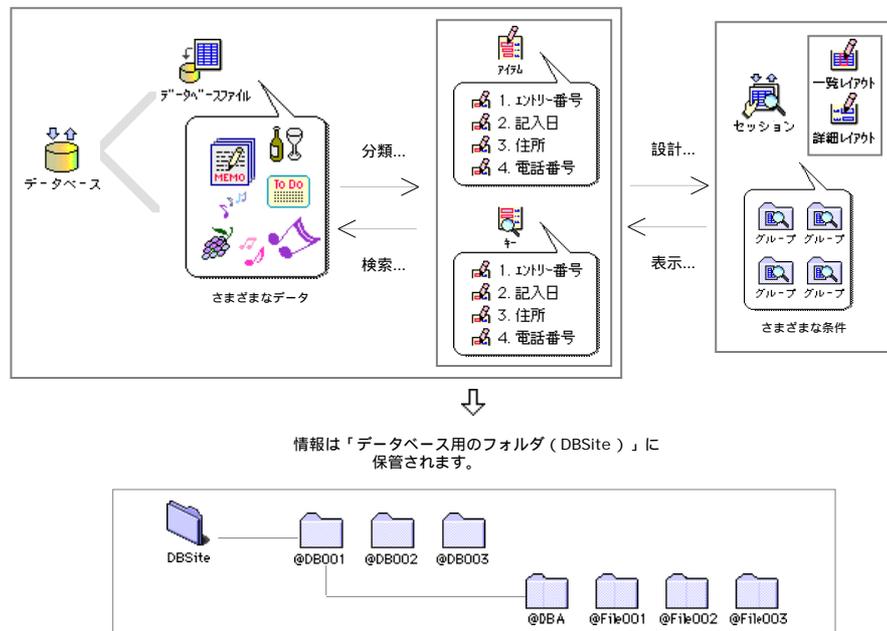
「アイテム」とは、データを分類するための項目のことです。

「キー」とは、検索に使う項目のことです。

さらに、「データベースファイル」の中には、最大255個の「セッション」を作成することができます。

「セッション」とは、

データを表示するための「ブラウザ（閲覧用紙）」で、「レイアウト」や「グループ」をセットすることができます。



これらの情報は、「HiBase」>「DBSite」フォルダに保管されます。

「旧バージョンの **HiBase** 」からアップグレードされた方は ...



「**HiBase 4**」は、「データベース・コネクティビティ」の強化に伴い、「データベース仕様」に、幾つかの改善を行ないました。

アクティブな「データベース」を1つにし、「データベースファイル」の最大数を64,000個に増やしました。

また、項目の最大長の制限を取り去りするなど、**HiBase** の応用分野を拡げるためのインタフェース変更を行ないました。

「旧バージョンの **HiBase** 」で作成した

「データベース」を利用する場合は...

- ➡ 旧バージョンの「データベース」ファイルを「HiBase」フォルダ>「DBSite」フォルダにコピーしてご利用ください。（「DB#001」の「データベース」がご利用いただけます。）

「ID番号=2」以降の「データベース」を利用する場合は、更に...

- ➡ 以下の手順に従って、アクティブな「データベース」を変更する必要があります。

アクティブな「データベース」の変更方法 ...

HiBase を1台のMacintosh 上でのみご利用の方は...

(「Single」フォルダ内の基本アプリケーションをご利用の方)

- ➡ 「**HBUtil**」の「データベース一覧」ウィンドウで、



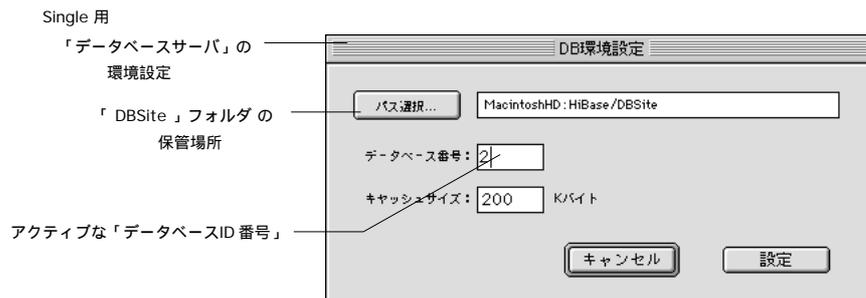
をクリックし、

利用する「データベース番号」

(「DBSite」フォルダの保存場所)を変更して

ご利用ください。

(初期設定では、「HiBase」フォルダ>「DBSite」フォルダ内の「データベースID=1」の「データベース」がアクティブです。)



HiBase をネットワーク環境で ご利用の方は...

(「Multi」フォルダ内の基本アプリケーションをご利用の方)

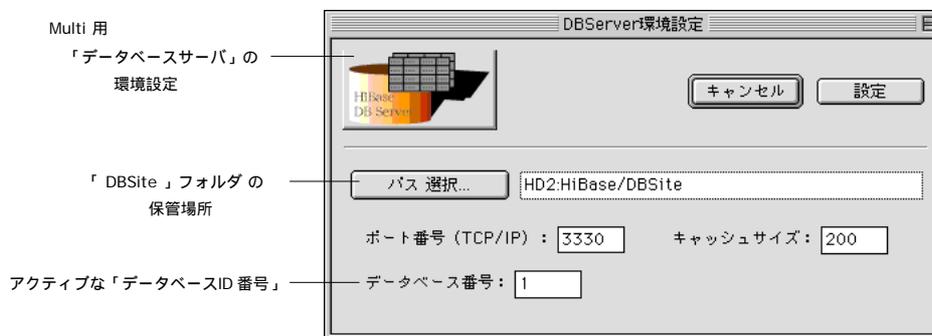
➡ 「**HBServer**」の「データベースサーバの環境設定」で、
利用する「データベース番号」

(「DBSite」フォルダの保存場所)を変更して

ご利用ください。

(初期設定では、「HiBase」フォルダ>「DBSite」フォルダ内の
「データベースID=1」の「データベース」がアクティブです。)

「**HBServer**」の利用についての詳細は『サーバの設定を確認/
変更する』をご覧ください。



「データベース番号」を変更しても、「**HBUtil**」の「**Session**」などに
表示される「データベース名」は変わりません。

「データベース名」を変更する場合は、いったん「**HiBServer**」や
「**HBUtil**」を終了し、「SimpleText」などのエディタで、システムフォルダ
>「Holon」フォルダ内の「HiBase.ini」ファイルを開き、「データ
ベース番号 1」に関するパラメータ値 ([DB#1] NAME = " ") を
変更してください。

大容量のデータを扱う場合など、必要があれば、「キャッシュサイ
ズ」を入力しても構いませんが、通常変更の必要はありません。
(初期値以下への変更はお薦めできません。)

データベースを作成 / 削除する



「データベース」の作成 / 削除は、「データベース一覧」のウィンドウで行ないます。

データベースを作成する場合は...

「*HBUtil*」で操作の対象となる「データベース」は1つです。



既に「データベース」が作成されている場合は、現在アクティブな「データベース」を削除するか、別途「DBSite」フォルダを作成し、アクティブな「データベース」を変更してから作成してください。

(初期設定では、「データベースID=1」の「データベース」がアクティブです。)

HiBase は、複数の「データベース」管理をお薦めしません。
1つの「データベース」内に、複数の「データベースファイル」を管理する方法をお薦めします。
アクティブな「データベース」の変更については、前の『アクティブな「データベース」の変更方法』をご覧ください。

「データベース表示エリア」を選択し、



をクリックします。

「データベース表示エリア」が太い枠で囲まれていない場合は、エリア内をクリックして選択してください。

☐ 「新規データベース」の質問パネルが表示されます。

「データベース名」、「コメント」を入力し、



をクリックします。

「データベース ID」、「保存場所」、「キャッシュサイズ」は入力できません。

☐ 新しい「データベース」が作成されます。

データベースを削除する場合は...



いったん削除した「データベース」は復元できませんので、慎重に削除してください。

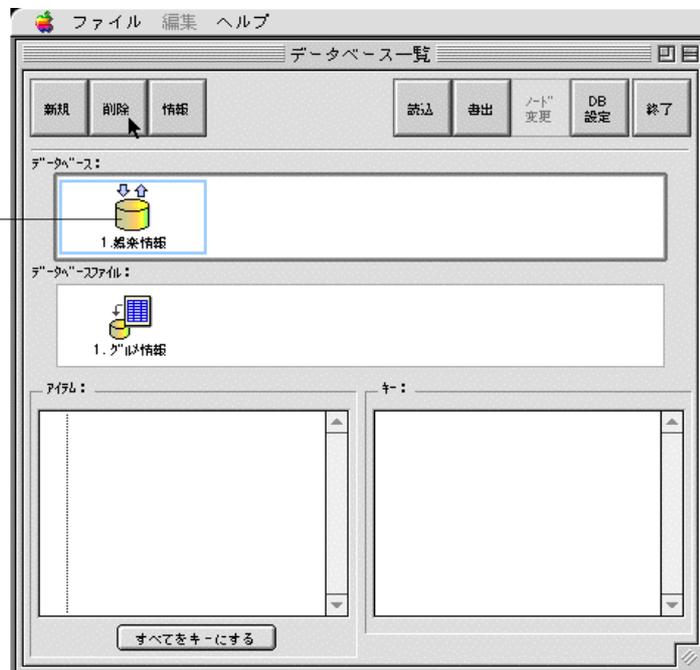
「データベース」内に保存されている「データベースファイル」、「セッション」などの情報もいっしょに削除されますのでご注意ください。

削除する「データベース」のアイコンを選択し、

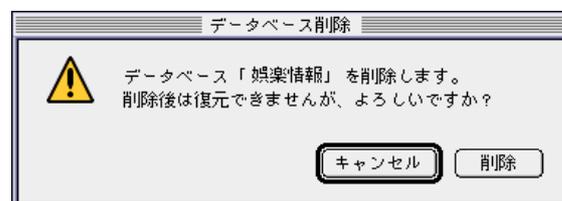


をクリックします。

「データベースアイコン」は、
クリックして選択します。



警告パネルが表示されます。



削除 をクリックします。

「データベース」が削除されます。

データベースファイルを作成する



「データベースファイル」は選択「データベース」の中に作成されます。

データベースファイルを作成 / 削除する

データベースファイルを作成する場合は...

「データベースファイル」を保存する
「データベース」のアイコンを選択します。

「データベースファイル表示エリア」を選択し、

 をクリックします。

「データベースファイル表示エリア」が太い枠で囲まれていない場合は、エリア内をクリックして選択してください。



「新規ファイル」の質問パネルが表示されます。

「ファイル ID」、「ファイル名」、「コメント」を入力します。



同一「データベース」内で「ファイル ID」が重複しないようにしてください。



必要があれば、「物理ファイルブロックサイズ」を入力しても構いませんが、通常変更の必要はありません。



「物理ファイルブロックサイズ」は、次のような場合にのみ変更してください。

(初期値以下への変更はお薦めできません。)

| | |
|--------|------------------------------------|
| インデックス | 「キー」を大量にセットする場合 |
| データ | 大容量の「バイナリデータ」を扱う場合や 多量のデータを扱う場合 |

「インデックス」とは、「キー」を利用して「データベースファイル」から「値」を得るための「インデックス情報」のことです。



 をクリックします。

 新しい「データベースファイル」のアイコンが追加されます。



データベースファイルを削除する場合は...



いったん削除した「データベースファイル」は復元できませんので、慎重に削除してください。

「データベースファイル」にセットされている「アイテム」、「キー」、「セッション」などの情報もいっしょに削除されますのでご注意ください。

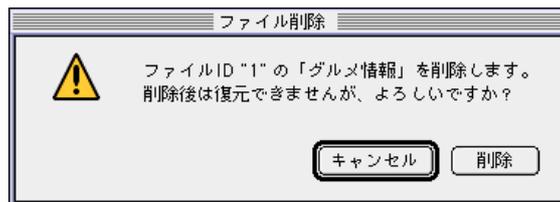
削除する「データベースファイル」のアイコンを選択し、



をクリックします。

「データベースファイル表示エリア」が太い枠で囲まれていない場合は、エリア内をクリックして選択してください。

警告パネルが表示されます。



削除 をクリックします。

「データベースファイル」のアイコンが削除されます。

アイテムとキーをセットする



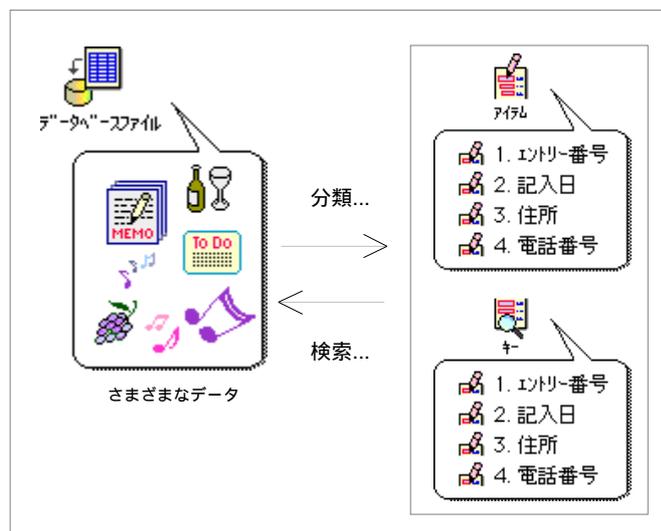
作ったばかりの「データベースファイル」は空の入れ物ですが、ここには文字列や数値、グラフィック、音声... など、さまざまな情報を保管することができます。

こうしたさまざまな「データ」を分類するため、「データベースファイル」には、「アイテム」と「キー」をセットすることができます。

「アイテム」とは、データを分類するための項目のことです。

「キー」とは、検索に使う項目のことです。

「データベースファイル」には、各最大255個の「アイテム」と「キー」をセットすることができます。



アイテムやキーを作成する場合は...



「アイテムまたはキー」をセットする

「データベースファイル」のアイコンを選択します。

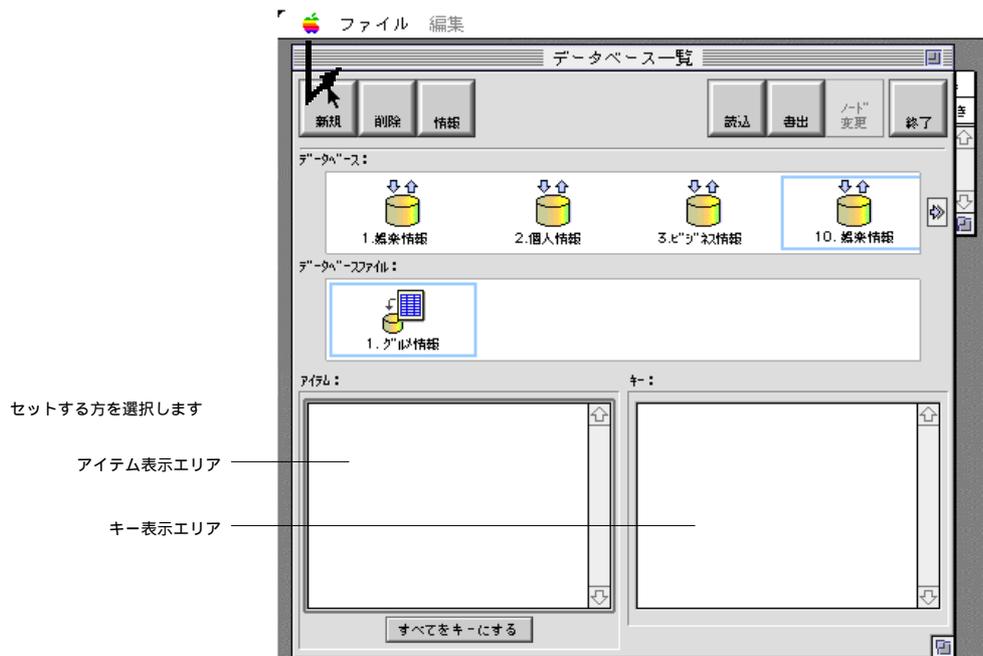
「データベースファイル表示エリア」に、セットする「データベースファイル」のアイコンが表示されていない場合は、「データベースファイル」が保存してある「データベース」のアイコンを選択してから選んでください。

「アイテムまたはキー表示エリア」を選択し、



をクリックします。

各「表示エリア」が太い枠で囲まれていない場合は、エリア内をクリックして選択してください。

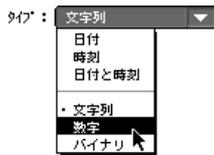


「新規アイテムまたはキー」の質問パネルが表示されます。

「アイテム または キー ID」、「アイテム または キー名」、
「コメント」を入力します。



同一「データベースファイル」内で「アイテム または キー ID」が重複しないようにしてください。



「データ指定」の「タイプ」を選択します。

| | |
|------|--------------|
| 文字列 | テキストを入れる場合 |
| 数値 | 数字を入れる場合 |
| バイナリ | 絵や音声などを入れる場合 |



「アイテム」作成時、必要があれば「サイズ」を入力しても構いませんが、通常変更の必要はありません。

(初期値以下への変更はお薦めできません。)

「サイズ」は、次のような場合にのみ変更してください。

- ・ 大容量の「バイナリデータ」を扱う場合
- ・ 64バイト以上のデータを扱う場合
(漢字ひらがな32文字以上、
半角カタカナ / アルファベット64文字以上の場合)

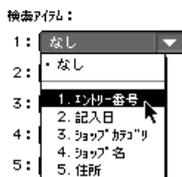
>> 「アイテム」作成時、

その「アイテム」の内容を検索項目にする場合は、

「キーにする」をクリックし、 にします。

>> 「キー」作成時、

その「キー」が検索する「アイテム」の内容を指定します。
最大5つの「アイテム」を検索することができます。



「データ指定」の「検索アイテム」を選択し、

「範囲」を入力します。

 「検索アイテム」には、候補「アイテム名」が一覧表示されます。

「範囲」には、「検索アイテム」の「何バイト目～何バイト目まで」の
内容を検索するのかを「バイト」単位で入力します。

(漢字ひらがなは「1文字 = 2バイト」、

半角カタカナ / アルファベットは「1文字 = 1バイト」です。)

「0」の場合、すべての内容が検索されます。

新規キー

キーID: 1

キー名: エントリー番号

コメント: HiBaseのサンプル

データ指定

タイプ: 文字列

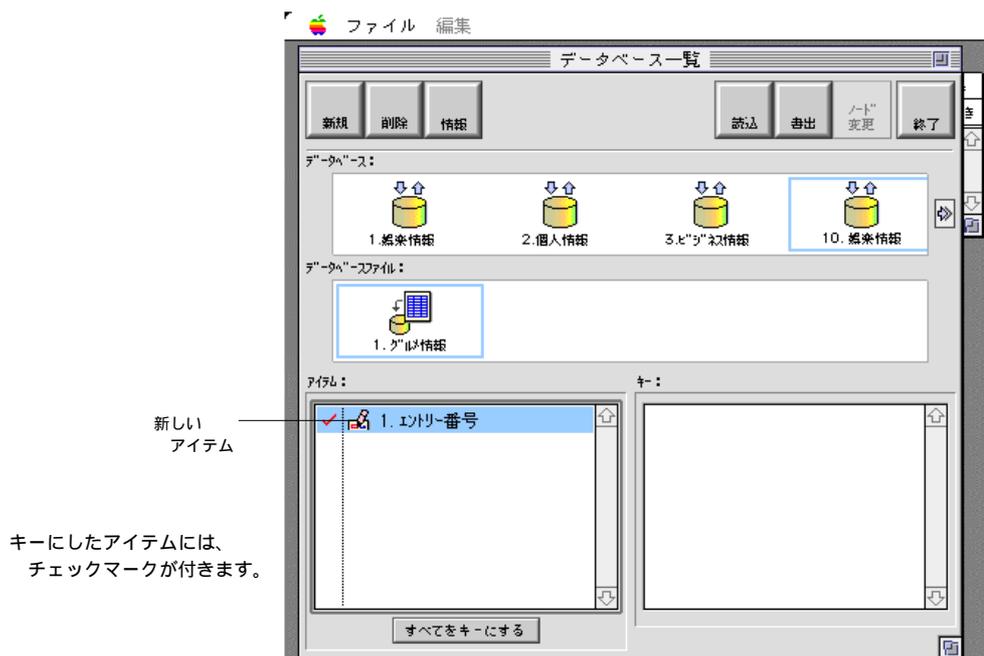
| 検索アイテム: | 範囲 (0の時すべて): |
|---------------|--------------|
| 1: 1. エントリー番号 | 0 ~ 0 バイト |
| 2: なし | 0 ~ 0 バイト |
| 3: なし | 0 ~ 0 バイト |
| 4: なし | 0 ~ 0 バイト |
| 5: なし | 0 ~ 0 バイト |

キャンセル 作成

 をクリックします。

 新しい「アイテムまたはキー」が追加されます。

【「アイテム」作成例】



アイテムやキーを削除する場合は...



いったん削除した「アイテム」や「キー」は復元できませんので、慎重に削除してください。

削除した「アイテム」を検索指定している「キー」は、「アイテム」削除後、内容が検索できなくなる場合もありますのでご注意ください。

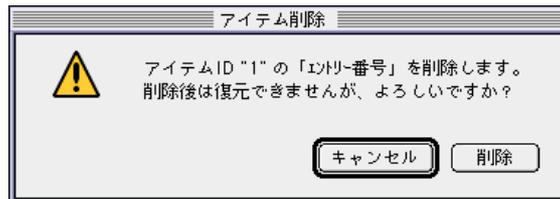
削除する「アイテムまたはキー」を選択し、



をクリックします。

「アイテムまたはキー表示エリア」に、削除する「アイテムまたはキー」が表示されていない場合は、「アイテムまたはキー」がセットしてある「データベースファイル」のアイコンを選択してから選んでください。

警告パネルが表示されます。



削除 をクリックします。

「アイテムまたはキー」が削除されます。

データをロードする



「データベースファイル」に保管される情報を「データ」といいます。

HiBaseの「データベースファイル」には、文字列や数値、グラフィック、音声... など、さまざまな種類の「データ」を保管することができます。

❖ 「データ」は、「**Session**」や「Java アプレット」を使って入力することもできますが、基本アプリケーションの「**Util**」で一度にロードした方が効率的です。

「データ」をまとめて読み込んだり、書き出すことを、「ロード」といいます。

HiBaseでは、「データ」をロードする場合、「フォームファイル」、「データファイル」の2つの「ロードファイル」を使います。

「フォームファイル」とは、「データ」の記述フォームを記述した「テキストファイル」です。

「データファイル」とは、「データ」の内容を記述した「テキストファイル」です。



「ロードファイル」は、「テキスト形式」をサポートするアプリケーションで作成します。

他のアプリケーションで作成/管理されていた「データ」を読み込み、**HiBase**で「データ」を再利用することもできます。

データを読み込む場合は...



データを読み込む場合は、「フォームファイル」、「データファイル」の2つの「ロードファイル」を作り、読み込みます。

他のアプリケーションで作成/管理されていた「データ」を読み込み、**HiBase**で「データ」を再利用することもできます。

>> ロードファイルの作成方法

「フォームファイル」や「データファイル」は、

「SimpleText ()」などのエディタや、

「テキスト形式」をサポートするアプリケーションで作成します。

「フォームファイル」には、

「.frm」の拡張子で終わる任意ファイル名を付け、「テキスト形式」で保存します。

「データファイル」には、

「.dat」の拡張子で終わる任意ファイル名を付け、「テキスト形式」で保存します。



「フォームファイル」や「データファイル」の記述形式については、『プログラミング・リファレンス』をご覧ください。

【「データファイル」作成例】

| | A | B | C | D | E |
|---|-------|--------|--------------|----------------|--------------|
| 1 | 伊藤 | 由美子 | ホロン株式会社 | 東京都武蔵野市 | 0422-21-1234 |
| 2 | Smith | Dennis | ACME Accesso | 東京都港区赤坂1-1-1 | 03-1234-1111 |
| 3 | 香木 | 正夫 | ABC 銀行 | 東京都渋谷区渋谷2-2-2 | 03-2345-6666 |
| 4 | 香木 | みゆき | ABC 商会 | 東京都中央区銀座3-3-3 | 03-1234-0000 |
| 5 | 香木 | 雄一郎 | ABC 商会 | 東京都中央区銀座3-3-3 | 03-1234-0000 |
| 6 | 青山 | 太郎 | YX 株式会社 | 東京都渋谷区恵比寿5-5-5 | 03-2346-8888 |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |

「データファイル」の作成には、「MicrosoftExcel」などの「スプレッドシート」を利用すると便利です。

>> データの読み込み方法

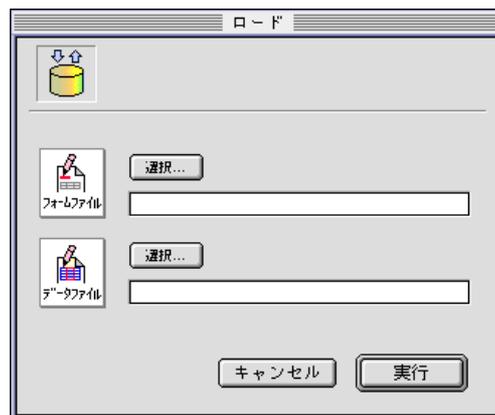
「フォームファイル」、「データファイル」が用意できたら、以下のように操作します。

読み込む「データベースファイル」のアイコンを選択し、

 をクリックします。



「ロード」の質問パネルが表示されます。



「フォームファイル」の右側の **選択...** をクリックします。

☐ 「フォームファイル」を選択する質問パネルが表示されます。

読み込みに使う「フォームファイル」を選択し、

選択 をクリックします。



☐ 「ロード」の質問パネルに「フォームファイル」の保存場所がパスで表示されます。



「データファイル」の右側の **選択...** をクリックします。

☐ 「データファイル」を選択する質問パネルが表示されます。

読み込む「データファイル」を選択し、

選択 をクリックします。



☐ 「ロード」の質問パネルに「データファイル」の保存場所がパスで表示されます。



実行 をクリックします。

読み込みが終了するまでお待ちください。

☐ 読み込みが終了すると、元の画面に戻ります。

データを書き出す場合は...



データを書き出す場合は、以下のように操作します。



不慮の事故に備え、「データ」のバックアップを残しておきたい場合は、「データ」を書き出しておくといでしょう。

書き出す「データベースファイル」のアイコンを選択し、



をクリックします。



「アンロード」の質問パネルが表示されます。

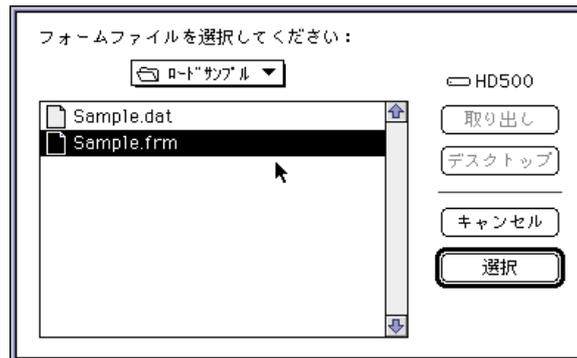


「フォームファイル」の右側の **選択...** をクリックします。

☐ 「フォームファイル」を選択する質問パネルが表示されます。

書き出しに使う「フォームファイル」を選択し、

選択 をクリックします。



☐ 「アンロード」の質問パネルに「フォームファイル」の保存場所が表示されます。

「データファイル」の右側の **選択...** をクリックします。

☐ 「データファイル」の保存場所を選択する質問パネルが表示されます。

「データファイル」の保存場所を選択し、

保存するファイル名を入力します。

☐ 「アンロード」の質問パネルに「データファイル」の保存場所が表示されます。

実行 をクリックします。

書き出しが終了するまでお待ちください。

☐ 書き出しが終了すると、元の画面に戻ります。

指定した「フォームファイル」の記述形式に従って、「データファイル」が「テキスト形式」で書き出されます。

データベースの情報を確認する



「データベース」、「データベースファイル」、「アイテム」、「キー」は、作成後、各情報を確認したり、「名前」や「コメント」などを変更することができます。

情報を確認する「アイコン」を選択し、



をクリックします。

情報を確認する内容のアイコンが表示されていない場合は、「データベース」、「データベースファイル」、「アイテム/キー」を順に選択してから選んでください。



各情報パネルが表示されます。

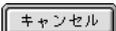


内容を確認（変更）します。

情報の内容は、新規データベースまたは、ファイル、アイテム、キー作成時、各質問パネルに設定した内容と同じです。

「データベース」、「データベースファイル」、「アイテム」、「キー」の「名前」や「コメント」は、変更することもできます。

各内容の詳細については、『データベースを作成する』、『データベースファイルを作成する』をご覧ください。

 () をクリックします。

 新しい情報に変更されます。



「データベース」、「データベースファイル」、「アイテム」、「キー」の各「ID」、および、「データベースファイル」の「物理ファイルブロックサイズ」は変更できません。



変更した「アイテム」が検索指定されている「キー」は、もう一度設定し直してください。

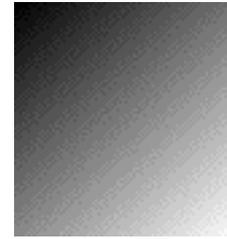




第3章

H i B a s e

Authoring the Session ...



この章では、基本アプリケーションの「**Session**」を利用した、「セッション・オーサリング」の機能や操作方法を、標準的な作業順序にしたがって説明します。

「レイアウト」や「グループ」の設計... など、「セッション」の作成 / 削除 / メンテナンスを行う際、随時ご覧ください。



目次



マニュアル

セッションを管理する



Authoring the Session ...

HiBase の「セッション」を作成 / 削除 / 編集... する場合は、基本アプリケーションの「**Session**」を利用します。

Sessionを開始 / 終了する

「**Session**」をはじめめる前に...



HiBase をネットワーク環境でご利用の方は...

➡ **HiBase** の「データベースサーバ」が運用していることを確認してください。

HiBase を1台の Macintosh 上でのみご利用になる場合（「Single」フォルダ内の基本アプリケーションをご利用になる場合）は、「**HBServer**」を起動する必要がありません。



「**HBServer**」の起動については『**HBServer**を開始 / 終了する』をご覧ください。



「**Session**」は、ご利用中の Macintosh で、他の **HiBase** の基本アプリケーションが実行している間はご利用になれません。

ご利用の Macintosh 上で「**HBUtil**」または、Java アプレットの「**HBUtil**」「**HBBrowser**」が起動中の場合は...

➡ いったんそれらを終了してください。



「**HBUtil**」の終了については『**HBUtil**を開始 / 終了する』、Java アプレットの「**HBUtil**」や「**HBBrowser**」の終了については『**HiBase**のJava アプレットを開始 / 終了する』をご覧ください。

Session を開始する場合は...



「Single」または、「Multi」フォルダの中の
「Session」のアイコンを選択し、
ファイルメニューから「開く」を選択します。

「**Session**」のアイコンをダブルクリックしても起動できます。

1台のMacintosh 上でのみご利用の場合 = 「Single」フォルダ

68K Macintoshでご利用の場合



Power Macintosh でご利用の場合



ネットワーク 環境でご利用の場合 = 「Multi」フォルダ

68K Macintoshでご利用の場合



Power Macintosh でご利用の場合



☐ 「Multi」フォルダ内のアプリケーションをご利用の場合は、「接続ノード」を設定するパネルが表示されます。

(「Single」フォルダ内のアプリケーションをご利用の場合、「接続ノード」の設定パネルは表示されません。)

ノード変更

サーバの場所

ホスト名:

ポート番号:

キャンセル 接続

「ホスト名」と「ポート番号」を入力します。

「ドメイン名」には

サーバの「ドメイン名」または、「IP アドレス」など、「DNS」の解釈可能なサーバアドレスを入力してください。

「ポート番号」には

「データベースサーバのポート番号（初期値= 3330）」を入力してください。

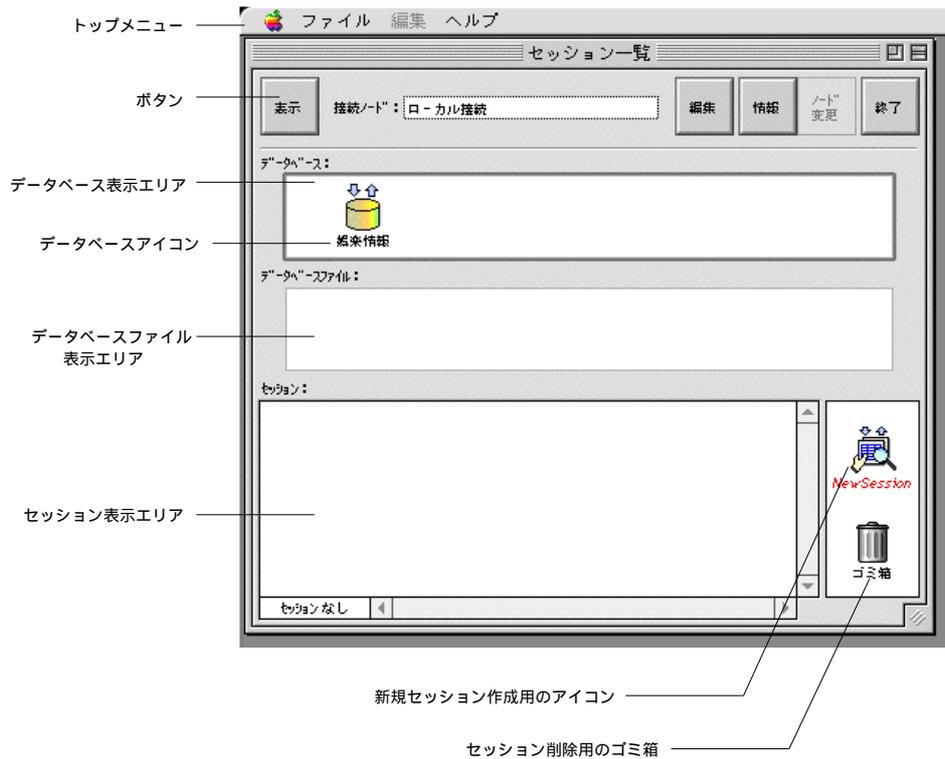


共有設定、各ネットワークなどについての詳細は『マッキントッシュ』や『漢字Talk』付属のマニュアル、各ネットワークに付属のマニュアルを参照してください。

 をクリックします。

 「**Session**」が起動し、「セッション一覧」のウィンドウが表示されます。

【**Session** の「セッション一覧」ウィンドウ】



「セッション一覧」のウィンドウは、「**Session**」の基本画面です。

利用可能な「データベース」や「データベースファイル」、「セッション」が表示されます。

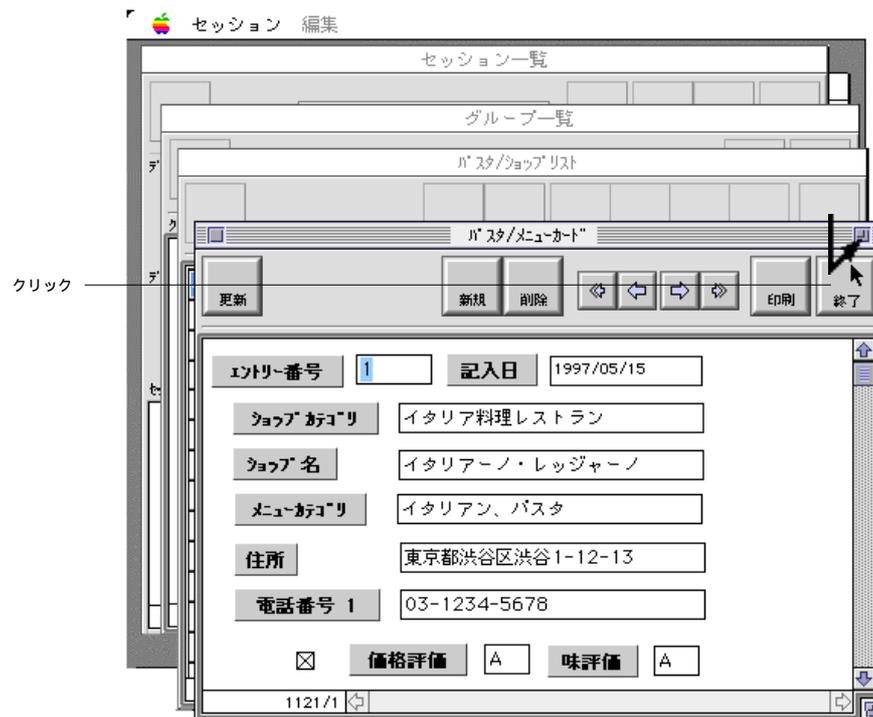
(「**HiBase 4**」は、アクティブな「データベース」が1つになったため、「データベースアイコン」は1つしか表示されません。)

Session を終了する場合は...



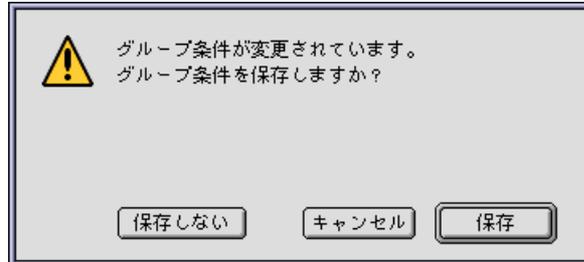
をクリックします。

セッションメニューから " 終了 " を選択しても同じ操作ができます。



📄 オープンしているすべてウィンドウが閉じて、ファインダに戻ります。

 もし、次のようなメッセージが表示されたら.....



- 「セッション」に何か修正が加えられたということです。保存の有無を選択してから終了してください。

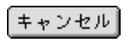
修正して終了するときは ...

 をクリックしてください。

修正しないで終了するときは ...

 をクリックしてください。

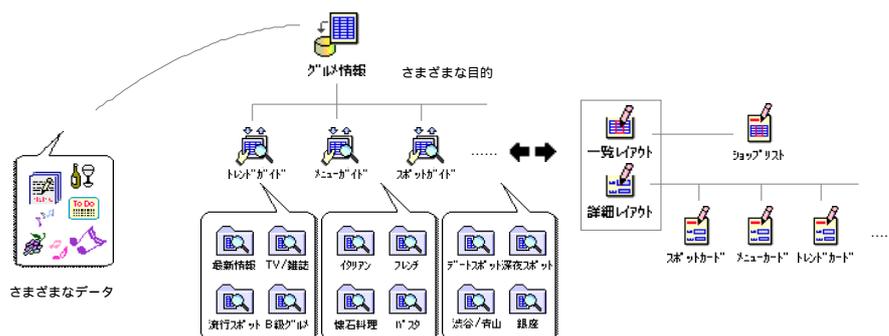
終了するのをやめるときは...

 をクリックしてください。

セッションを作成する



「データベース」に保管されている膨大なデータの中から、必要なデータをわかりやすく表示するコツは、利用目的ごとに「セッション」を分けておくです。



セッションとは...

「セッション」とは、HiBaseのデータを表示するための「ブラウザ（閲覧用紙）」です。

1つの「データベースファイル」の中に、最大255個の「セッション」を作成することができます。
（「セッション」の情報は、「データベース用のフォルダ」に保管されます。）

各「セッション」には、「レイアウト」と「グループ」をセットすることができます。

「レイアウト」とは、

データの表示デザインをセットした設計図のことです。

（各「セッション」に「一覧レイアウト」と「詳細レイアウト」をセットすることができます。）

「グループ」とは、

任意の検索条件によって作られたデータ集合のことです。

「セッション」に、データの「表示デザイン（「レイアウト」）」や「検索条件（「グループ」）」などをセットする作業を「オーサリング」といいます。

セッションを作成 / 削除する



「セッション」の作成 / 削除は、「セッション一覧」のウィンドウで行ないます。

セッションを作成する場合は...

「セッション」を保存する

「データベースファイル」のアイコンを選択します。

「データベースファイル表示エリア」に、保存する「データベースファイル」のアイコンが表示されていない場合は、「データベースファイル」が保存してある「データベース」のアイコンを選択してから選んでください。

「セッション表示エリア」の右側の



の上にポインタを合わせます。

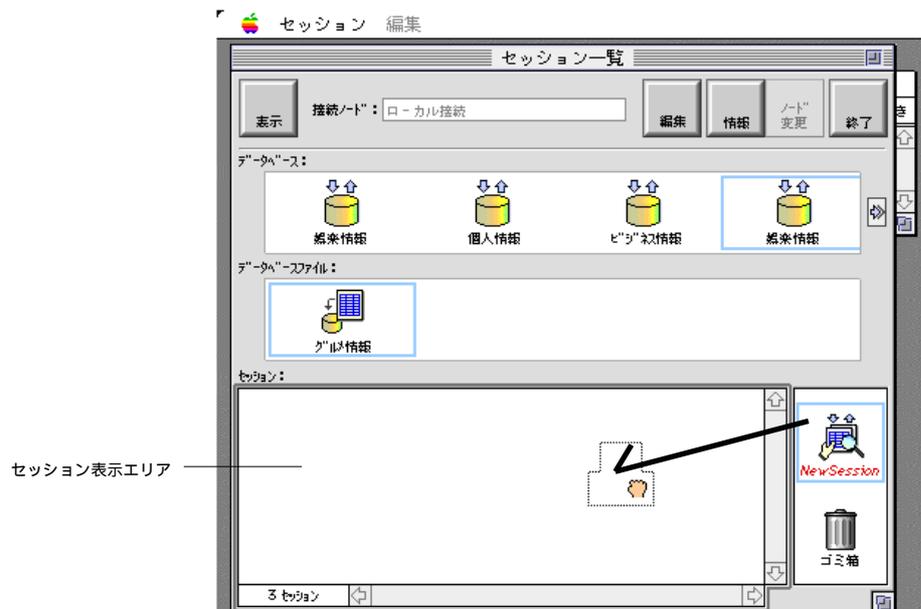
マウスのポインタが  に変わります。



NewSession

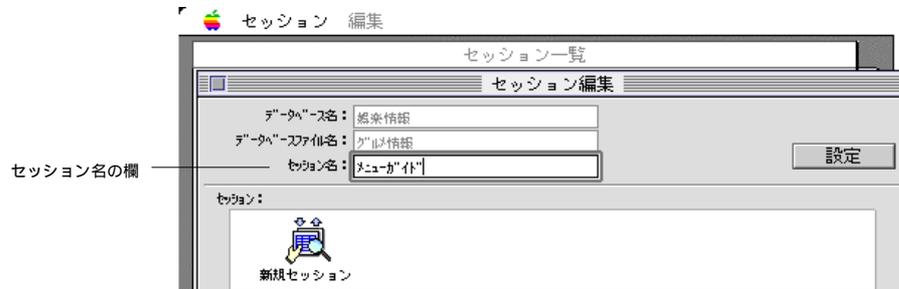
をドラッグし、

「セッション表示エリア」の中に移動します。

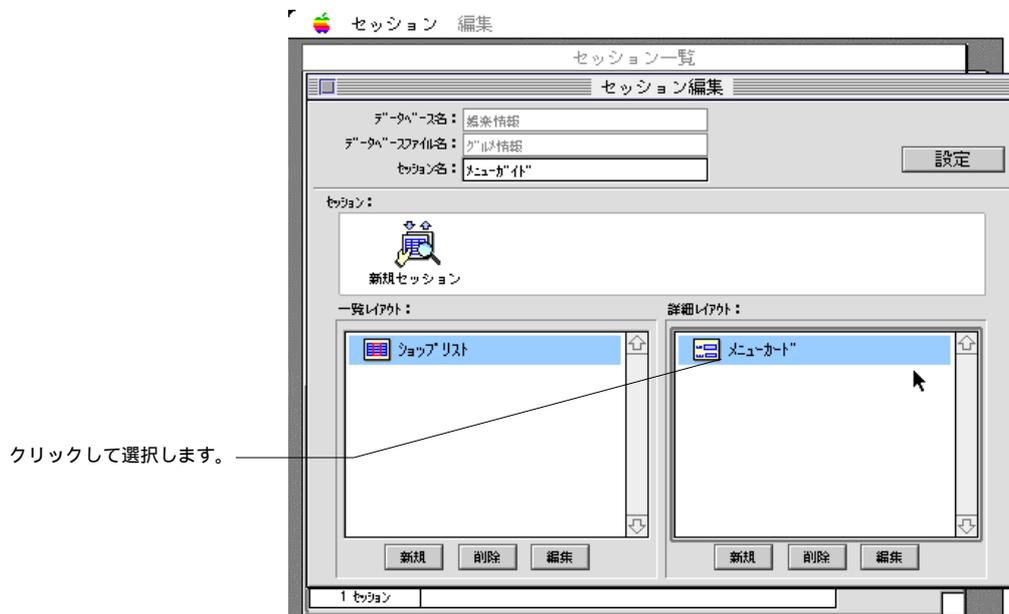


「セッション編集」のウィンドウが表示されます。

「セッション名」を入力します。



「一覧レイアウト」と「詳細レイアウト」を選択します。



「新規データベース」の質問パネルに、「保存場所」までのパスが表示されます。



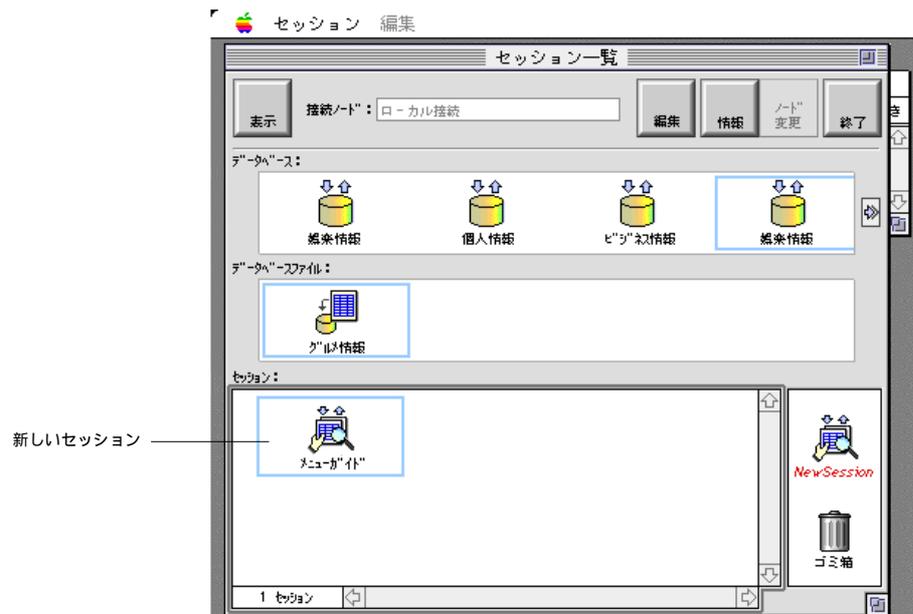
新しい「レイアウト」を作成する場合は、各リストの下の **新規** をクリックし、内容を編集します。

「レイアウトの編集」については、次の『レイアウトを編集する』をご覧ください。

「セッション編集」のウィンドウの

設定 をクリックします。

- 「セッション編集」のウィンドウが閉じ、「セッション一覧」のウィンドウに新しい「セッション」のアイコンが追加されます。



セッションを削除する場合は...



いったん削除した「セッション」は復元できませんので、慎重に削除してください。

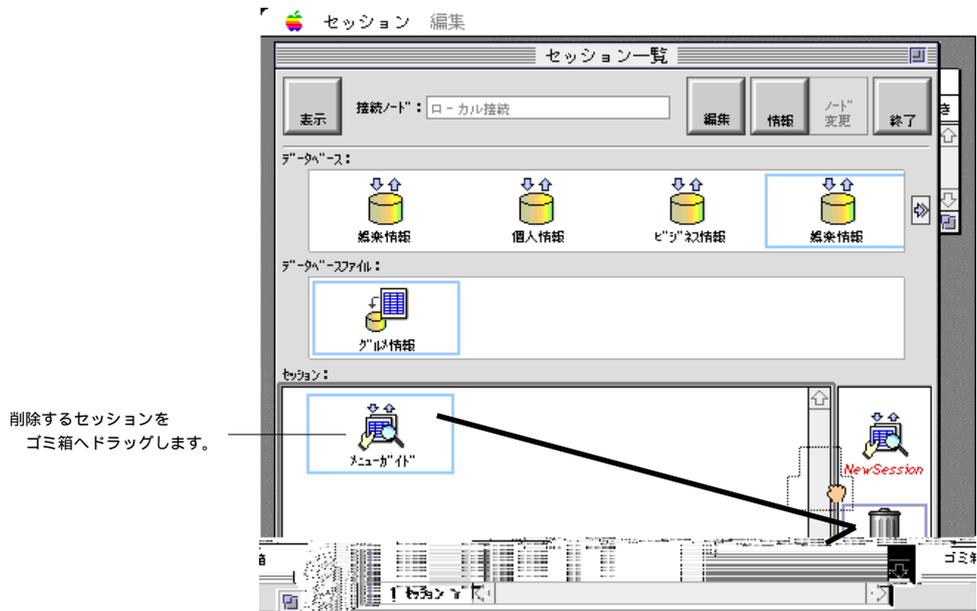
「セッション」にセットされている「レイアウト」、「グループ」などの情報はいっしょに削除されませんのでご注意ください。

削除する「セッション」のアイコンを選択し、

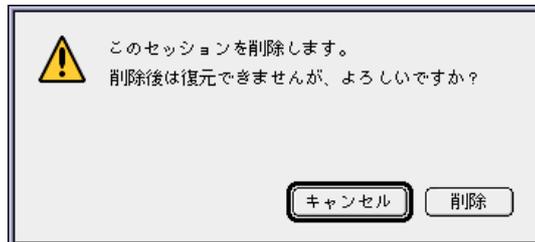
 にドラッグします。

「セッション表示エリア」に、削除する「セッション」のアイコンが表示されていない場合は、「セッション」が保存してある「データベース」、「データベースファイル」のアイコンを順に選択してから選んでください。

- ☐ 「セッション」のアイコンを選択すると、マウスのポインタが  に変わります。



- ☐ 警告パネルが表示されます。



 をクリックします。

- ☐ 「セッション表示エリア」から「セッション」のアイコンが削除されます。



「セッション」は、ファイダの「ゴミ箱」にドラッグしても削除することができます。

セッションをオーサリングする



Authoring the Session ...

データを閲覧する場合、検索の効率を考慮すると、ケースによって見たい項目は限られます。

「セッション」に、データの「表示デザイン（「レイアウト」）」や「検索条件（「グループ」）」などをセットする作業を「オーサリング」といいます。

レイアウトを編集する

HiBase の「**Session**」は、必要なデータを、わかりやすく表示するため「レイアウト」を自由に編集することができます。

レイアウトとは...

項目の配置や、ラジオボタン、チェックボックスのセット... など、データの表示方法の「設計図」にあたるものを「レイアウト」といいます。

各「セッション」には、「詳細レイアウト」と「一覧レイアウト」の2つの「レイアウト」をセットすることができます。

1つの「セッション」の中に、最大255個の各「レイアウト」を作成することができます。

「**一覧レイアウト**」とは、
データをリスト状に一覧表示するための設計図です。
（「一覧表示」のウィンドウに表示されます。）

「**詳細レイアウト**」とは、
1レコードごとのデータをカード状に表示するための設計図です。
（「詳細表示」のウィンドウに表示されます。）

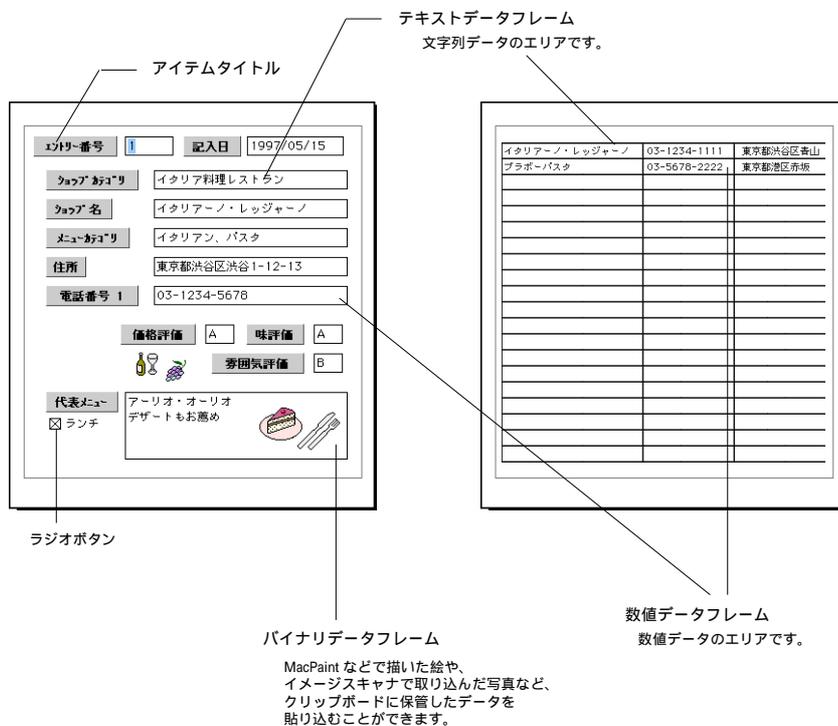
各「レイアウト」には、「フレーム」、「ラジオボタン」、「チェックボックス」などをセットすることができます。

「フレーム」とは、データを表示するエリアのことです。

「フレーム」には、文章や数値だけでなく、絵や音声を入れることもできます。各項目は、位置やサイズを細かく調整したり、グループ化することができます。また、背景に絵や写真を貼り込むなどの加工ができます。

【詳細レイアウト】

【一覧レイアウト】



ただし、「HiBase」のJava アプレット（「HBBrowser」）でブラウズする場合、絵や写真、音声、および、「ラジオボタン」、「チェックボックス」などのバイナリデータは表示されません。

レイアウトを作成 / 削除する



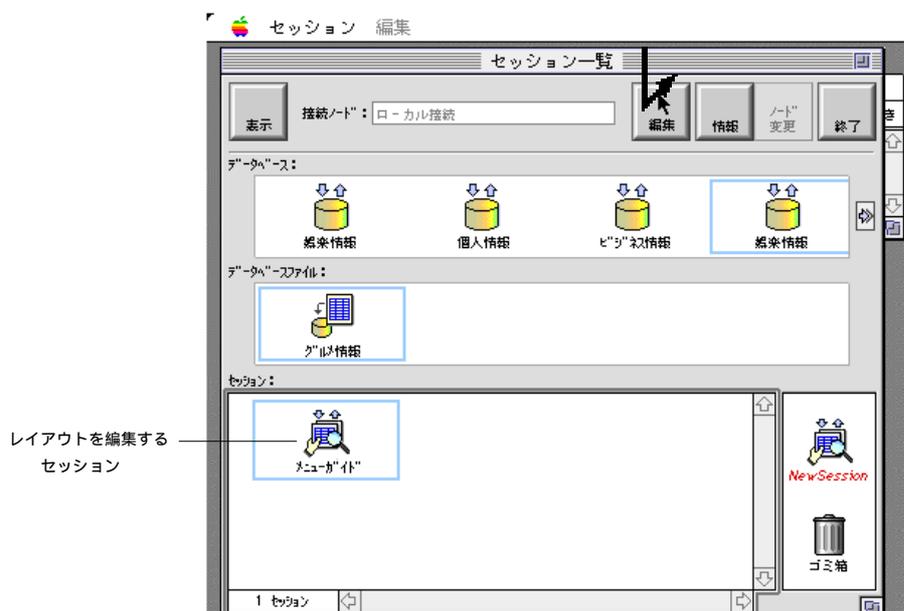
「レイアウト」の作成 / 削除は、「セッション編集」のウィンドウで行ないます。

「レイアウト」を編集する「セッション」のアイコンを選択し、



をクリックします。

「セッション表示エリア」に、編集する「セッション」のアイコンが表示されていない場合は、「セッション」が保存してある「データベース」、「データベースファイル」のアイコンを順に選択してから選んでください。



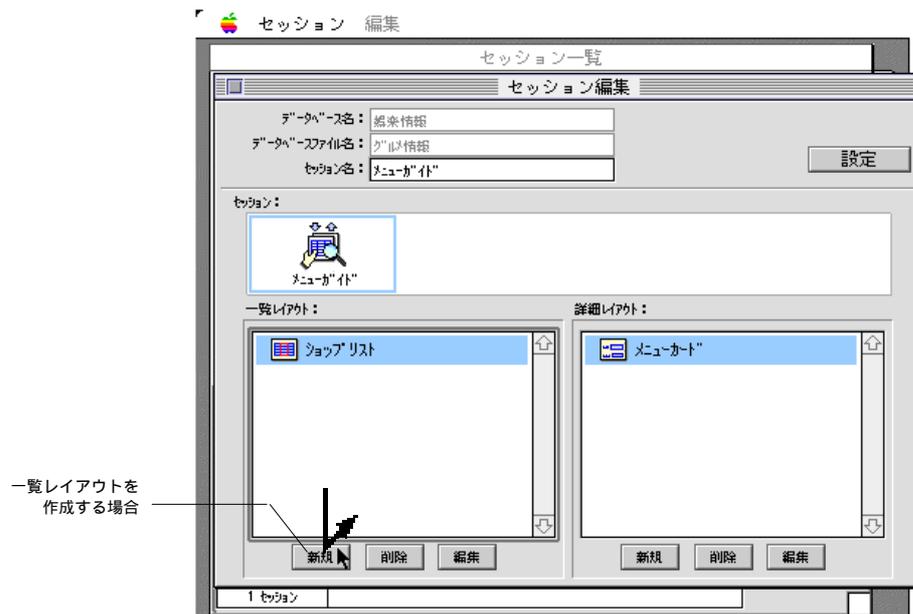
「セッション編集」のウィンドウが表示されます。

レイアウトを作成する場合は...



「セッション編集」のウィンドウで、
「一覧レイアウト または 詳細レイアウト」の下の
新規 をクリックします。

【「セッション編集」のウィンドウ】



「セッション編集」のウィンドウは、「レイアウト」の作成 / 削除 / 選択 / 表示などを行なう画面です。

選択「セッション」に保存してある「一覧レイアウト」と「詳細レイアウト」が表示されます。

- 新しい「一覧レイアウトまたは 詳細レイアウト」のウィンドウが表示されます。

「一覧レイアウト名 または 詳細レイアウト名」を入力し、
「フレーム」などを設計します。



同一「セッション」内で各「一覧レイアウト名 または 詳細レイアウト名」が重複しないようにしてください。

【新しい「一覧レイアウト」のウィンドウ】



新しい「一覧レイアウト」には「データベースファイル」にセットしてある全アイテム用の「フレーム」が、新しい「詳細レイアウト」には全アイテム用の「フレーム」と「タイトルフレーム」が配置されています。

(「**タイトルフレーム**」とは、「アイテムタイトル(項目名)」などをセットするための「フレーム」です。)

「フレーム」の設計作業については、次の『フレームなどを設計する』をご覧ください。

レイアウトを削除する場合は...



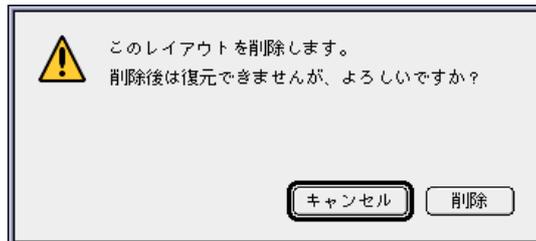
いったん削除した「レイアウト」は復元できませんので、慎重に削除してください。

「セッション編集」のウィンドウで、
削除する「一覧または 詳細レイアウト名」を選択し、
「一覧レイアウト または 詳細レイアウト」の下の
 をクリックします。

「一覧レイアウト または 詳細レイアウト表示エリア」に、削除する
「レイアウト」が表示されていない場合は、「レイアウト」が保存して
ある「セッション」のアイコンを選択してから選んでください。



 警告パネルが表示されます。



 をクリックします。

 「一覧レイアウト または 詳細レイアウト」が削除されます。

フレームなどを設計する



「フレーム」などの設計作業は「一覧レイアウトまたは詳細レイアウト」の各ウィンドウで行ないます。

❖ 新規レイアウト作成時は、自動的に「一覧レイアウト または 詳細レイアウト」のウィンドウが表示されます。

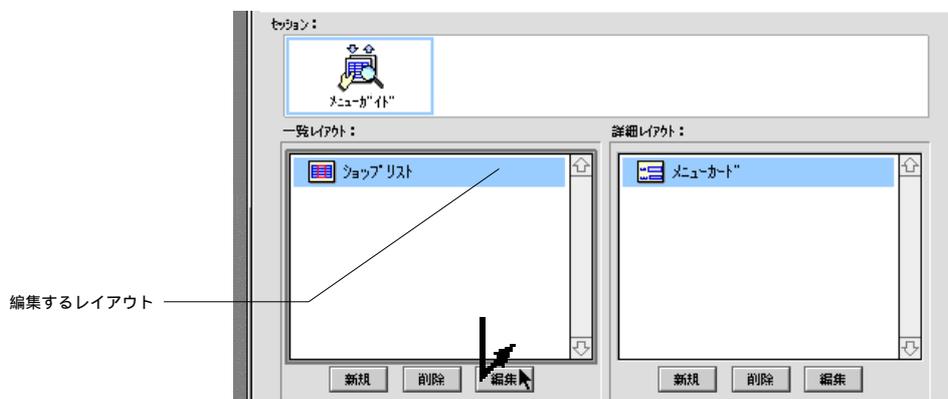
新しい「レイアウト」の作成については、『レイアウトを作成 / 削除する』をご覧ください。

一覧レイアウト または 詳細レイアウトのウィンドウを 表示する場合は...

「セッション編集」のウィンドウで、
編集する「一覧 または 詳細レイアウト名」を選択し、
「一覧レイアウト または 詳細レイアウト」の下の

 をクリックします。

「一覧レイアウト または 詳細レイアウト表示エリア」に、編集する「レイアウト」が表示されていない場合は、「レイアウト」が保存してある「セッション」のアイコンを選択してから選んでください。



☐ 「一覧レイアウト または 詳細レイアウト」のウィンドウが表示されます。

❖ 「レイアウト名」をダブルクリックしても、「一覧レイアウト または 詳細レイアウト」のウィンドウが表示されます。

フレームを選択する場合は...



「一覧レイアウト または 詳細レイアウト」のウィンドウで、
選択する「フレーム」をクリックします。

マウスのポインタが  に変わり、選択された「フレーム」が小さな
4つの四角で囲まれます。

【「一覧レイアウト」のウィンドウ】



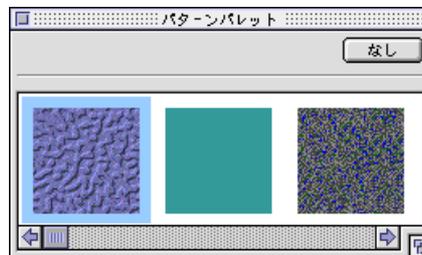
Shift キーを押しながらクリックすると、複数の「フレーム」が同
時に選択されます。

「フレーム」を囲んでドラッグすると、囲まれた範囲内のすべての
「フレーム」が選択されます。



「フレーム」の外側のパターンをクリックすると、背景部分が選択さ
れます。

ダブルクリックすると、位置やサイズの設定パネルが表示されます。
(編集メニューから「パターンパレットを表示」を選択すると、「パターンパレ
ット」が表示され、背景部分のパターンを変更することができます。)

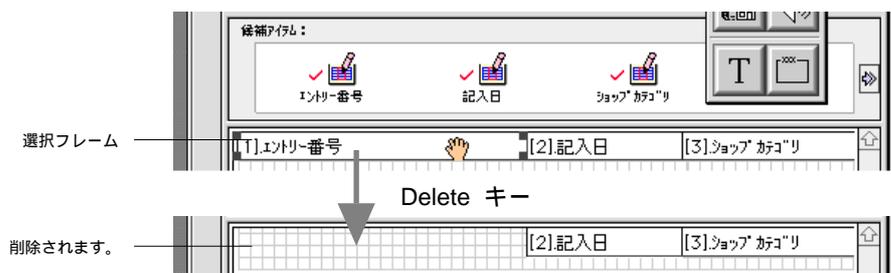


フレームを削除する場合は...

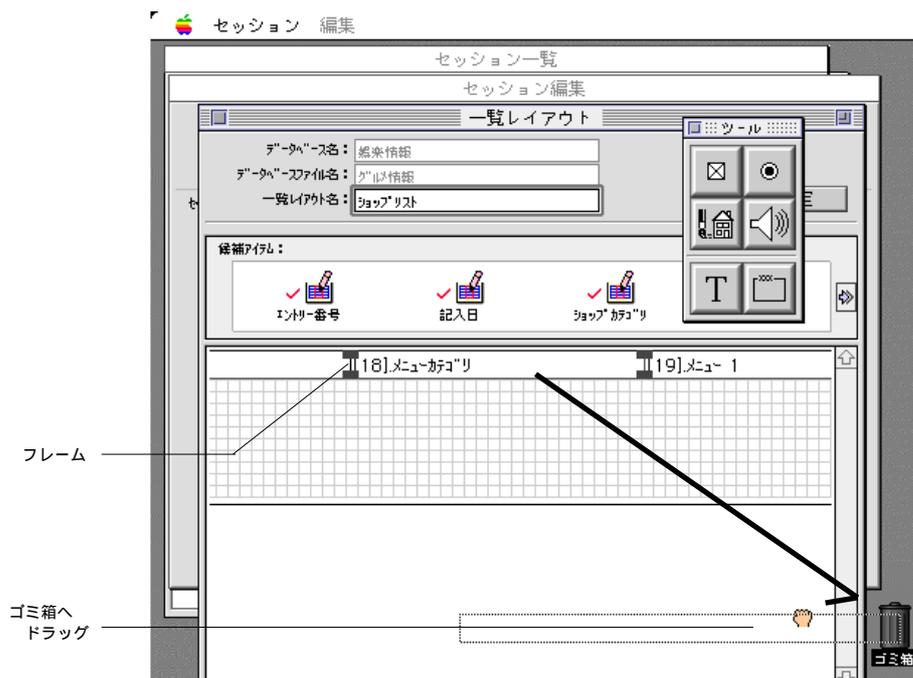


削除する「フレーム」を選択し、**Delete** キーを押します。

☐ 選択「フレーム」が削除されます。



「フレーム」は、ファインダの「ゴミ箱」にドラッグしても削除することができます。



フレームの位置/サイズ、
データの表示方法 などを変更する場合は...



位置/サイズなど...を変更する「フレーム」を選択し、
ダブルクリックします。

☐ 「アイテム設定」の質問パネルが表示されます。

アイテム (文字) 設定

位置/サイズ

X座標: 0 Y座標: 0 幅: 250 縦幅: 20

マルチバリュ-番号
番号(0-255): 0 0の時、マルチバリュ-を無視する

最大文字数: 256 変更可能
 枠を描画 必ず入力
 改行可能 インライン入力

バインド
 上 下 左 右

ボタン: フォント... キャンセル 設定

>> 「位置/サイズ」を変更する場合は、

「位置/サイズ」の各数値を入力し、

設定 をクリックします。



☐ 選択「フレーム」が移動またはリサイズされます。



「フレーム」は、ドラッグしても移動することができます。

>> データの表示方法 を変更する場合は、

各項目を指定し、 をクリックします。

「マルチバリュー番号」とは、
指定「アイテム」に複数の値がある場合、その「フレーム」に
「何番目の値」を表示させるかの指定です。

| | | |
|-----------|--------------------------------|-------------------------------|
| マルチバリュー番号 | <input type="text" value="0"/> | 0の時、マルチバリュー 番号(0-255)を無視する |
|-----------|--------------------------------|-------------------------------|

【例】 アイテム = 電話番号
値 1 = 03-1234-1234 (自宅)
値 2 = 03-1234-5678 (勤務先)

その「フレーム」に「自宅の電話番号」を表示させる場合は、
「1」と入力します。

最大文字数:

「最大文字数」とは、
その「フレーム」にデータを「何文字分」表示させるかの指定で
す。
(漢字ひらがななどは「1文字 = 2」と数えます。)
最大256文字まで指定することができます。

「変更可能」を にすると、
表示ウィンドウで、「フレーム」内のデータが編集可能になりま
す。

「枠を描画」を にすると、
表示ウィンドウに「フレーム」の枠が表示されます。

「必ず入力」を にすると、
表示ウィンドウの「フレーム」が、必ずデータを入力するタイプ
になります。

「改行可能」を にすると、
表示ウィンドウの「フレーム」内で改行が可能になります。

「インライン入力」を にすると、
表示ウィンドウの「フレーム」内でインライン入力が可能になり
ます。

「バインド」とは、
ウィンドウのサイズに合わせて、その「フレーム」のサイズを変
更させるかどうかの指定です。

>> フォント / 文字サイズ / スタイル / カラー... などを
設定する場合は、



「アイテム設定」の質問パネルの

「フォント...」をクリックします。

「フォント設定」の質問パネルが表示されます。

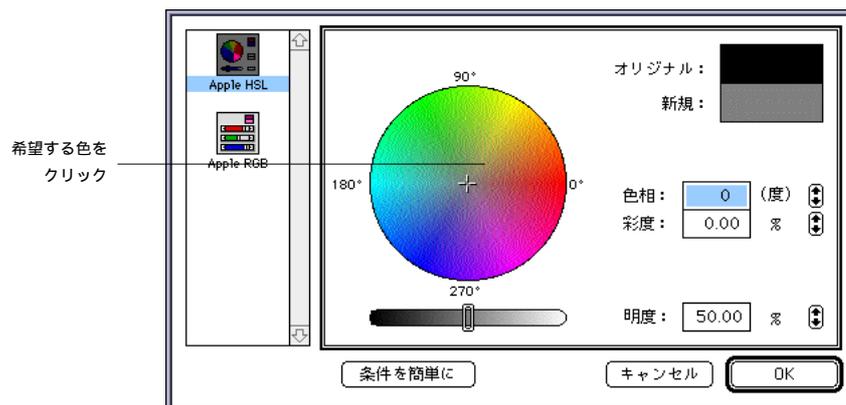
各項目を指定し、「設定」をクリックします。



文字のカラーを指定する場合は、



「色」の中をクリックして色の設定パネルを表示し、希望する色を選びます。



「アイテム（文字）設定」の質問パネルの

「設定」をクリックします。

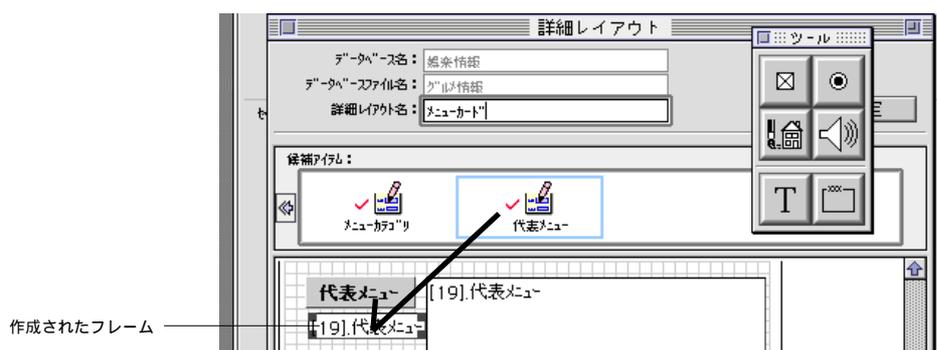
フレームを追加する場合は...



追加する「候補アイテム」のアイコンをドラッグし、
「レイアウト編集エリア」の中に移動します。

☐ 新しい「フレーム」が作成されます。

【「詳細レイアウト」のウィンドウ】



新しい「詳細レイアウト」には、「データベースファイル」にセットしてある
全アイテム用の「フレーム」と「タイトルフレーム」が配置されています。

>> 「タイトルフレーム」を追加する場合は、

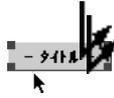
「ツールパレット」の **T** をドラッグし、

「レイアウト編集エリア」の中に移動します。

「一覧レイアウトまたは詳細レイアウト」の編集ウィンドウに「ツール
パレット」が表示されていない場合は、編集メニューから「ツールパレ
ットを表示」を選択してから選んでください。

☐ 新しい「タイトルフレーム」が作成されます。





「タイトルフレーム」をダブルクリックします。

☐ 「タイトル (文字列設定)」の設定パネルが表示されます。

「タイトル」に内容を入力し、

 をクリックします。

必要があれば「位置 / サイズ」、「フォント」、「枠を描画」の各内容も指定してください。



☐ 「タイトルフレーム」の中に、指定タイトルが表示されます。



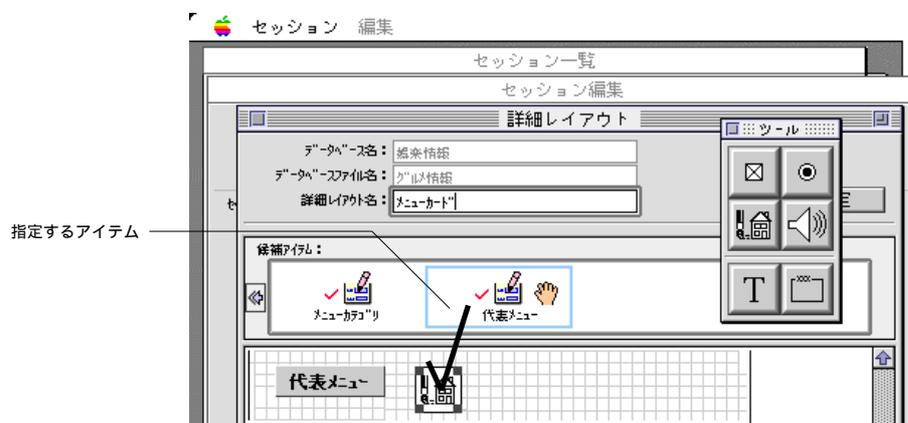
>> 「グラフィック」や「サウンド」用のフレーム を
追加する場合は、

「ツールパレット」の  または  をドラッグし、
「レイアウト編集エリア」の中に移動します。

 新しい「グラフィックまたはサウンド」用の「フレーム」が作成
されます。



指定する「候補アイテム」のアイコンを選択し、
「グラフィックまたはサウンド」用の「フレーム」の上に
ドラッグします。



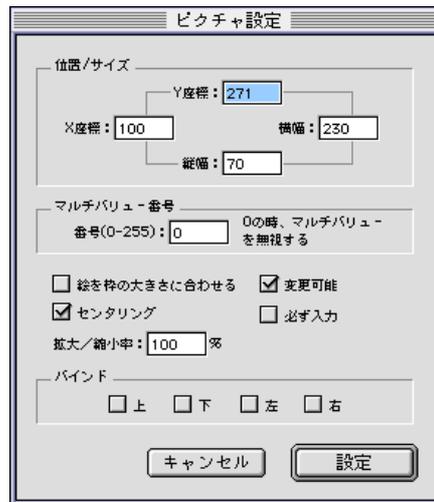


グラフィックの表示やサウンドの再生方法を設定する場合は、

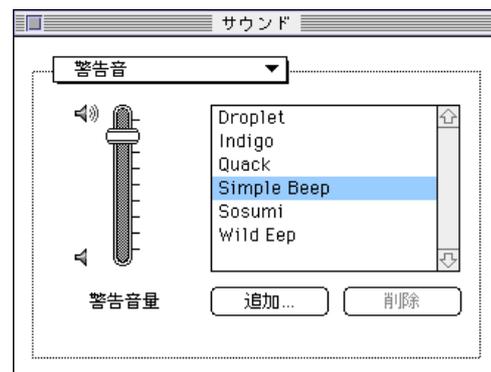
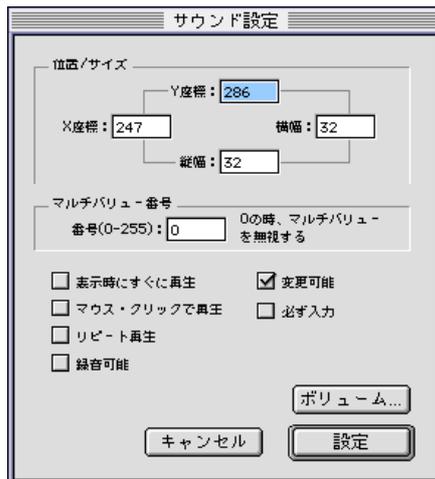
グラフィックやサウンド用の「フレーム」をダブルクリックして設定パネルを表示し、希望内容を指定します。

必要があれば「位置/サイズ」、拡大縮小率、サウンドボリュームなどの各内容も指定してください。

【グラフィック用の設定】



【サウンド用の設定】



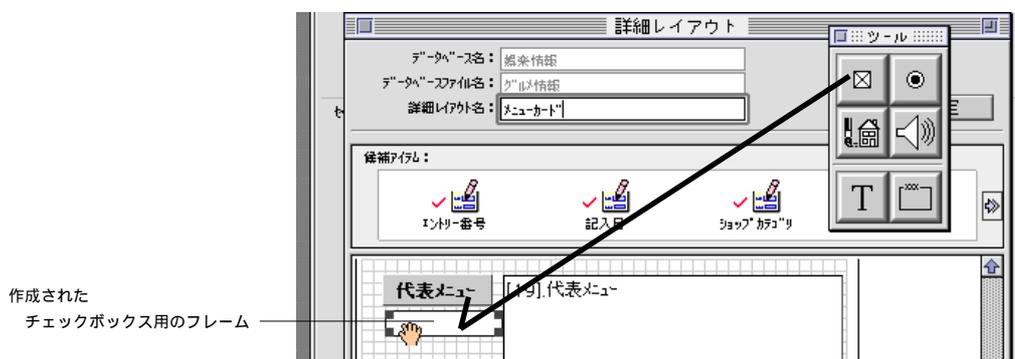
チェックボックス、ラジオボタンをセットする場合は...



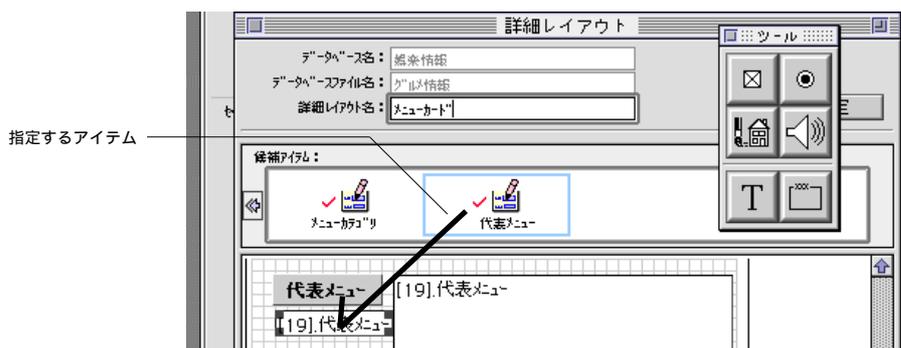
「ツールパレット」の  または  をドラッグし、
「レイアウト編集エリア」の中に移動します。

「一覧レイアウトまたは詳細レイアウト」の編集ウィンドウに「ツールパレット」が表示されていない場合は、編集メニューから「ツールパレットを表示」を選択してから選んでください。

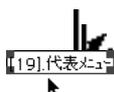
- 新しい「チェックボックスまたはラジオボタン」用の「フレーム」が作成されます。



指定する「候補アイテム」のアイコンを選択し、
「チェックボックスまたはラジオボタン」用の
「フレーム」の上にドラッグします。



- 「チェックボックスまたはラジオボタン」用の「フレーム」の中に、指定「アイテム名」が表示されます。



「チェックボックスまたはラジオボタン」用の
「フレーム」をダブルクリックします。

- 「チェックボックスまたはラジオボタン」の設定パネルが表示されます。

「タイトル」の欄に表示する内容を、
 「任意バリュー」の欄に保管する内容を入力し、
設定 をクリックします。

必要があれば「位置/サイズ」「フォント」の各内容も指定してください。

【 チェックボックス用の設定 】

この設定の場合、
 次のようなチェックボックスが
 セットされます。

☐ ランチ と表示されます。
 「値」として
 ☑ ランチ 「ランチメニュー」
 ☐ ランチ 「レギュラーメニュー」
 が保管されます。

チェックボックスの
 タイトル

【 ラジオボタン用の設定 】

「グループ番号2」として
 ● ディナー
 などのラジオボタンを
 もう1つ作り、
 グループにしてセットします。

この設定の場合、
 次のようなラジオボタンが
 セットされます。

○ ランチ と表示されます。
 選択時、「値」として
 「ランチメニュー」が保管されます。

ラジオボタンの
 タイトル

>> 「チェックボックス」、「ラジオボタン」...などを
「グループ化」する場合は、

「ツールパレット」の  をドラッグし、
「レイアウト編集エリア」の中に移動します。

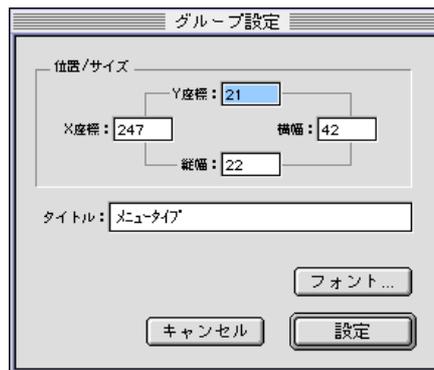
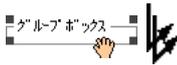
 新しい「グループフレーム」が作成されます。

「グループフレーム」をダブルクリックします。

 「グループ設定」の質問パネルが表示れます。

「位置/サイズ」、「タイトル」を入力し、
 をクリックします。

必要があれば「フォント」も指定してください。

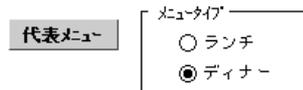


「グループフレーム」の中に、
「グループ化」する「フレーム」を作成します。



「チェックボックス」、「ラジオボタン」は、「一覧レイアウトまたは
詳細レイアウト」の編集ウィンドウでは「フレーム」のまま表示さ
れます。

(「一覧レイアウトまたは詳細レイアウト」のウィンドウでは「チェックボ
ックス」、「ラジオボタン」として表示されます。)



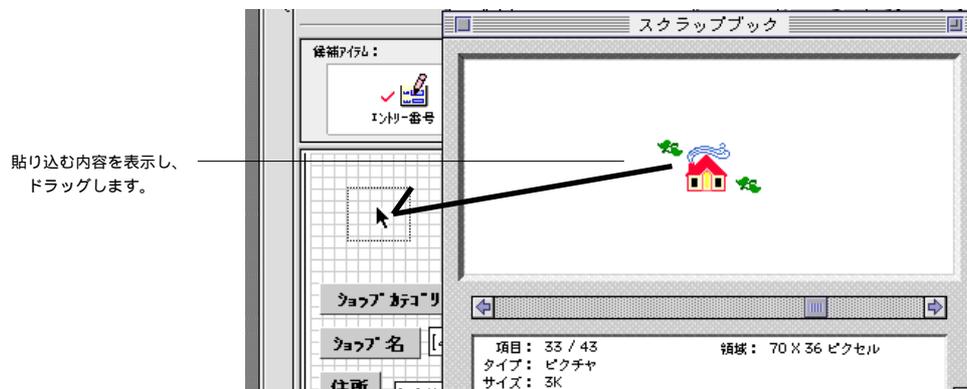
背景にグラフィックなどを貼り込む場合は...



貼り込む「グラフィック」を
「スクラップブック」に保管しておきます。

スクラップブック」をオープンし、
希望する「グラフィック」を
「レイアウト編集エリア」の中にドラッグします。

 ドラッグした内容が貼り込まれます。



レイアウト編集を終わる



「一覧レイアウト または 詳細レイアウト」、「セッション編集」の各ウィンドウを閉じ、「レイアウト」を「セッション」に保存します。

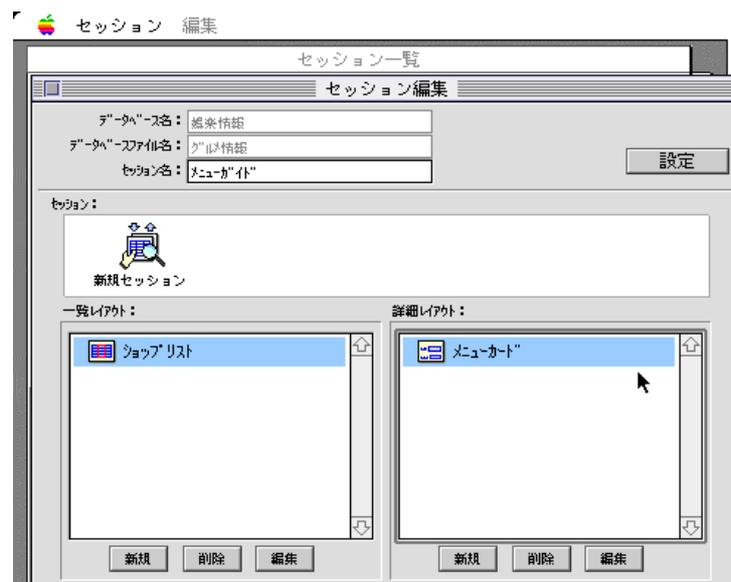
「一覧レイアウト または 詳細レイアウト」のウィンドウの

 をクリックします。

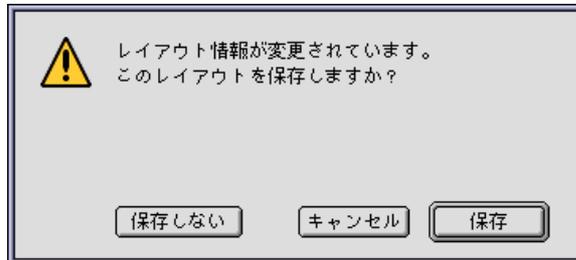
「一覧レイアウト または 詳細レイアウト」のウィンドウのクローズボックスをクリックしても構いません。



- 「一覧レイアウト または 詳細レイアウト」のウィンドウが閉じ、「セッション編集」のウィンドウに戻ります。



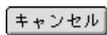
 もし、次のようなメッセージが表示されたら.....



 をクリックします。

 以下の場合は、次のボタンをクリックしてください。

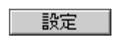
もう一度「レイアウト」を確認したい場合は・・・

 をクリックしてください。

「レイアウト」を保存したくない場合は・・・

 をクリックしてください。

「セッション編集」のウィンドウの

 をクリックします。

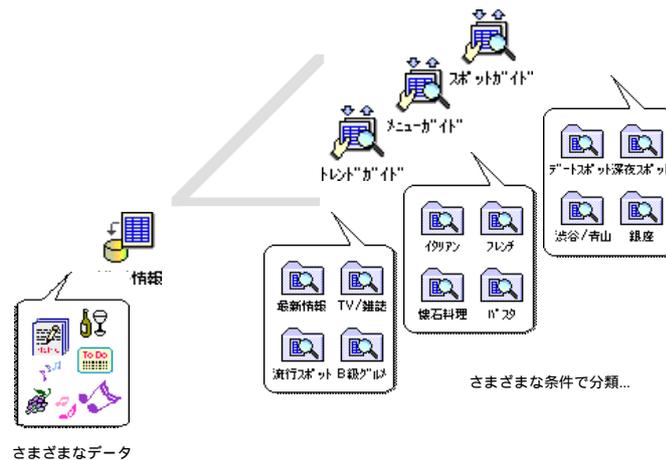
 「セッション編集」のウィンドウが閉じ、「セッション一覧」のウィンドウに戻ります。

 「一覧レイアウトまたは詳細レイアウト」の表示については、『データを閲覧する』をご覧ください。

グループを編集する



「**Session**」は、「データベース」に保管されている膨大なデータの中から、必要な条件のデータを「グループ」化し、絞りこんで表示することができます。



グループとは...

ある「検索条件」に該当する「データの集合」を「**グループ**」といいます。

1つの「セッション」の中に、最大255個の各「グループ」を作成することができます。

各「セッション」には、「レイアウト」と「グループ」をセットすることができます。

「**検索条件**」は、例えば、

「"電話番号" が" 03 " で始まるデータの集合」

のようにセットします。

「"電話番号" が...」の"電話番号"のように、

検索のための分類項目のことを「**キー**」といいます。



検索には、「データベースファイル」にセットしてある「キー」を使います。

「キーのセット」については、『アイテムとキーをセットする』をご覧ください。

グループを作成 / 削除する



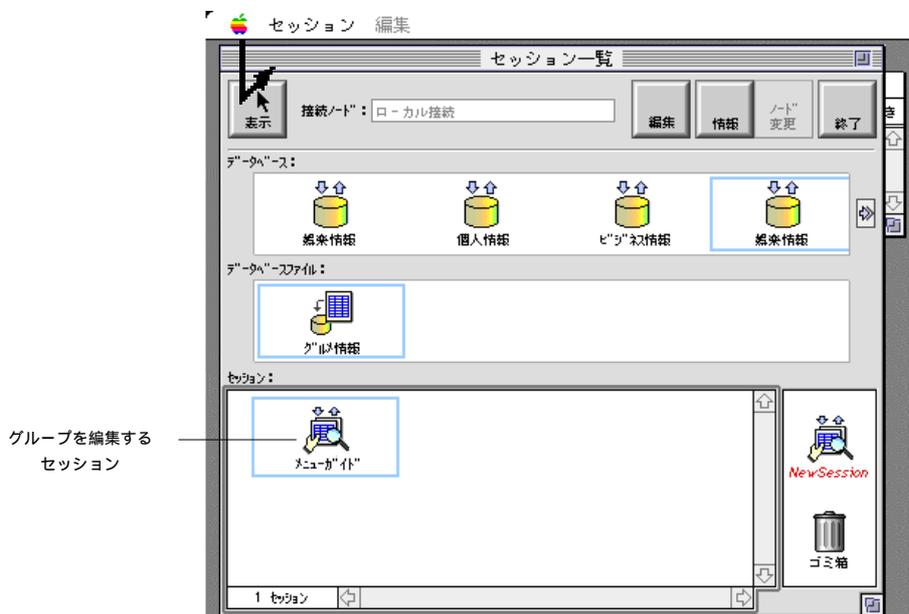
「グループ」の作成 / 削除は、「グループ一覧」のウィンドウで行ないます。

「グループ」を編集する「セッション」のアイコンを選択し、



をクリックします。

「セッション表示エリア」に、編集する「セッション」のアイコンが表示されていない場合は、「セッション」が保存してある「データベース」「データベースファイル」のアイコンを順に選択してから選んでください。



「グループ一覧」のウィンドウが表示されます。



「グループ一覧」のウィンドウは、「セッションアイコン」をダブルクリックしても表示することができます。

グループを作成する場合は...



「グループ一覧」のウィンドウで、

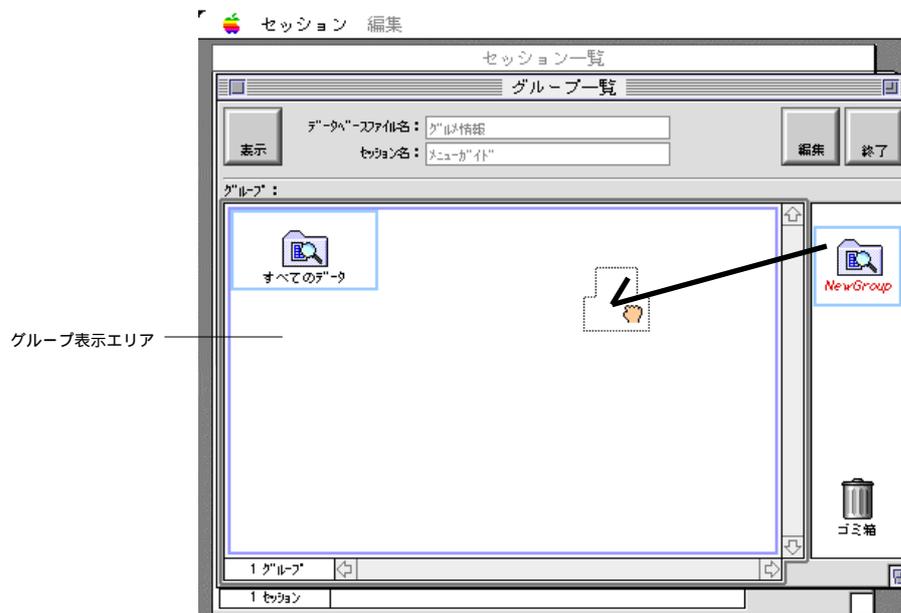
「グループ表示エリア」の右側の  の上に

ポインタを合わせます。

 マウスのポインタが  に変わります。

 をドラッグし、「グループ表示エリア」の中に移動します。

【「グループ一覧」のウィンドウ】



「グループ一覧」のウィンドウは、「グループ」の作成 / 削除 / 選択 / 表示などを行なう画面です。

選択「セッション」に保存してある「グループ」が表示されます。
(新しい「セッション」には「すべてのデータ」という「グループ」がセットされています。)

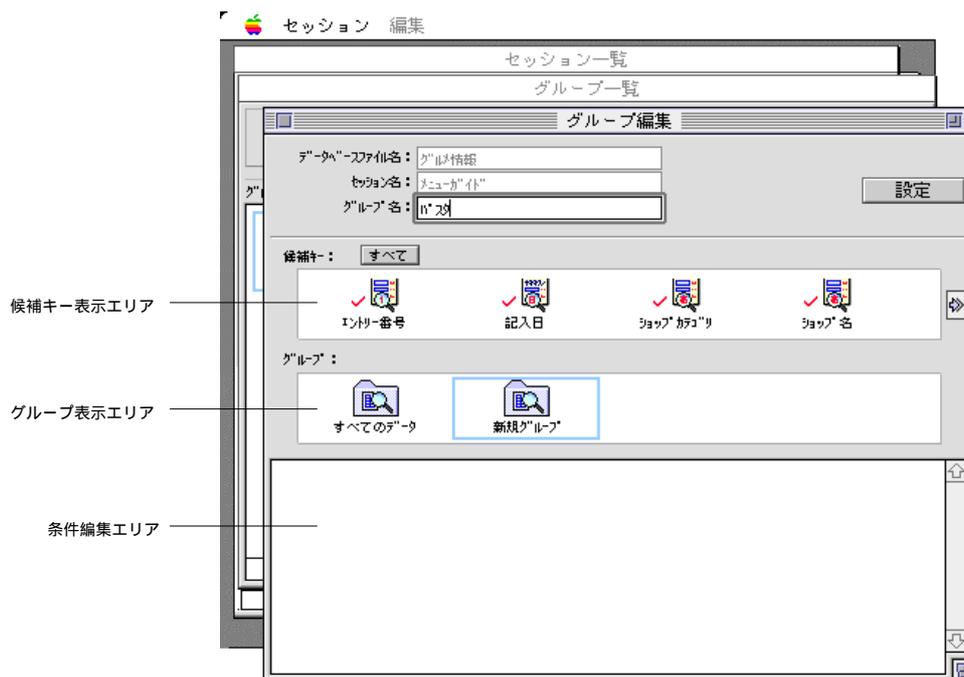
 新しい「グループ編集」のウィンドウが表示されます。

「グループ名」を入力し、「検索条件」を編集します。



同一「セッション」内で「グループ名」が重複しないようにしてください。

【新しい「グループ編集」のウィンドウ】



新しい「グループ編集」のウィンドウには、「検索条件」編集用の「候補キー」と、選択「セッション」にセットされている「グループ」のアイコンが表示されます。
(「候補キー」とは、「データベースファイル」にセットされている「キー」です。)

「検索条件」の編集作業については、『検索条件を編集する』をご覧ください。

グループを削除する場合は...



いったん削除した「グループ」は復元できませんので、慎重に削除してください。

「グループ一覧」のウィンドウで、
削除する「グループ」のアイコンを選択し、

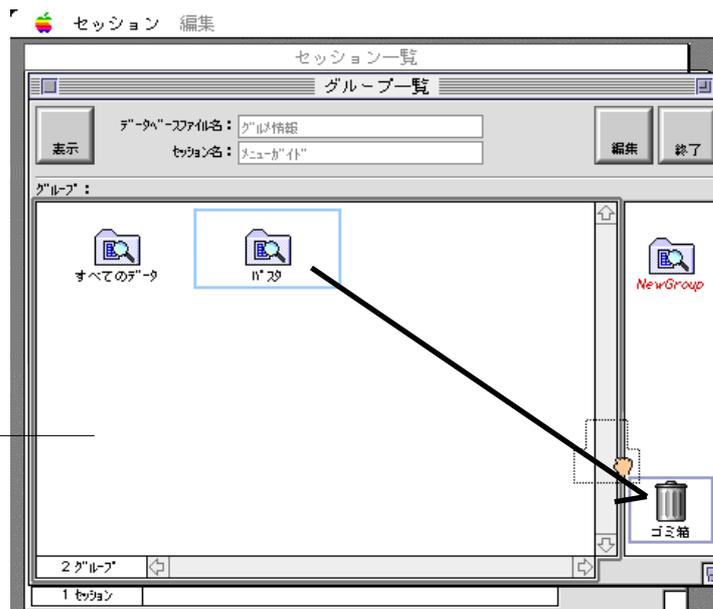


にドラッグします。

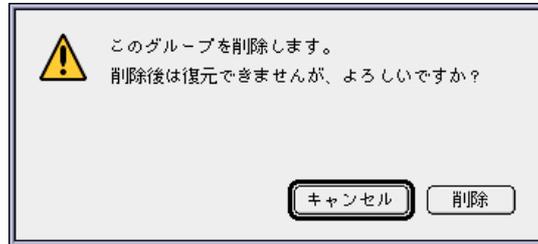
「グループ表示エリア」に、削除する「グループ」のアイコンが表示されていない場合は、「セッション一覧」のウィンドウで「グループ」が保存してある「セッション」のアイコンを選択し、「グループ一覧」のウィンドウを表示してから選んでください。

☐ 「グループ」のアイコンを選択すると、マウスのポインタが  に変わります。

削除するグループを
ゴミ箱へドラッグします。



☐ 警告パネルが表示されます。



をクリックします。

☐ 「グループ表示エリア」から「グループ」のアイコンが削除されます。

❖ 「グループ」は、ファインダの「ゴミ箱」にドラッグしても削除することができます。

検索条件を編集する



「検索条件」の編集作業は「**グループ編集**」のウィンドウで行ないます。



新規グループ作成時は、自動的に「グループ編集」のウィンドウが表示されます。

新しい「グループ」の作成については、『グループを作成 / 削除する』をご覧ください。

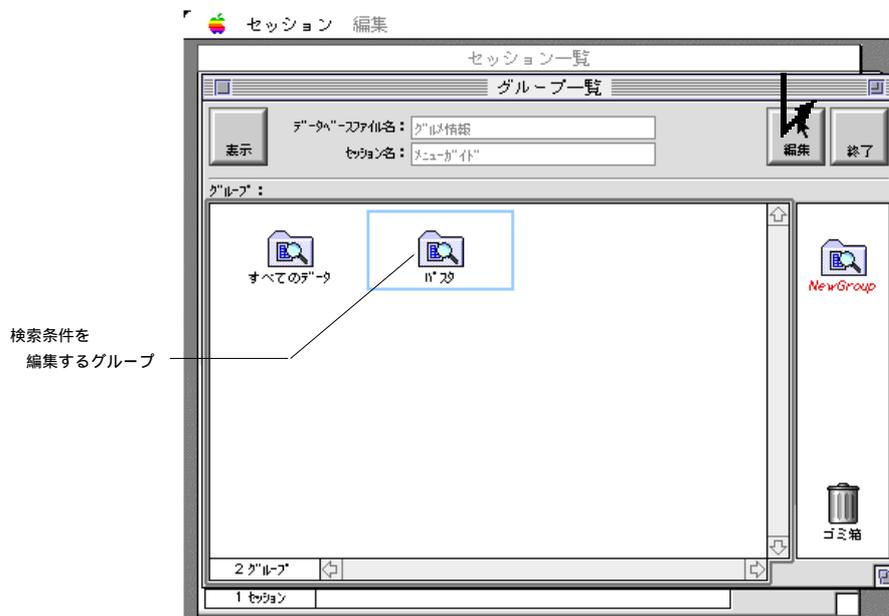
グループ編集のウィンドウを表示する場合は...

「グループ一覧」のウィンドウで、
編集する「グループ」のアイコンを選択し、



をクリックします。

「グループ表示エリア」に、編集する「グループ」のアイコンが表示されていない場合は、「セッション一覧」のウィンドウで「グループ」が保存してある「セッション」のアイコンを選択し、「グループ一覧」のウィンドウを表示してから選んでください。



「グループ編集」のウィンドウが表示されます。

検索条件をセットする場合は...



「グループ編集」のウィンドウで、
検索する「候補キー または グループ」のアイコンを選択し、
「条件編集エリア」の中にドラッグします。

ドラッグした「候補キー」(または「グループ」)に対応するデータが
検索されます。

(候補キーの「すべて」は、データベースファイルに保管されている
すべてのデータを表示する場合に利用します。

「グループ」は、すでにある「グループ」から新しい「グループ」を
作り出す集合演算を行なう場合に利用します。

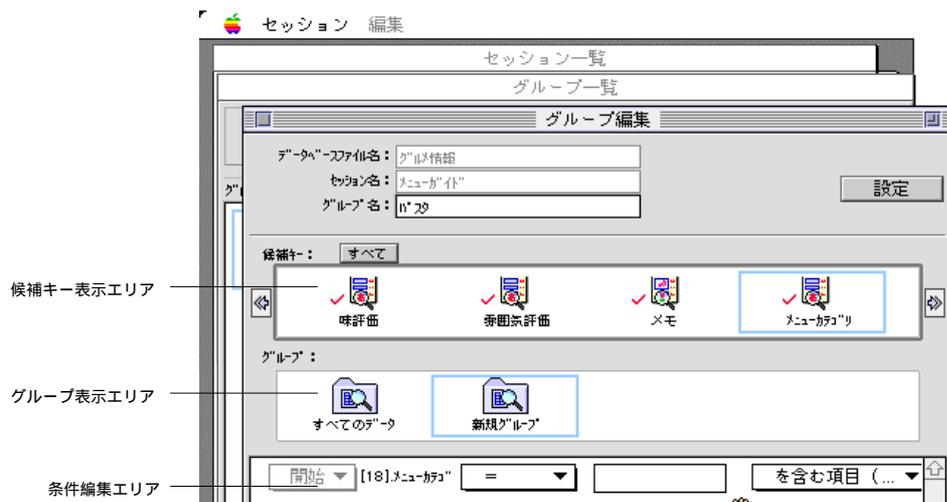
現在編集中の「グループ」をドラッグすることはできません。)

【例】 「メニューカテゴリ」が"バスタ"を含むデータ
の「グループ」を作成する場合...

「メニューカテゴリ」アイコンをドラッグします。

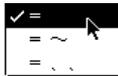
 ポインタが  に変わり、新しい「検索条件」がセットされます。

【「グループ編集」のウィンドウ】



「グループ編集」のウィンドウには、「候補キー」と、選択「セッション」にセットされている「グループ」のアイコンが表示されます。
(「候補キー」とは、「データベースファイル」にセットされている「キー」です。)

[18]メニューから



「検索内容」のタイプを選択します。

セットした「候補キー」(または「グループ」)に対応するデータを、

- 「 = 」 「文字列」で検索する場合
- 「 = ~ 」 「数値範囲」または、
「五十音 / アルファベット範囲」で検索する場合
- 「 = , , , 」 2つ以上の「文字列」で検索する場合

「検索内容」を入力します。

>> 「 = 」を選んだ場合...

[18]メニューから

検索する内容を「文字列」で入力します。

最大256文字まで指定することができます。
(漢字ひらがななどは「1文字 = 2」と数えます。)

>> 「 ~ 」を選んだ場合...

[1]インキ-番号 ~

検索する内容を「数値範囲 (~ 以上 ~ 以下)」または、
「五十音 / アルファベット範囲」で入力します。

>> 「 = , , , 」を選んだ場合...

[18]メニューから 、

各欄に、検索する内容を「文字列」で入力します。

- > 検索内容を追加する場合は、
 をクリックし、入力欄を追加します。
- > 検索内容を削除する場合は、入力欄を未入力のままにします。

入力欄は、最大5こまで追加することができます。



「 ~ (範囲) 」, 「 = , , , (2つ以上の文字列) 」で検索する場合は、
完全一致の検索のみとなります。

パスタ

✓を含む項目 (中間一致)
で始まる項目 (前方一致)
で終わる項目 (後方一致)
の項目

「集合条件」のタイプを選択します。

セットした「候補キー」(または「グループ」)に対応するデータのうち、

>> 「~を含む項目 (中間一致)」

「検索内容」を含むデータを検索する場合

【例】 候補キー = メニューカテゴリ

「メニューカテゴリ」が「パスタ」を含むデータ
のような場合...

>> 「~で始まる項目 (前方一致)」

「検索内容」で始まるデータを検索する場合

【例】 候補キー = 電話番号

「電話番号」が「02」で始まるデータ
のような場合...

>> 「~で終わる項目 (後方一致)」

「検索内容」で終わるデータを検索する場合

【例】 候補キー = 電話番号

「電話番号」が「1111」で終わるデータ
のような場合...

>> 「~の項目 (完全一致)」

「検索内容」と完全に一致するデータを検索する場合

【例】 候補キー = 郵便番号

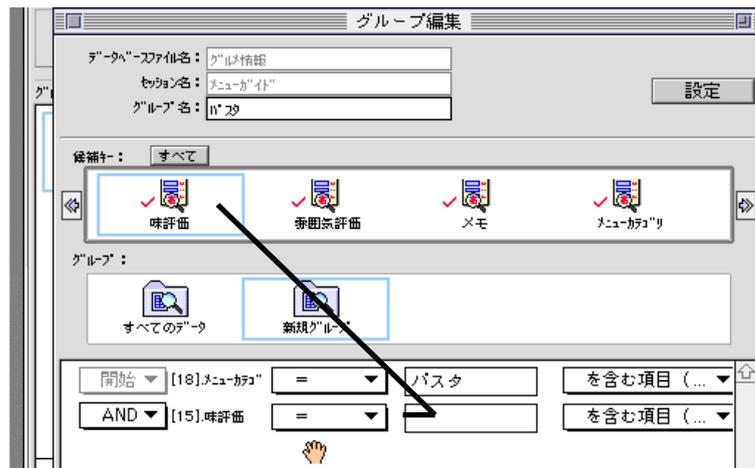
「郵便番号」が「123-0000」のデータ
のような場合...

>> 「検索条件」が続く場合は、

もう一度、

セットする「候補キーまたはグループ」のアイコンを
「検索条件編集エリア」の中にドラッグします。

☑ 次の新しい「検索条件」が作成されます。



1つの「グループ」に、メモリの許す限り、複数の「検索条件」をセットすることができます。

「複合条件」のタイプを選択します。

「AND」 前の「検索条件」に加えて検索する場合

【例】 候補キー = メニューカテゴリ、候補キー 2 = 味評価
「メニューカテゴリ」が「バスタ」を含むデータで、
しかも
「味評価」が「おいしい」を含むデータ
のような場合...

「OR」 前の「検索条件」と並べて検索する場合

【例】 候補キー = 住所、候補キー 2 = 電話番号

「住所" が" 東京都" を含むデータ」

または

「電話番号" が" 02 " で始まるデータ」

のような場合...

「NOT」 前の「検索条件」に加え、
この「検索条件」以外のデータを検索する場合

【例】 候補キー = 住所、候補キー 2 = 電話番号

「住所" が" 東京都" を含むデータ」で、

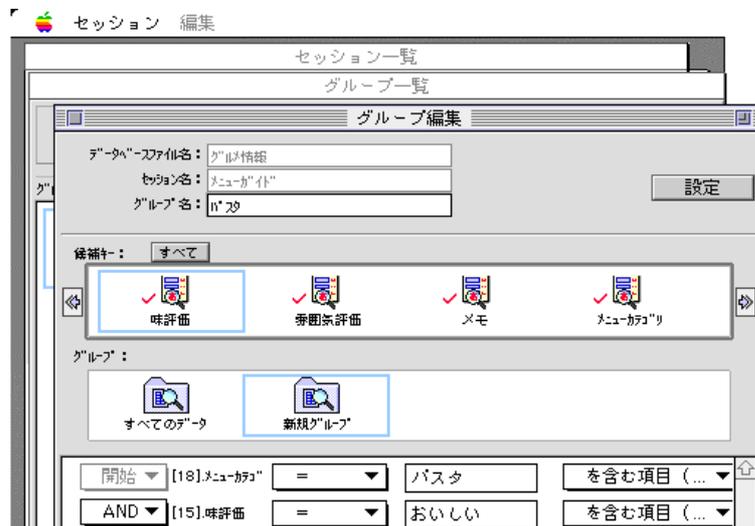
しかも

「電話番号" が" 02 " で始まらないデータ」

のような場合...

「開始」は、最初にセットした「検索条件」用のタイプです。

「検索内容」のタイプを選択/入力し、「集合条件」を選択します。



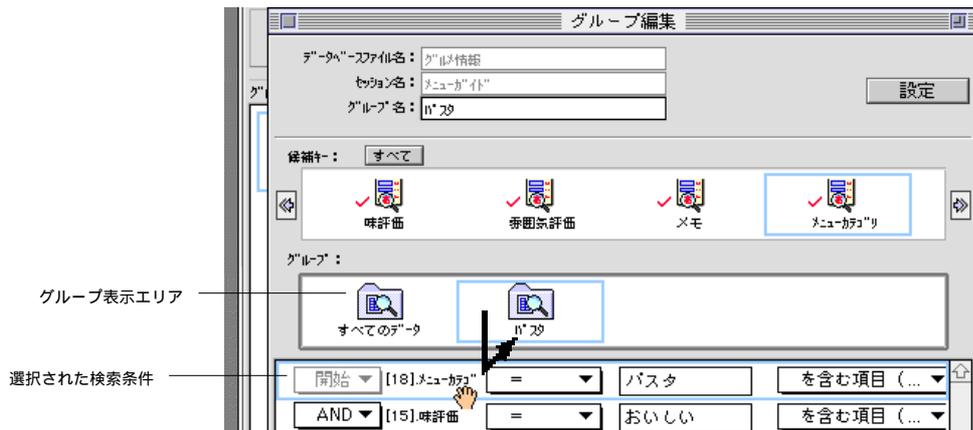
検索条件を選択する場合は...



選択する「検索条件」をクリックします。

「条件表示エリア」に、選択する「検索条件」が表示されていない場合は、「検索条件」が保存してある「グループ」のアイコンを選択してから選んでください。

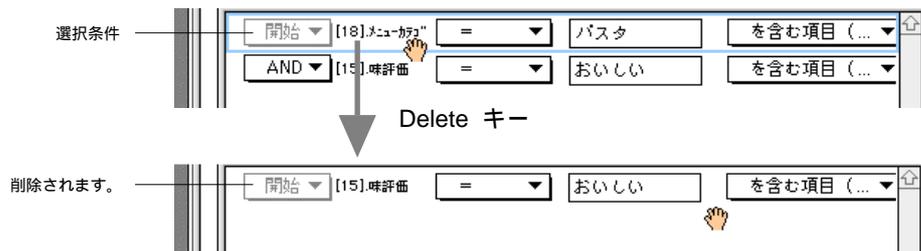
☐ ポインタが👉に変わり、選択された「検索条件」が枠で囲まれます。



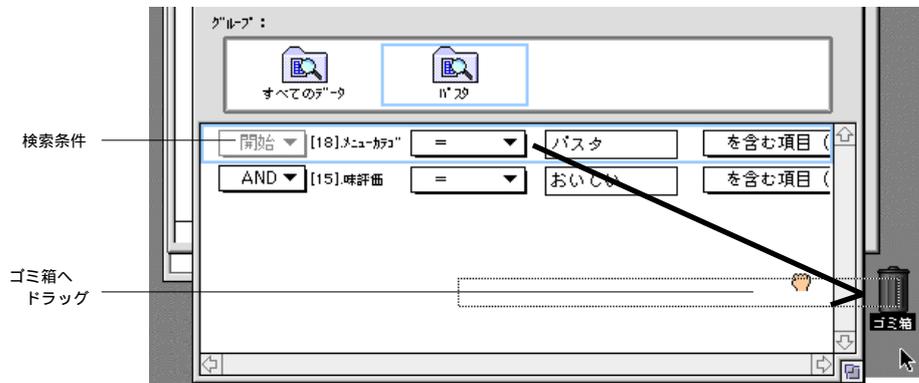
検索条件を選択する場合は...

削除する「検索条件」を選択し、**Delete** キーを押します。

☐ 「検索条件」が削除されます。



- ❖ 「検索条件」は、ファインダの「ゴミ箱」にドラッグしても削除することができます。

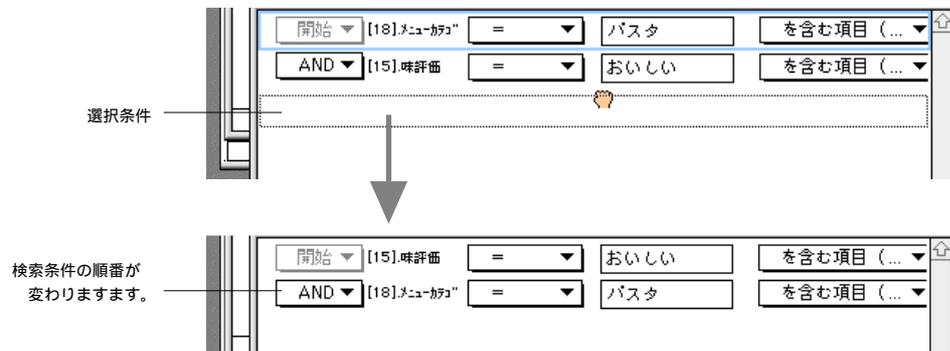


検索条件の順番を変更する場合は...



移動する「検索条件」を選択し、
任意位置にドラッグします。

☐ 「検索条件」が並べ変わります。



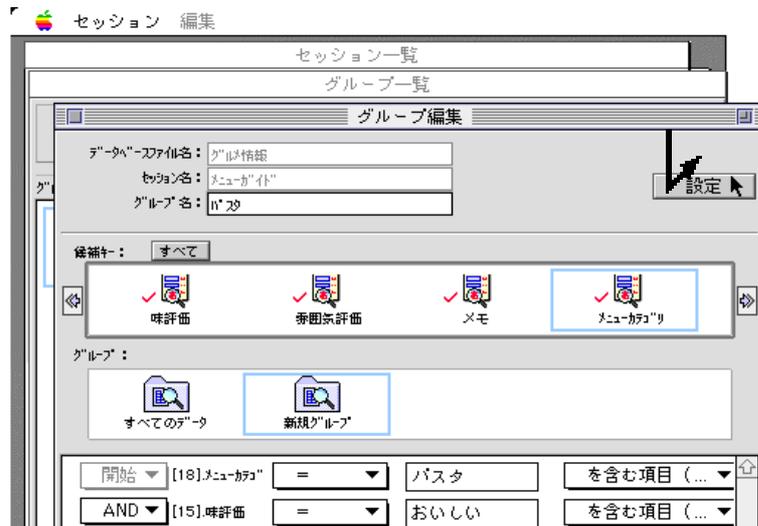
グループ編集を終わる



「グループ編集」、「グループ一覧」の各ウィンドウを閉じ、「セッション」を「セッション」に保存します。

「グループ編集」のウィンドウの **設定** をクリックします。

「グループ編集」のウィンドウのクローズボックスをクリックしても構いません。



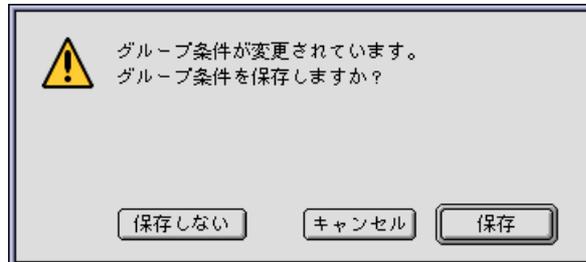
「グループ編集」のウィンドウが閉じ、「グループ一覧」のウィンドウに戻ります。

「グループ一覧」のウィンドウのクローズボックスをクリックします。



「グループ一覧」のウィンドウが閉じ、「セッション一覧」のウィンドウに戻ります。

 もし、次のようなメッセージが表示されたら.....



 をクリックします。

 以下の場合、次のボタンをクリックしてください。

もう一度「グループ」を確認したい場合は・・・

 をクリックしてください。

「グループ」を保存したくない場合は・・・

 をクリックしてください。

 「グループ」のデータの表示については、『データを閲覧する』をご覧ください。

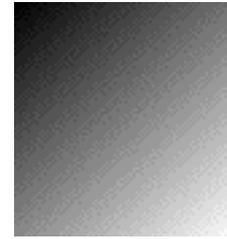




第4章

H i B a s e

Browsing the Data ...



この章では、基本アプリケーションの「**Session**」を利用した、「データ・ブラウジング」の機能や操作方法を、標準的な作業順序にしたがって説明します。

「データ」の表示 / 編集 / 検索 / 並べ替え / 印刷... を行う際、随時ご覧ください。



目次



マニュアル

データを閲覧する



Browsing the Data ...

「データ」を閲覧することを「ブラウジング」といいます。

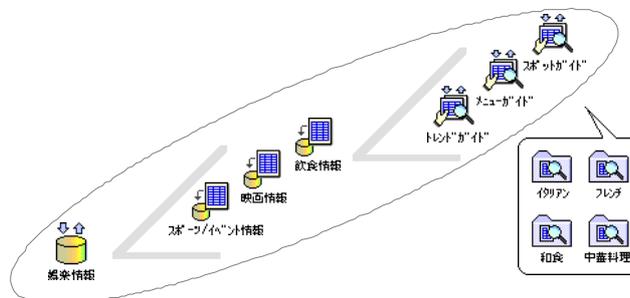
HiBase の「データ」を、表示 / 編集 / 検索 / 並べ替え / 印刷...
する場合は、基本アプリケーションの「**Session**」(または、「Java
アプレットの **HBBrowser**」) を利用します。



「**Session**」の起動については『**Session**を開始 / 終了する』、「Java アプレットの **HBBrowser**」の利用については、『**HiBase** のJava アプレットを使う』をご覧ください。

データを表示する

「**Session**」では、利用目的ごとに分けられた「セッション」や「グループ」を開き、必要な「データ」を表示します。



セッションを開く

表示する「セッション」の選択は、「**セッション一覧**」のウィンドウで行ないます。

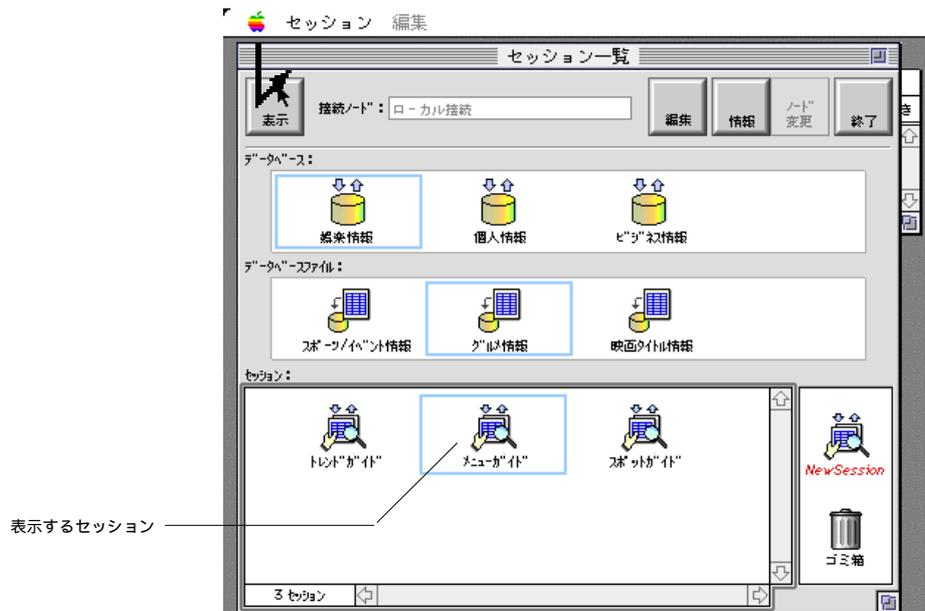
表示する「セッション」のアイコンを選択し、



をクリックします。

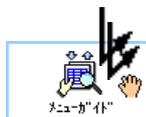
「セッション表示エリア」に、表示する「セッション」のアイコンが表示されていない場合は、「セッション」が保存してある「データベース」、「データベースファイル」のアイコンを順に選択してから選んでください。

【「セッション一覧」のウィンドウ】



「セッション一覧」のウィンドウには、利用可能な「データベース」や「データベースファイル」、「セッション」が表示されます。

☐ 「グループレビュー」のウィンドウが表示されます。



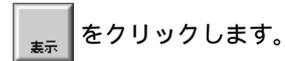
「グループレビュー」のウィンドウは、「セッションアイコン」をダブルクリックしても表示することができます。

また、メモリの許す限り、いろいろな「セッション」の「グループレビュー」のウィンドウを同時に表示することができます。

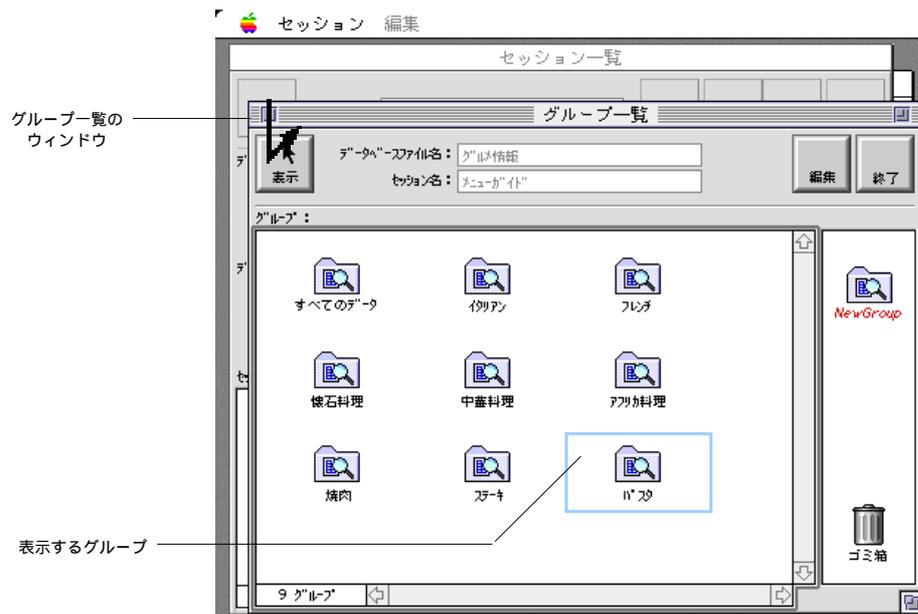
グループを開く場合は...



「グループ一覧」のウィンドウで、
表示する「グループ」のアイコンを選択し、



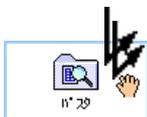
【「グループ一覧」のウィンドウ】



「グループ一覧」のウィンドウには、選択「セッション」に保存してある「グループ」が表示されます。

「データベースファイル」の全データを表示する場合は  を選択します。
すべてのデータ

 「一覧表示」のウィンドウが表示されます。

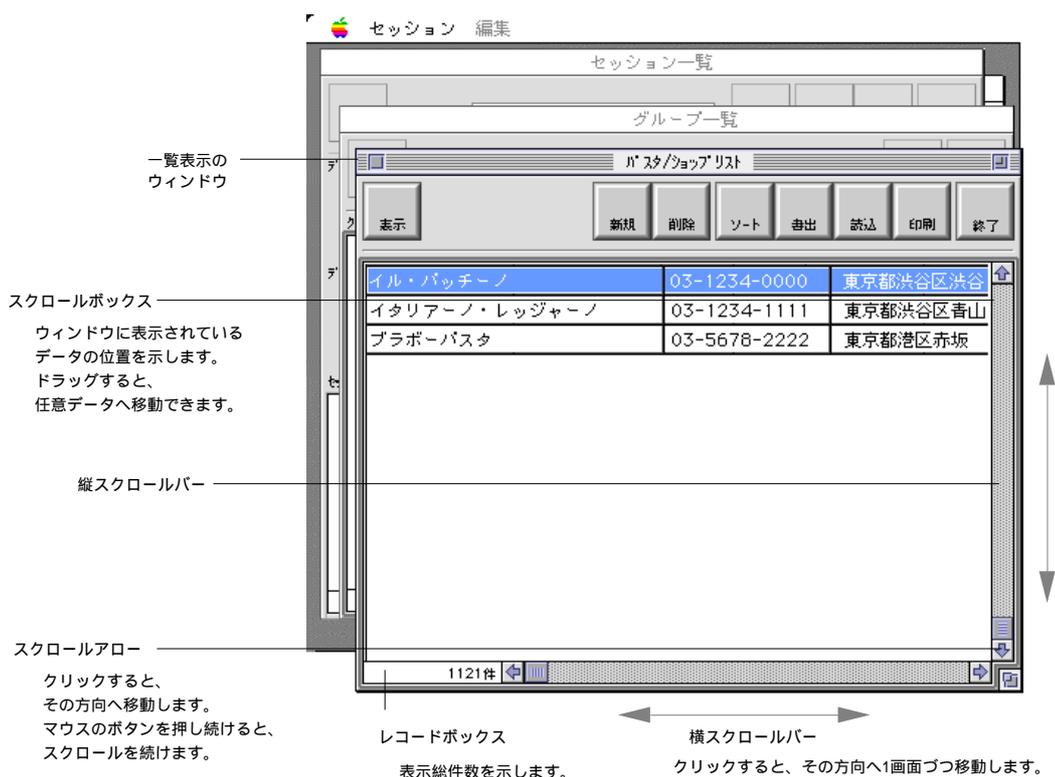


「一覧表示」のウィンドウは、「グループアイコン」をダブルクリックしても表示することができます。

「一覧表示」のウィンドウには、選択「グループ」にセットしてある「検索条件」に該当する「データ」だけが表示されます。

ウィンドウの左下の「レコードボックス (1121件)」に、表示データの件数が表示されます。

【「一覧表示」のウィンドウ】



「一覧表示」ウィンドウのデータは巻物のようになっています。

(「スクロールアロー (↓)」や「スクロールバー」を使って、表示範囲を変えることができます。)

メモリの許す限り、いろいろな「グループ」の「一覧表示」のウィンドウを同時に表示することができます。

詳細表示する場合は...

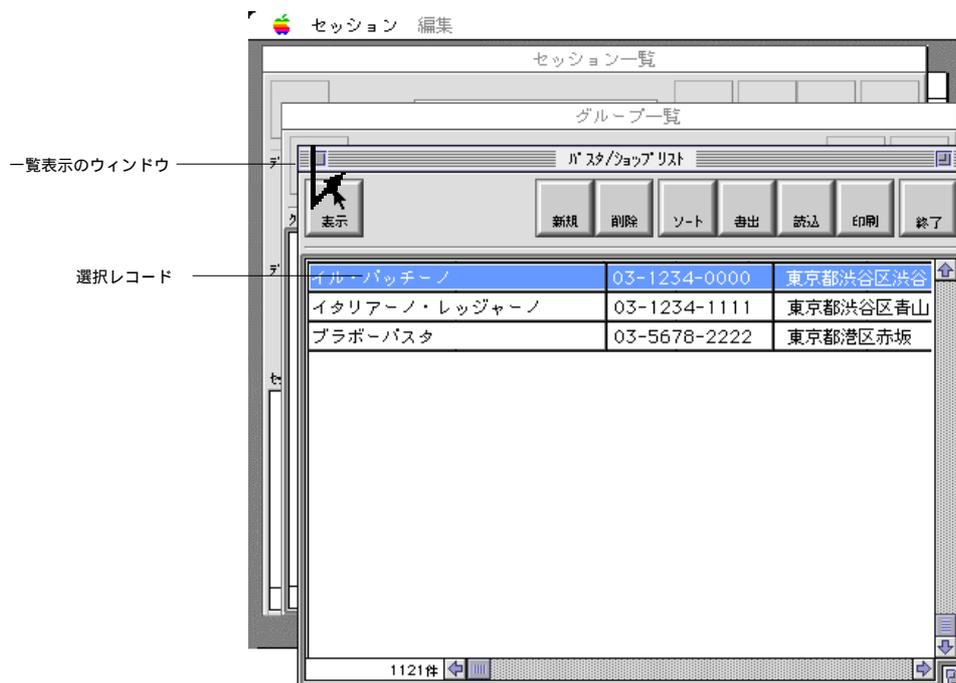


「一覧表示」のウィンドウで、
表示する「データ」をクリックします。

☐ 「レコード」が選択されます。



をクリックします。



☐ 「詳細表示」のウィンドウが表示されます。

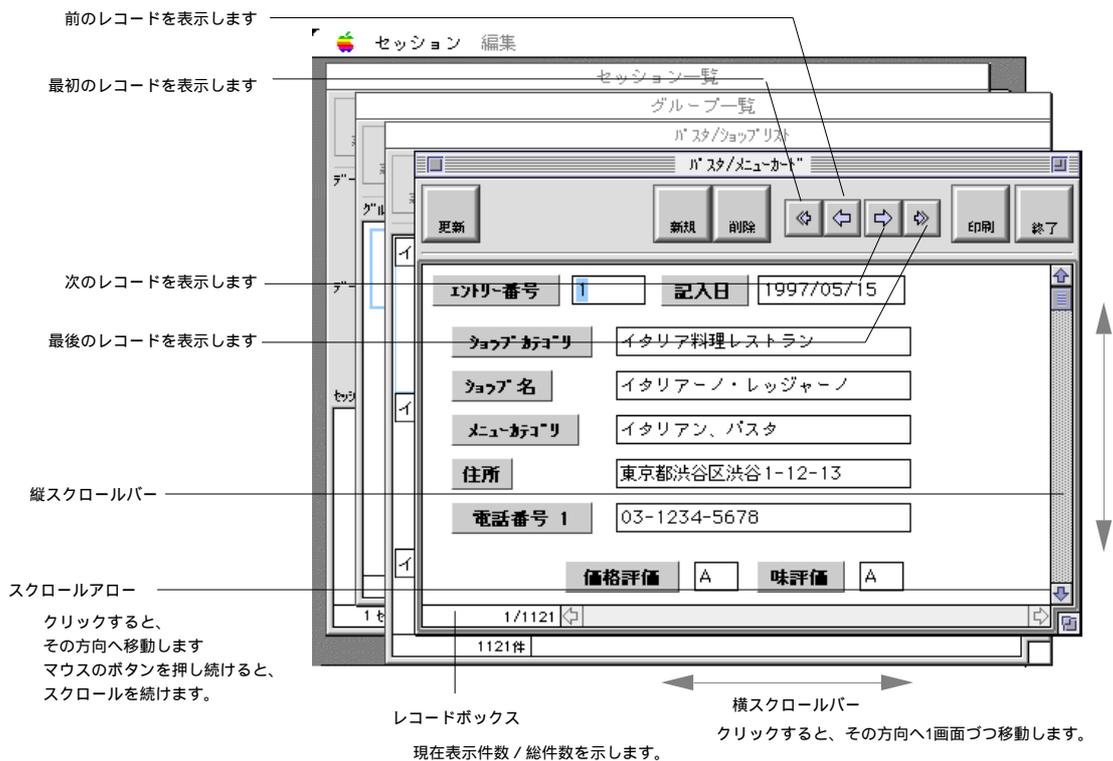


「詳細表示」のウィンドウは、「レコード」をダブルクリックしても表示することができます。

「詳細表示」のウィンドウには、選択「レコード」の内容だけが表示されます。

ウィンドウの左下の「レコードボックス ()」に、「表示レコード数 / 表示データの総件数」が表示されます。

【「詳細表示」のウィンドウ】



「詳細表示」ウィンドウのデータはカード状になっています。

 や  をクリックして、前後のレコードを表示することができます。

先頭のレコードを表示する場合は  を、

最後のレコードを表示する場合は  をクリックします。

メモリの許す限り、いろいろな「グループ」の「詳細表示」のウィンドウを同時に表示することができます。

データを処理する



Browsing the Data ...

基本アプリケーションの「**Session**」では、データの修正 / 更新 / 印刷、「レコード」の追加 / 削除 / 並べ替え... などを行なうことができます。

データを編集する

データの修正 / 更新 / 印刷、「レコード」の追加 / 削除 / 並べ替えなどは「**一覧表示**」、「**詳細表示**」の各ウィンドウで行ないます。



各ウィンドウの表示については、『**データを表示する**』をご覧ください。

データを更新する

データの入力 / 更新作業は、「**詳細表示**」のウィンドウで行ないます。



(「**一覧表示**」のウィンドウで、データの修正はできません。)

「**詳細表示**」のウィンドウに、

修正する「**レコード**」を表示します。

データを入力し直し、 をクリックします。

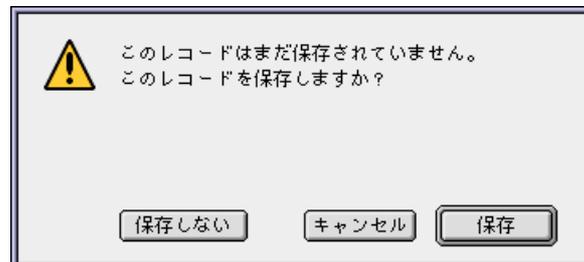
「**詳細表示**」のウィンドウのクローズボックスをクリックしても構いません。

- ❖ 「詳細表示」ウィンドウや「レコード」の表示についての詳細は、『詳細表示する場合は...』をご覧ください。



☐ 「詳細表示」のウィンドウが閉じ、「一覧表示」のウィンドウに戻ります。

- ⚠ もし、次のようなメッセージが表示されたら.....



保存 をクリックします。

- ❖ 以下の場合、次のボタンをクリックしてください。

もう一度「データ」を確認したい場合は...

キャンセル をクリックしてください。

「データ」を更新したくない場合は...

保存しない をクリックしてください。

レコードを追加 / 削除する



「レコード」の追加 / 削除は、「一覧表示」、「詳細表示」のどちらのウィンドウでも行うことができます。

レコードを追加する場合は...

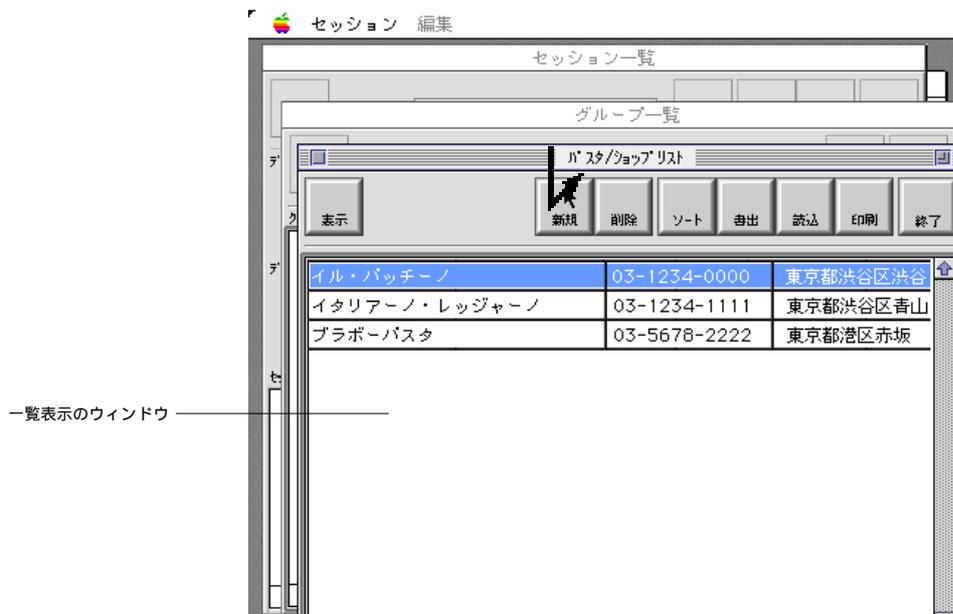
「一覧表示 または 詳細表示」の各ウィンドウで、



をクリックします。

☞ 新しい「詳細表示」のウィンドウがもう 1 枚表示されます。

【「一覧表示」のウィンドウ】



☞ 新しい「詳細表示」のウィンドウがもう 1 枚表示されます。

新しいデータを入力し、 をクリックします。

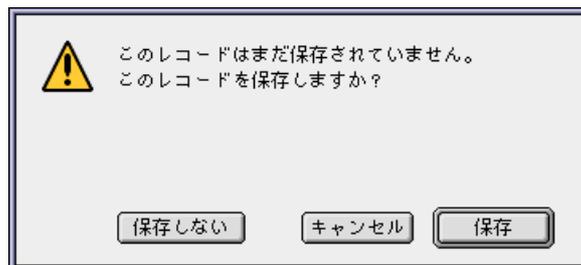
「詳細表示」のウィンドウのクローズボックスをクリックしても構いません。



新しい「詳細表示」のウィンドウが閉じます。



もし、次のようなメッセージが表示されたら.....



保存 をクリックします。



以下の場合、次のボタンをクリックしてください。

もう一度「レコード」を確認したい場合は...

キャンセル をクリックしてください。

「レコード」を追加したくない場合は...

保存しない をクリックしてください。

レコードを削除する場合は...



いったん削除した「レコード」は復元できませんので、慎重に削除してください。

「一覧表示 または 詳細表示」の各ウィンドウで、
削除する「レコード」を選択（または表示）し、



をクリックします。

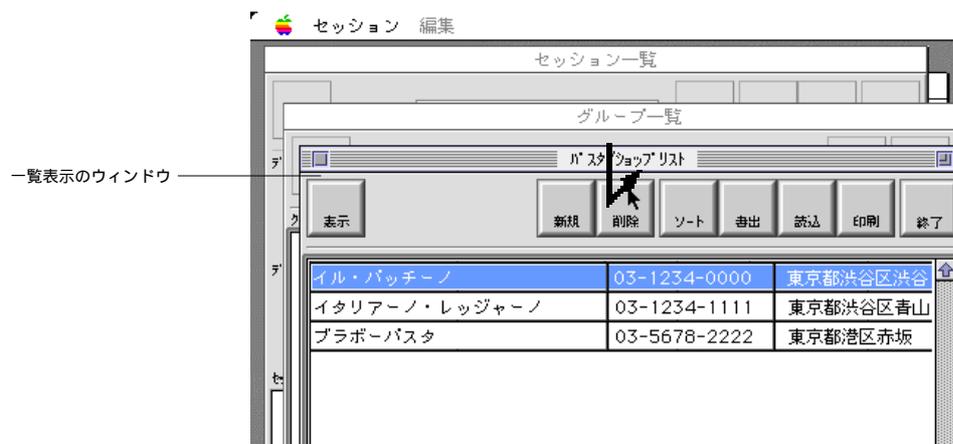
>> 「一覧表示」のウィンドウ で削除する場合は...

削除する「レコード」を選択します。

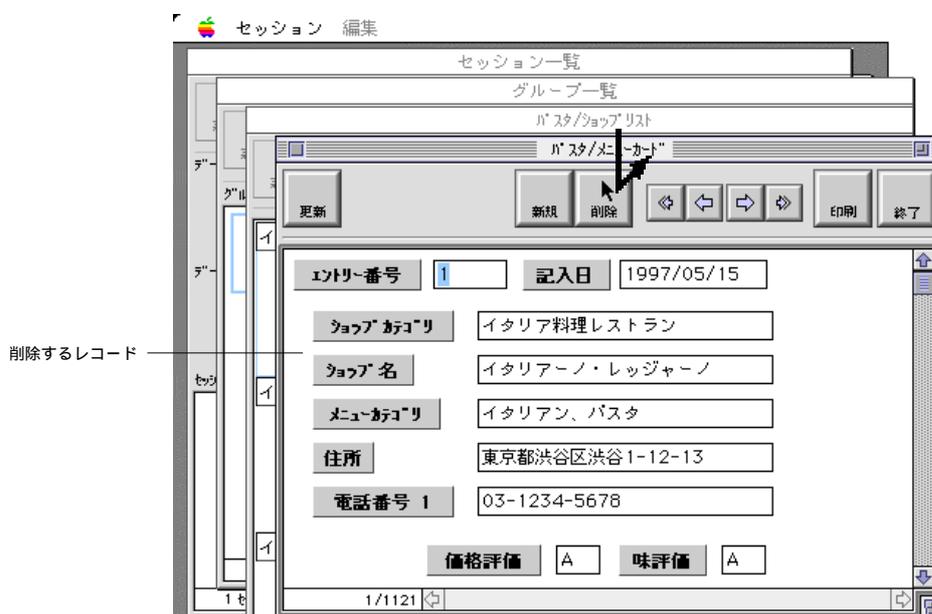
>> 「詳細表示」のウィンドウ で削除する場合は...

削除する「レコード」を表示します。

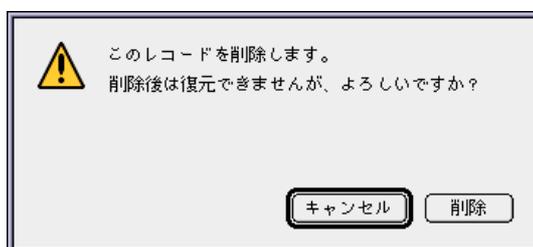
【「一覧表示」のウィンドウ】



【「詳細表示」のウィンドウ】



- 警告パネルが表示されます。



- 削除** をクリックします。

「レコード」を削除したくない場合は、PP をクリックしてください。

- 選択「レコード」が削除されます。

データファイルを読み込む / 書き出す



「一覧表示」のウィンドウでは、「データファイル」を一度に読み込んだり、書き出すことができます。

❖ 「データ」は、基本アプリケーションの「**HBUtil**」でロードした方が効率的です。

他のアプリケーションで作成 / 管理されていた「データ」を読み込み、**HiBase** で「データ」を再利用する場合や、「データ」のバックアップを作成する場合などは、基本アプリケーションの「**HBUtil**」での「データロード / アンロード」をお勧めします。

「**HBUtil**」での「データロード / アンロード」については、『データをロードする』をご覧ください。

データファイルを読み込む場合は...

「一覧表示」のウィンドウで、 をクリックします。

☞ 「データファイル」を選択する質問パネルが表示されます。

読み込む「データファイル」を選択し、

 をクリックします。



☞ データが読み込まれます。

データファイルを書き出す場合は...



「一覧表示」のウィンドウに、
書き出す「グループ」を表示し、

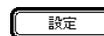


をクリックします。



「データファイル」の保存場所を選択する質問パネルが表示されます。

書き出す「データファイル」を選択し、



をクリックします。



「データファイル」が「テキスト形式」で書き出されます。

データを並び変える



「" ショップ名 " があ～ん順で、
" 記入日 " が早い順で、" エントリー番号 " が若い順で...」
のように、

ある「特定の項目」を選び出し、その項目に対応するデータが
「アルファベットや五十音の昇順/降順」になるように「レコード」
全体を並び変えることを「ソート」といいます。

「" ショップ名 " が...」の" ショップ名 " のような、
データの分類項目のことを「アイテム」といいます。



並び替えには、「データベースファイル」にセットしてある「アイ
テム」を使います。

「アイテム」のセットや、内容についての詳細は、『アイテムとキーをセット
する』をご覧ください。

データの並び変え（ソート）は、「一覧表示」のウィンドウで行
ないます。



（「詳細表示」のウィンドウで、データの並び変えはできません。）

「一覧表示」のウィンドウに、
並び変える「グループ」を表示します。

 をクリックします。



 「ソート条件」のウィンドウが表示されます。

「ソート条件」のウィンドウで、
検索する「候補アイテム」のアイコンを選択し、
「条件編集エリア」の[1.]の枠の中にドラッグします。

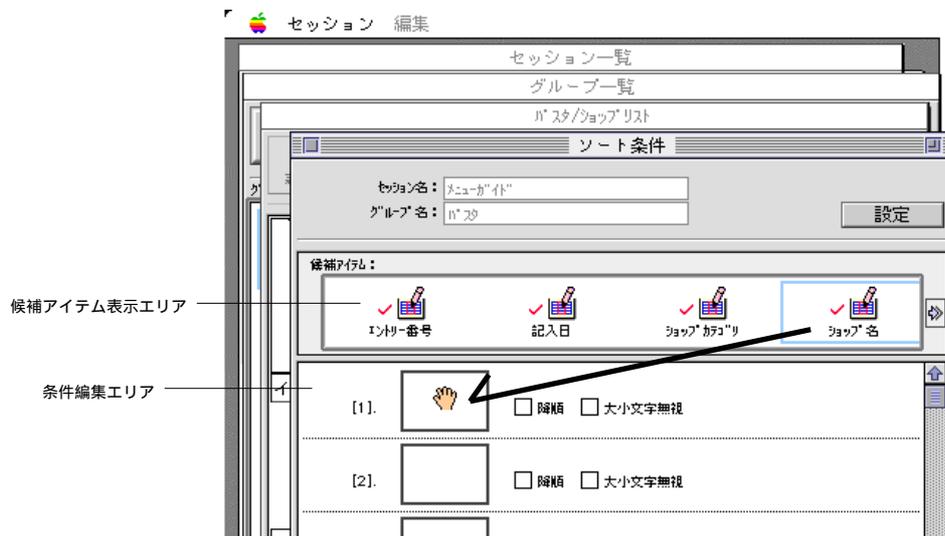
ドラッグした「候補アイテム」に対応するデータが検索されます。

【例】「ショップ名」がアルファベットや五十音のあ～ん順
になるように並べ変える場合...

「ショップ名」アイコンをドラッグします。

☑ ポインタが👉に変わり、一番目の「ソート条件」がセットされます。

【「ソート条件」のウィンドウ】



❖ 「ソート条件」のウィンドウには、「データベースファイル」にセットされている「候補アイテム」のアイコンが表示されます。

>> 降順に並べる 場合は、

「降順」の をクリックし、 にします。

セットした「候補アイテム」に対応するデータを、

- 降順 昇順（「A～Z、あ～ん」のように）並べる場合
- 降順 降順（「Z～A、ん～あ」のように）並べる場合



>> アルファベットの

大文字 / 小文字を無視して検索する 場合は、

「大小文字無視」の をクリックし、 にします。

セットした「候補アイテム」に対応するデータを、

- 大小文字無視
大文字を最初（「A...～a...」のように）並べる場合
- 大小文字無視
大文字 / 小文字を無視して（「ab...～Ac...」のように）並べる場合

>> 「ソート条件」が続く場合は、

次に検索する「候補アイテム」のアイコンを
「条件編集エリア」の [2.] の枠の中にドラッグし、
「降順」、「大小文字無視」を指定します。



☞ 次の「ソート条件」がセットされます。



「ソート条件」は、1つの「グループ」に最大5こまでセットすることができます。

>> 別の「候補アイテム」をセットする場合は、

検索する別の「候補アイテム」のアイコンを選択し、
「条件編集エリア」の枠の中にドラッグします。

☞ 「候補アイテム」が入れ替わります。

>> 「候補アイテム」を移動する場合は、

移動する「候補アイテム」を選択し、
別の枠の中にドラッグします。

☐ 「候補アイテム」が移動します。

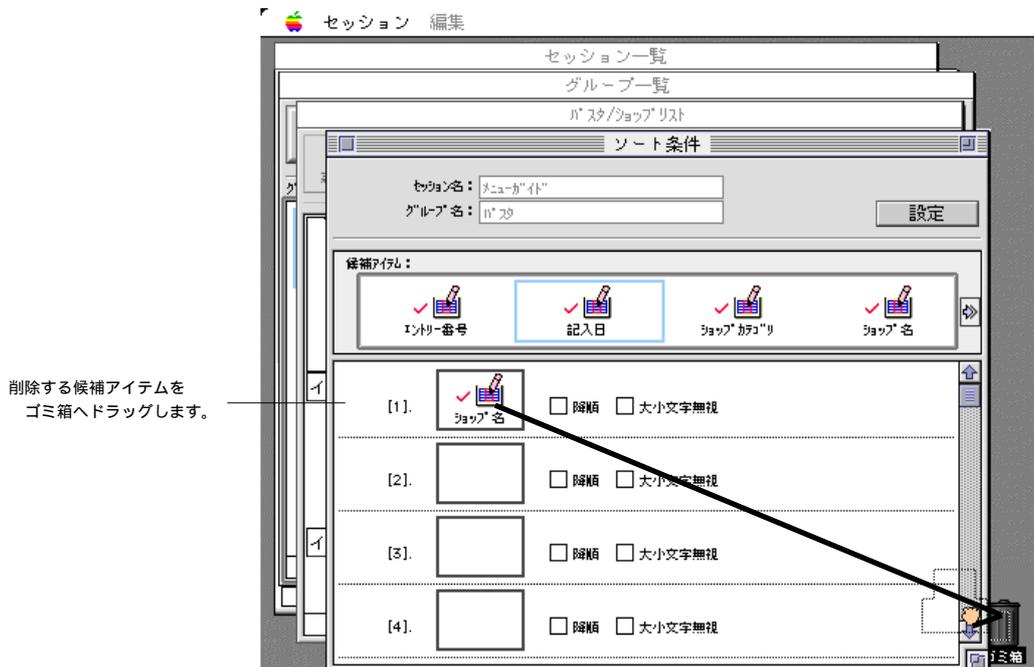
>> 別の「候補アイテム」をセットする場合は、

削除する「候補アイテム」を選択し、
Delete キーを押します。

☐ 「候補アイテム」が削除されます。



「候補アイテム」は、ファインダの「ゴミ箱」にドラッグしても削除することができます。



「ソート条件」のウィンドウの **設定** をクリックします。



ソートをやめたい場合は、クローズボックスをクリックしてください。



「ソート条件」のウィンドウが閉じ、「一覧表示」のウィンドウのデータが並び変わります。



データを印刷する



データの印刷は、「一覧表示」、「詳細表示」のどちらのウィンドウでも行うことができます。

❖ 各ウィンドウの表示については、『データを表示する』をご覧ください。

ファイルメニューから「用紙設定」を選択し、
「用紙」や「印刷の方向」などの各項目を設定します。

「一覧表示 または 詳細表示」の各ウィンドウで、
印刷する「グループ または レコード」を表示し、



をクリックします。

>> 「一覧表示」のウィンドウ で印刷する場合は...

印刷する「グループ」を表示します。

>> 「詳細表示」のウィンドウ で印刷する場合は...

印刷する「レコード」を表示します。

【「一覧表示」のウィンドウ】



【「詳細表示」のウィンドウ】



印刷の質問パネルが表示されます。

「印刷部数」などの各項目を指定し、

プリント をクリックします。

表示「グループまたはレコード」が印刷されます。

❖ 「用紙設定」や「印刷」の質問パネルの設定項目については、『マッキントッシュ』や『漢字Talk』付属のマニュアル、または、ご利用プリンタに付属の説明書を参照してください。





第 5 章

H i B a s e

Using HiBase Applet ...



この章では、汎用の「Web ブラウザ」から、**HiBase** の「データベース」にアクセスし、「データベース管理 / ブラウジング」を行う場合の操作方法を説明します。

「**HiBase** の Web サイト」に用意されている「**HiBase** の Java アプレット (「**HBUtil**」や「**HBBrowser**」) を利用する際、必要に応じてご覧ください。



目次



マニュアル

HiBase の「Java アプレット」を使う



Using HiBase Applet ...

HiBase には、汎用の「Web ブラウザ」から、直接「データベース」にアクセスすることのできる「HiBase のWeb サイト」と、Java 言語で開発された HiBase クライアント・プログラム「HiBase のJava アプレット」が標準で用意されています。

HiBase の Web サイトを利用する

HiBase は、「データベースサーバ」と「Web サーバ」を統合した「複合サーバ」を装備しています。

「複合サーバ」を利用することで、面倒な CGI 開発を伴わずに、ダイナミックに「データベーストランザクション処理」を行う「Web サイト」を構築することができます。

HiBase の Web サイトとは ...

「HiBase のWeb サイト」とは、

「Microsoft Internet Explorer」や「Netscape Navigator」などの汎用「Web ブラウザ」から、直接、HiBase の「データベース」をアクセスし、ダイナミックに「データベーストランザクション処理」を行うことを可能にした「HiBase の標準Web サイト」です。

「HiBase の Web サイト」は、

Java 言語で開発された HiBase クライアント・プログラム「HiBase のJava アプレット」の基地になっています。

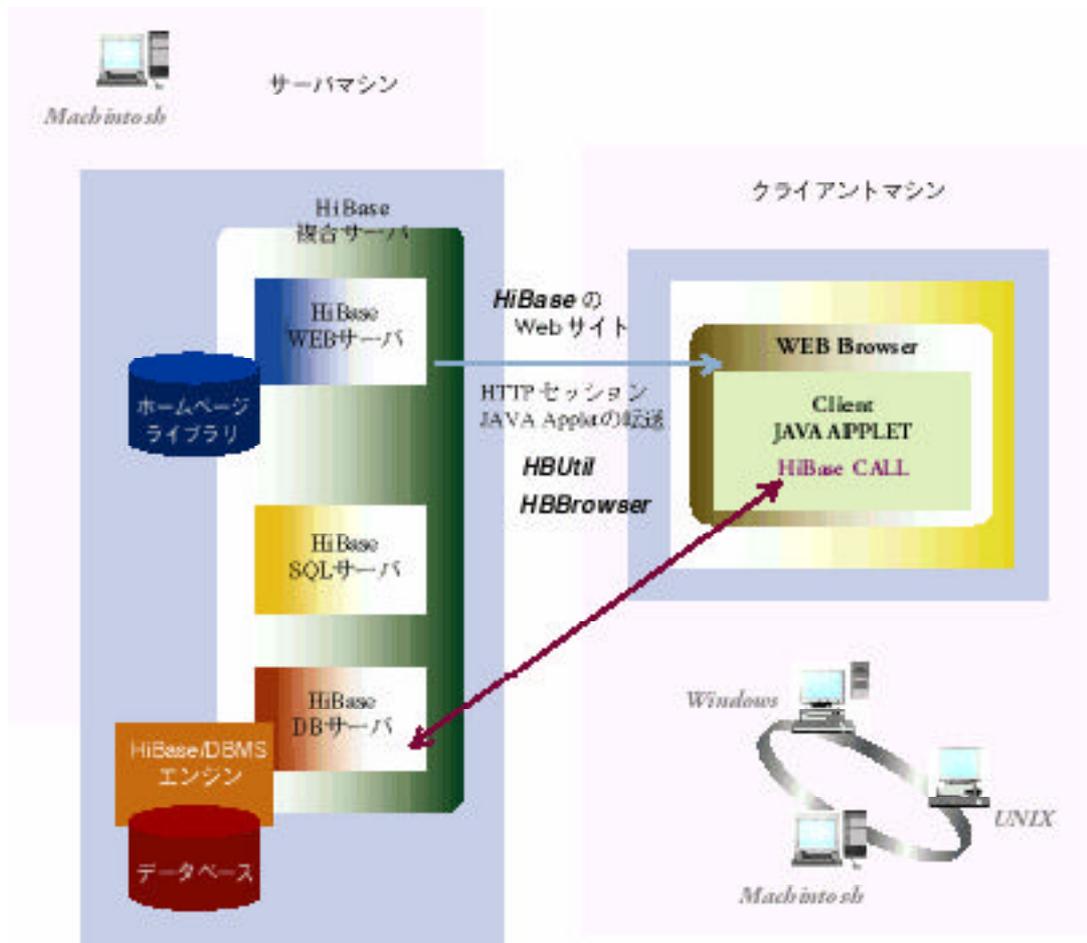
「HiBase の Web サイト」を利用することで、Macintosh、Windows (Windows31, 95, 98, NT)、UNIX など、現在考えられるすべての汎用「プラットフォーム」から、HiBase の「データベース」を共有することができます。

各環境で作り上げた「データベースファイル」は、ハードウェアや OS に左右されないバイナリレベルでのコンパチビリティがあります。

「**HiBase** のWeb サイト」に用意されている
「**HiBase** のJava アプレット」は、次の2種類です。

「**HBUtil**」は、
HiBaseの「データベースファイル」の作成 / 削除 / メンテナンス... などを行うアプレットです。

「**HBBrowser**」は、
「データ」を表示したり、新しい「レコード」の追加 / 削除 / 更新... などの編集作業を行うアプレットです。



「**HiBase** のWeb サイト」の情報は、マスターディスクの「**HiBase**」 > 「WebSite」フォルダ内に保管されています。

HBUtil, HBBrowserを開始 / 終了する



汎用の「Web ブラウザ」から **HiBase** の「データベース」にアクセスする場合は、「**HiBase** のWeb サイト」に用意されている「**HiBase** のJava アプレット (「**HBUtil**」または、「**HBBrowser**」)」を利用します。

「**HBUtil**, **HBBrowser**」をはじめめる前に...



接続する「サーバマシン」上で、**HiBase** の「データベースサーバ」と「Web サーバ」が運用していることを確認してください。

「サーバ」の準備ができていない場合は...

➡ 「サーバマシン」で「**HBServer**」を起動し、
「データベースサーバ」と「Web サーバ」の
運用を開始してください。

「サーバマシン」上で、複数の「データベース」を管理している場合は、「**HBServer**」の「データベースサーバの環境設定」で、接続する「データベース番号」を指定してください。



「**HBServer**」の起動や、「データベースサーバの環境設定」などについては『**HBServer**を開始 / 終了する』をご覧ください。



HiBase のJava アプレットをご利用いただくためには、「Microsoft Internet Explorer」や「Netscape Navigator」など、「[Java アプレット](#)」が実行可能な「[Web ブラウザ](#)」が必要です。

「Java」の設定などについての詳細は、各「Web ブラウザ」に付属のマニュアルを参照してください。

「**HiBase** のJava アプレット」は、ご利用中の Macintosh で、**HiBase** の基本アプリケーションが実行している間はご利用になれません。

ご利用の Macintosh 上で、**HiBase** の基本アプリケーションの
「**HBUtil**」「**Session**」が起動中の場合は...

➡ いったん それらを 終了してください。



基本アプリケーションの「**HBUtil**」の終了については『**HBUtil**を開始 / 終了する』、「**Session**」の終了については『**Session**を開始 / 終了する』、をご覧ください。

HBUtil, HBBrowser をロードする



「HBUtil」や「HBBrowser」を開始する場合は、まず、「Microsoft Internet Explorer」や「Netscape Navigator」など、「Java アプレット」が実行可能な「Web ブラウザ」を起動し、「HiBase のWeb サイト」に用意されている「HBUtil」または、「HBBrowser」をロードします。

「Microsoft Internet Explorer」や「Netscape Navigator」など、「Java アプレット」が実行可能な「Web ブラウザ」を起動します。

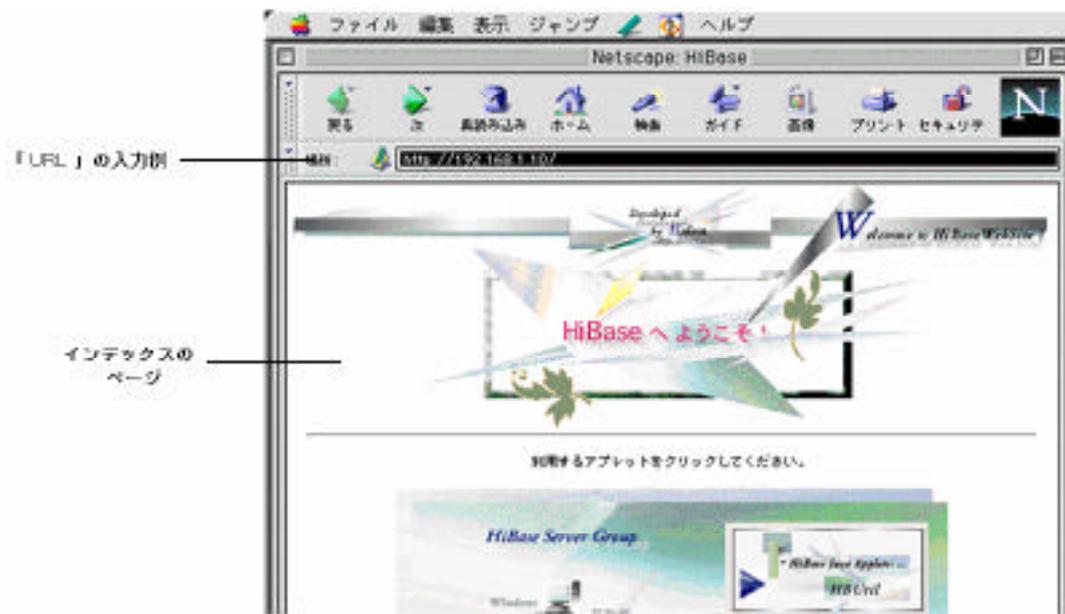
「Web ブラウザ」の「URL」(または、「アドレス」などの入力欄)に、接続サーバの「URL」(または、「IPアドレス」)を入力し、

Return キーを押します。

「Web ブラウザ」の基本操作、「URL」の記述方法などについての詳細は、各「Web ブラウザ」に付属のマニュアルや、「TCP/IP」関連のマニュアルを参照してください。

☐ 「Web ブラウザ」に「HiBase のWeb サイト」のインデックスページが表示されます。

【 インデックスページ (Netscape Navigator 利用例) 】



ページ デザインは変更されている場合もあります。

ページ上の「HBUtil」または「HBBrowser」をクリックします。

☐ 「HBUtil」または「HBBrowser」のページが表示されます。

データベースにアクセスする場合は...



「**HBUtil**」や「**HBBrowser**」のページにデータを表示するには、**HiBase**の「データベースサーバ」と接続し、「データベース」にアクセスします。

 をクリックします。

 「接続ノード」を設定するパネルが表示されます。



「ホスト名」と「ポート番号」を入力します。

「ホスト名」には、サーバの「ドメイン名」または、「IP アドレス」など、「DNS」の解釈可能なサーバアドレスを入力してください。「ポート番号」には、「データベースサーバ ポート番号 (初期値=3330)」を入力してください。

 をクリックします。

 数秒後、「**HBUtil**」または「**HBBrowser**」のページに、「データベースファイル」のリストデータが表示されます。

【**HBUtil** のページ (Netscape Navigator 利用例) 】



HBUtil, HBBrowser を終了する場合は...



「HBUtil」や「HBBrowser」を終了する場合は、「Web ブラウザ」を終了します。

「Microsoft Internet Explorer」や「Netscape Navigator」などの「Web ブラウザ」を終了します。

ファイルメニューから「終了」を選択しても同じ操作ができます。



「HBBrowser」は、

 をクリックしないと、データが更新されません。

もし、「HBBrowser」で、データを更新した場合は...

新規レコードの作成 / 既存データの修正 を
更新して終了するときは...

- 終了前に、必ず  をクリックしてください。
- ( をクリックせずに、クローズボックスをクリックして「データ表示のウィンドウ」を閉じて更新されません。)

更新しないで終了するときは...

- そのまま終了してください。

データベースファイルを管理する



Using HiBase Applet ...

「HiBase のJava アプレット/ **HBUtil**」を利用します...

汎用の「Web ブラウザ」から、**HiBase** の「データベース」にアクセスし、「データベースファイル」の作成、削除...などのメンテナンスを行う場合は、「HiBase のJava アプレット」の「**HBUtil**」を利用します。

データベースの管理は、「データベース」の作成、削除などに権限を持つ「データベース管理者」が行ってください。

「**HBUtil**」の準備ができていない場合は...

➡ 「HiBase のJava アプレット」の「**HBUtil**」をロードし、「HiBase のデータベースサーバ」と接続してください。

「サーバマシン」上で、複数の「データベース」を管理している場合は、「**HBServer**」の「データベースサーバの環境設定」で、接続する「データベース番号」を指定してください。



「Java アプレットの **HBUtil**」の開始 / 終了については、『**HBUtil** , **HBBrowser** を開始 / 終了する』をご覧ください。

データベースファイルを作成する

「データベースファイル」は、「データベースサーバ」に設定してある、アクティブな「データベース」の中に作成されます。

「データベース」には、各最大64,000個の「データベースファイル」を作成することができます。

データベースファイルを作成 / 削除する

データベースファイルを作成する場合は...

「データベースファイル」リスト上の

をクリックします。

「新規ファイル」の質問パネルが表示されます。

「ファイルID」、「ファイル名」、「コメント」を入力します。



同一「データベース」内で「ファイルID」が重複しないようにしてください。



必要があれば、「インデックス」や「データ」のサイズを入力しても構いませんが、通常変更の必要はありません。

「インデックス」や「データ」のサイズは、次のような場合にのみ変更してください。(初期値以下への変更はお薦めできません。)

| | |
|--------|-----------------|
| インデックス | 「キー」を大量にセットする場合 |
| データ | 多量のデータを扱う場合 |

「インデックス」とは、「キー」を利用して「データベースファイル」から「値」を得るための「インデックス情報」のことです。

 をクリックします。

 新しい「データベースファイル」が追加されます。

データベースファイルを削除する場合は...



いったん削除した「データベースファイル」は復元できませんので、慎重に削除してください。

「データベースファイル」にセットされている「アイテム」、「キー」、「セッション」などの情報もいっしょに削除されますのでご注意ください。

削除する「データベースファイル」を選択し、

 をクリックします。

 警告パネルが表示されます。



 をクリックします。

 「データベースファイル」が削除されます。

アイテムとキーをセットする



「データベースファイル」には、「アイテム」と「キー」をセットすることができます。

「アイテム」とは、データを分類するための項目のことです。

「キー」とは、検索に使う項目のことです。

「データベースファイル」には、各最大255個の「アイテム」と「キー」をセットすることができます。

アイテムやキーを作成する場合は...

「アイテムまたはキー」をセットする

「データベースファイル」を選択します。

- ☐ 選択「データベースファイル」にセットしてある「アイテム」と「キー」のリストが表示されます。

「アイテムまたはキー」リスト上の

をクリックします。

【新規アイテムの作成（Netscape Navigator 利用例）】

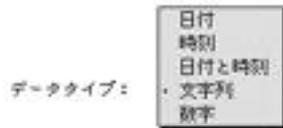


- ☐ 「新規アイテムまたはキー」の質問パネルが表示されます。

「アイテム または キー ID」、「アイテム または キー名」、
「コメント」を入力します。



同一「データベースファイル」内で「アイテム または キー ID」が
重複しないようにしてください。



「データタイプ」を選択します。

| | |
|-----|------------|
| 文字列 | テキストを入れる場合 |
| 数値 | 数字を入れる場合 |



「アイテム」作成時、必要があれば「サイズ」を入力しても構いませんが、通常変更の必要はありません。

(初期値以下への変更はお薦めできません。)

「サイズ」は、次のような場合に変更してください。

- ・ 64バイト以上のデータを扱う場合
(漢字ひらがな32文字以上、
半角カタカナ/アルファベット64文字以上の場合)

>> 「アイテム」作成時、

その「アイテム」の内容を検索項目にする場合は、

「キーにする」をクリックし、 にします。

>> 「キー」作成時、

その「キー」が検索する「アイテム」の内容を指定します。
最大5つの「アイテム」を検索することができます。

「検索アイテム」を選択し、「範囲」を入力します。

☐ 「検索アイテム」には、候補「アイテム名」が一覧表示されます。



「範囲」には、「検索アイテム」の「何バイト目～何バイト目まで」の内容を検索するのかを「バイト」単位で入力します。
(漢字ひらがなは「1文字 = 2バイト」、
半角カタカナ/アルファベットは「1文字 = 1バイト」です。)
「0」の場合、すべての内容が検索されます。



☐ **設定** をクリックします。

☐ 新しい「アイテムまたはキー」が追加されます。

アイテムやキーを削除する場合は...



いったん削除した「アイテム」や「キー」は復元できませんので、慎重に削除してください。

削除した「アイテム」を検索指定している「キー」は、「アイテム」削除後、内容が検索できなくなる場合もありますのでご注意ください。

削除する「アイテム または キー」を選択し、

 をクリックします。

「アイテム または キー」のリストに、削除する「アイテム または キー」が表示されていない場合は、「アイテム または キー」がセットしてある「データベースファイル」を選択してから選んでください。

 警告パネルが表示されます。



 をクリックします。

 「アイテム または キー」が削除されます。

データベースファイルの情報を確認する



「データベースファイル」、「アイテム」、「キー」は、作成後、各情報を確認したり、「名前」や「コメント」などを変更することができます。

情報を確認する「データベースファイル」または、
「アイテム」、「キー」を選択し、
各リスト上の  をクリックします。

 各情報パネルが表示されます。

各情報パネルの内容を確認（変更）します。

情報の内容は、新規データベースファイルまたは、アイテム、キー作成時、各質問パネルに設定した内容と同じです。

「データベースファイル」、「アイテム」、「キー」の「名前」や「コメント」は、変更することもできます。

各内容の詳細については、『データベースファイルを作成する』をご覧ください。

 () をクリックします。



「データベースファイル」、「アイテム」、「キー」の各「ID」、および、「データベースファイル」の「インデックス」や「データ」のサイズを変更することはできません。



変更した「アイテム」が検索指定されている「キー」は、もう一度設定し直してください。

データを閲覧 / 編集する



Using HiBase Applet ...

「HiBase のJava アプレット/ **HBBrowser**」を利用します...

汎用の「Web ブラウザ」から、**HiBase** の「データベース」にアクセスし、「データベースファイル」のデータを表示したり、新しい「レコード」の追加 / 削除 / 更新... などの編集作業を行う場合は、「**HiBase** のJava アプレット」の「**HBBrowser**」を利用します。

「**HBBrowser**」の準備ができていない場合は...

➡ 「**HiBase** のJava アプレット」の「**HBBrowser**」をロードし、「**HiBase** のデータベースサーバ」と接続してください。

「サーバマシン」上で、複数の「データベース」を管理している場合は、「**HBServer**」の「データベースサーバの環境設定」で、接続する「データベース番号」を指定してください。



「Java アプレットの **HBBrowser**」の開始 / 終了については、『**HBUtil**, **HBBrowser** を開始 / 終了する』をご覧ください。

データを表示する

「**HBBrowser**」では、利用目的ごとに分けられた「セッション」や「グループ」を開き、必要な「データ」を表示します。

「セッション」とは、

HiBase のデータを表示するための「ブラウザ (閲覧用紙)」です。「セッション」には、「レイアウト」と「グループ」がセットされています。

「レイアウト」とは、

データの表示デザイン (設計図) のことです。
(各「セッション」に「一覧レイアウト」と「詳細レイアウト」をセットすることができます。)

「グループ」とは、

任意の検索条件によって作られた「データ集合」のことです。



「セッション」に、データの「表示デザイン (レイアウト)」や「検索条件 (グループ)」などをセットする作業を「**オーサリング**」といいます。

「セッション」の管理や「オーサリング」作業は、基本アプリケーションの「**Session**」で行ないます。

「セッション」の管理や「オーサリング」については、『セッションを管理する』をご覧ください。

セッションを開く



「データベースサーバ」と接続すると、「**HBBrowser**」のページには、利用可能な「データベースファイル」が表示されます。

「**HBBrowser**」でデータを表示する場合は、

まず、表示する「データベースファイル」を選択し、
利用目的に合った「セッション」や「グループ」を開きます。

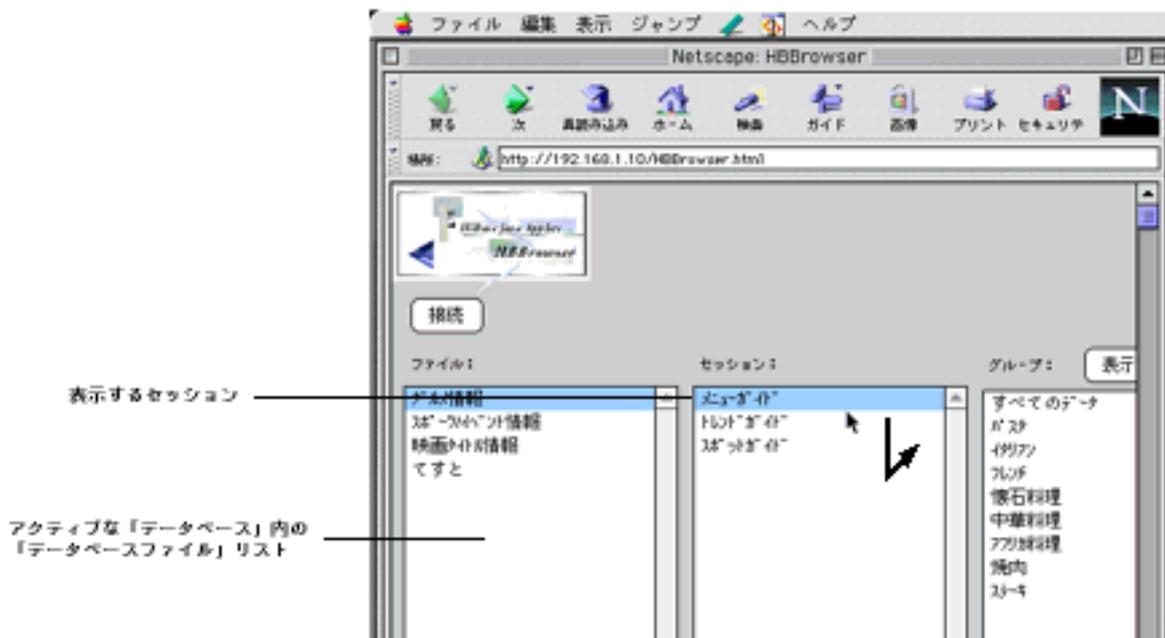
表示する「データベースファイル」を選択します。

- ☐ 選択「データベースファイル」にセットしてある「セッション」のリストが表示されます。

表示する「セッション」を選択します。

- ☐ 選択「セッション」にセットしてある「グループ」のリストが表示されます。

【セッションの選択（Netscape Navigator 利用例）】



グループを開く場合は...

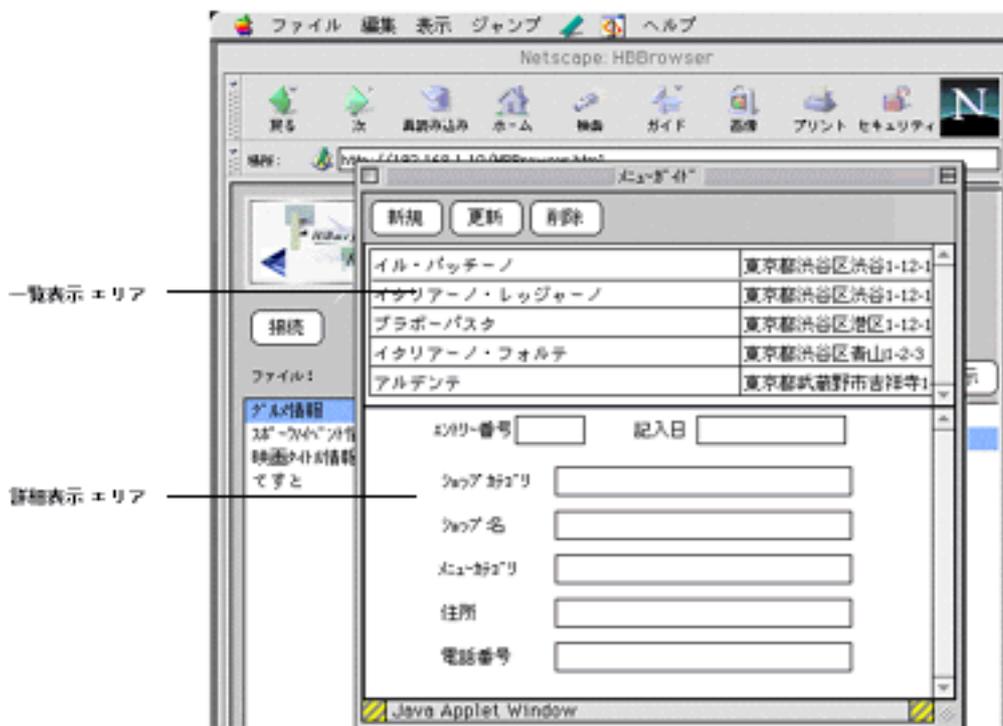


表示する「グループ」を選択し、

リスト上の **表示** をクリックします。

☐ アプレットのウィンドウに、選択「グループ」のデータが表示されます。

【HBBrowse のデータ表示のウィンドウ（Netscape Navigator 利用例）】



グループ内のデータは、「Java Applet のウィンドウ」に表示されます。
(メモリの許す限り、いろいろな「グループ」のデータウィンドウを同時に表示することができます。)

「Java VN」の設定や、「Java ウィンドウ」の操作などについての詳細は、
各「Web ブラウザ」に付属のマニュアルを参照してください。



絵や写真、音声、および、「ラジオボタン」、「チェックボックス」などの
バイナリデータは表示されません。

「一覧表示エリア」には、

選択「グループ」にセットしてある「検索条件」に該当する「データ」が表示されます。

「詳細表示エリア」には、

「一覧表示エリア」で選択されている「レコード」の内容だけが表示されます。

レコードを詳細表示する場合は、

「一覧表示エリア」で、表示する「レコード」をクリックします。

【HBBrowse のデータ表示 (Netscape Navigator 利用例)】



データは、選択「セッション」にセットしてある「レイアウト (一覧レイアウト / 詳細レイアウト)」で表示されます。

各「レイアウト」は、基本アプリケーションの「Session」で編集することができます。

「レイアウト」の編集については、『レイアウトを編集する』をご覧ください。

データの表示範囲を変える場合は、「スクロールアロー ()」をクリックして各エリアをスクロールするか、ウィンドウのサイズを変更します。

データを編集する



「**HBBrowser**」では、データの修正/更新、「レコード」の追加/削除/... などの編集作業を行なうことができます。

データを更新する

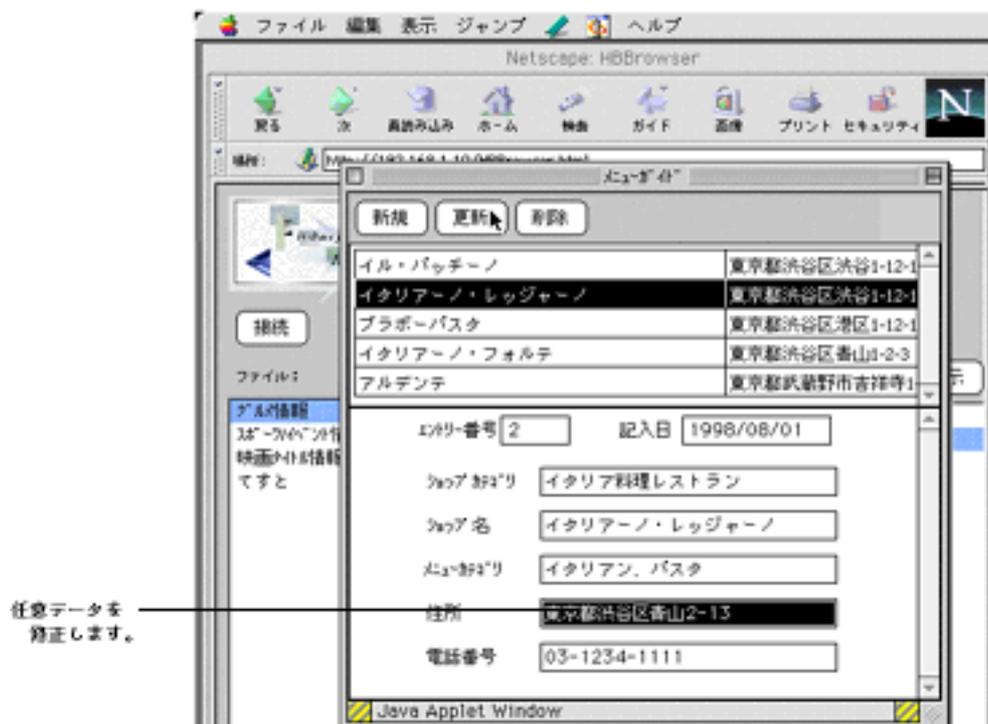
データの入力作業は、「詳細表示エリア」で行ないます。
(「一覧表示エリア」で、データの入力はできません。)

❖ データの表示については、『データを表示する』をご覧ください。

「詳細表示エリア」に、
修正する「レコード」を表示します。

データを入力し直し、**更新** をクリックします。

【データの更新（Netscape Navigator 利用例）】



レコードを追加 / 削除する



レコードを追加する場合は...

新規「レコード」は、アクティブな「データベースファイル」の中に追加されます。

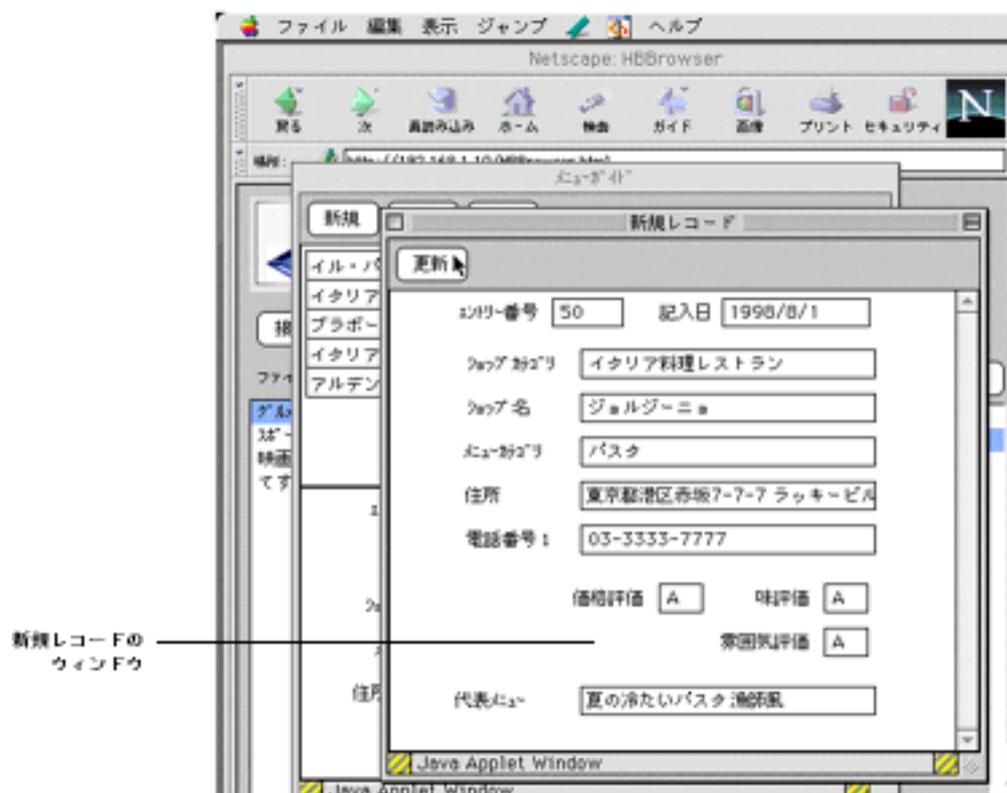
追加する「グループ」のデータを表示し、

をクリックします。

☐ 新しい「レコード」のウィンドウがもう1枚表示されます。

新しいデータを入力し、 をクリックします。

【 新規レコードの追加（Netscape Navigator 利用例） 】



☐ 新しい「レコード」のウィンドウが閉じ、「レコード」が追加されます。



「**HBBrowser**」は、

 をクリックしないと、データが更新されません。

もし、「**HBBrowser**」で、

新規レコードの作成 / 既存データの修正 をした場合は・・・

- 終了前に、必ず  をクリックしてください。

( をクリックせずに、クローズボックスをクリックして「データ表示のウィンドウ」や「新規レコードのウィンドウ」を閉じても、データは更新されません。)

新規レコードの作成 / 既存データの修正 を
キャンセルする場合は・・・

- そのまま終了してください。

レコードを削除する場合は...



いったん削除した「レコード」は復元できませんので、慎重に削除してください。

削除する「レコード」を選択し、

 をクリックします。

【レコードの削除（Netscape Navigator 利用例）】



 警告パネルが表示されます。



 をクリックします。

削除をキャンセルする場合は、 をクリックしてください。

 選択「レコード」が削除されます。

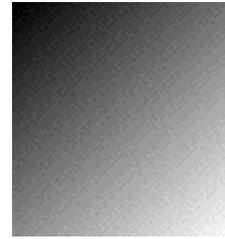




附録 Appendix - A

H i B a s e

Information...



附録として、「**HiBase** のソースコードライセンス」について説明します。

「インターネット/イントラネット」をはじめとした各種「データベース・システム」、Client/Server 環境での「グループウェア」など、「**HiBase** のアプリケーション・プログラム / Java アプレット」の運用 / 開発を行なう際にご一読ください。



目次



マニュアルガイド

ソースコードライセンスのご案内



Information...

HiBase をお使いいただく際の「**ライセンス**」について説明します。

お問い合わせいただいた「**HiBase**」には、「**HiBase**」の使用ライセンスが含まれますが、**HiBase** で独自の「アプリケーションプログラム」を開発し、第三者に配付/販売するためには、別途「**HiBase** のコピーライセンス」が必要です。

また、特別な目的のため、**HiBase** に移植や改変を行う場合は、別途「**HiBase** の改変ライセンス」が必要です。

上記作業を行う場合は、以下を参考に、「**ライセンス許諾契約**」を行ってください。

ライセンスの種類

「アプリケーション・プログラム」に装着する「データエンジン」として、また、ネットワーク指向の「データベース管理システム」として幅広くご利用いただくため、**HiBase** には、次の3つのライセンスを用意しています。

- a) **HiBase** 使用ライセンス
- b) **HiBase** コピーライセンス
- c) **HiBase** 改変ライセンス

HiBase 使用ライセンス



「**HiBase 使用ライセンス**」は、**HiBase** を自己のコンピュータで実行する際に必要なライセンスです。

❖ このライセンスは、お買い求めいただいた「**HiBase 標準環境**」、「**HiBase プロフェッショナル環境**」、「**HiBase 実行環境**」に付属しています。

HiBase 標準環境

「**HiBase 標準環境**」には、「**HiBase 利用環境**」と、「**HiBase 開発環境**（「バイナリ形式」）」が含まれています。

内容 : **HiBase** 利用環境一式 および、**HiBase** マニュアル
HiBase ライブラリ（バイナリ形式）
形態 : パッケージ（CD-ROM、マニュアル）

>> 「**HiBase 利用環境**」は、

HiBase を利用して、データベースを構築/運用してゆくための「基本アプリケーション・プログラム」で、

- **HBServer**
（Client/Server で **HiBase** を運用するためのサーバプログラム）
- **HBUtil**
（**HiBase** のデータベース定義ツール）
- **Session**
（**HiBase** のオーサリングツール）

からなっています。

「**HiBase 利用環境**」は、「1台のマシンでデータベースを運用する」、「Client/Server 方式で複数のマシンでデータベースを共有する」... など、目的環境に応じた自由なデータベース運用を可能にします。

>> 「**HiBase 開発環境**」は、

HiBase を利用した独自の「アプリケーション・プログラム」を作るための環境（「インタフェース・プログラム」）で、多様な OS や開発環境に応じたライブラリからなっています。



「**HiBase 標準環境**」には、「**HiBase 開発環境**」に「ソースコード」が含まれませんので、弊社が想定した環境以外での開発が困難になります。

独自の環境での **HiBase** の「アプリケーション・プログラム」開発を希望する場合は、「**HiBase プロフェッショナル環境**」へのアップグレードをお薦めします。

HiBase プロフェッショナル環境

「**HiBase プロフェッショナル環境**」には、「**HiBase 利用環境**」と、「**HiBase 開発環境**（「バイナリ形式」および「ソースコード形式」）」が含まれています。

内容 : **HiBase** 利用環境一式 および、**HiBase** マニュアル
HiBase ライブラリ（バイナリ および、ソースコード形式）

形態 : パッケージ（CD-ROM、マニュアル）



「**HiBase プロフェッショナル環境**」は、「**HiBase 開発環境**」に「**ソースコード**」が含まれますので、弊社が想定した開発環境以外でも、**HiBase** の「アプリケーション・プログラム」を開発することができます。

HiBase 実行環境

「**HiBase 実行環境**」には、「**HiBase 利用環境**」のみが含まれています。

内容 : **HiBase** 利用環境一式 および、**HiBase** マニュアル

形態 : パッケージ（CD-ROM、マニュアル）



「**HiBase 実行環境**」には、「**HiBase 開発環境**」が一切含まれませんので、**HiBase** の「アプリケーション・プログラム」開発を希望する場合は、「**HiBase 標準環境**」や「**HiBase プロフェッショナル環境**」へのアップグレードをお薦めします。

HiBase コピーライセンス



「**HiBase コピーライセンス**」は、**HiBase** を利用した「アプリケーション・プログラム（二次的著作物）」を販売する際に必要なライセンスです。

このライセンスには、「**HiBase** バイナリ形式ライブラリ」を含む二次的著作物を複製（コピー）する権利が含まれます。



「**HiBase** ライブラリ」を利用した「アプリケーション・プログラム」を第三者に配付（無料 / 有料を問わず）する際は、弊社と文書（「**HiBase コピーライセンス契約書**」）によるコピーライセンス許諾契約を行なってください。

ライセンスのタイプは、以下の通りです。

1) Client 結合タイプ

「**HiBase/Server**」にClient 結合をおこなう二次的著作物を第三者に頒布する場合は、

2) HiBase エンジン 組み込みタイプ

「**HiBase** エンジン」を組み込んだ二次的著作物を第三者に頒布する場合は、

HiBase 改変ライセンス



「**HiBase 改変ライセンス**（無制限頒布権付き）」は、
HiBase を変更して利用する際に必要なライセンスです。



「**HiBase 改変ライセンス**」は

- － **HiBase** を特殊なコンピュータに移植して販売する
- － 特殊な目的のため **HiBase** に改変を施して利用する... など、

「**HiBase 利用ライセンス**」や「**HiBase コピーライセンス**」で
カバーできない特殊な用途を想定したものです。



改変ライセンスには、「**HiBase の変更作業料金**」が含まれていません。
弊社が変更作業を請け負う場合は、作業量を見積もった後、作業工数に
応じた料金を別途ご請求させていただきます。

ライセンスの選び方



HiBase の利用目的別に、必要なライセンスを解説します。

- a) データベース運用
- b) プロダクト販売
- c) その他

データベース運用



自己の業務のために「**HiBase** データベース」を運用する場合は、「**HiBase 使用ライセンス**」が必要です。

➡ 「**HiBase 標準環境**」もしくは、「**HiBase プロフェッショナル環境**」、「**HiBase 実行環境**」のいずれかをご用意ください。



HiBase を利用するサーバ・マシン 1 台につき 1 つの「**HiBase 使用ライセンス**」が必要です。

プロダクト販売



HiBase を利用して「アプリケーション・プログラム」を開発し、その「アプリケーション・プログラム」を第三者に販売する場合は、

開発に際して「**HiBase 使用ライセンス**」が、
販売に際して「**HiBase コピーライセンス**」が必要です。

➡ 開発開始時に、
「**HiBase 標準環境**」もしくは、「**HiBase プロフェッショナル環境**」の
いずれかをご用意ください。

➡ 開発終了時に、
弊社と
文書（「**HiBase コピーライセンス契約書**」）による
コピーライセンス許諾契約を行なってください。



HiBase は非常にポータビリティに優れた特徴を持っています。

また、**HiBase** は「純粋に国産のデータベース管理システム」であるため、(つまり、データベース管理システムの開発プロジェクトが直接 **HiBase** の開発、および、サポートをおこなうため) 特殊な用途への変更にも応じることができます。

➡ 何らかの目的 に応じて
HiBase を変更する 必要がある場合は、
「**HiBase 改変ライセンス**」をご利用ください。



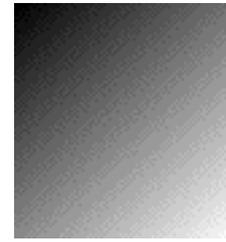
「PD端末 (電子手帳)」、「PIM (個人情報管理 システム)」... など、「イントラネット」をはじめとした各種「データベース・システム」、Client/Server 環境での「グループウェア」の運用 / 開発に、幅広くお役立ていただけます。



附録 Appendix - B

H i B a s e

Commentary...



附録として、「用語解説」、「**HiBase** の主な仕様」、「**HiBase** のファイル構成」などを追記します。

随時、お役立てください。





【B】 bps

通信速度を示す単位です。
1秒あたり、何ビット (bit) 送れるかを意味しています。

【C】 Client/Server モデル

「クライアント・マシン」から「データベース・エンジン」にアクセスする方法です。

HiBase は「Client/Server モデル / Multi User/Multi Thread 環境」を標準装備していますので、複数の「クライアント・マシン」から、異なるプロトコルでの同時アクセスが可能です。

CR : Carriage Return (キャレッジ・リターン) コード

入力ポインタをその行の左側に移動するコードです。

【D】 Delete (Backspace)

挿入ポイントを前に戻して、入力した文字や選択したものを消すキーです。

【H】 HiBase インタフェース・プログラム

HiBase を使って「メールサーバ」や「ニュースサーバ」など独自の「アプリケーション」や「グループウェア」を開発するための環境です。

「**HiBase** 標準環境」には「バイナリ形式」、「**HiBase** プロフェッショナル環境」には「バイナリ形式 / ソースコード形式」で納められています。

HiBase 改変ライセンス

HiBase を変更して利用する際に必要なライセンスで、変更された **HiBase** を無制限に頒布する権利が含まれます。

HiBase を特殊なコンピュータに移植して販売する、または特殊な目的のため **HiBase** に改変を施して利用する際は、弊社と文書 (「**HiBase** 改変ライセンス契約書」) による改変ライセンス許諾契約を行なってください。

HiBase コピーライセンス

HiBase を利用した「アプリケーション・プログラム（二次的著作物）」を販売する際に必要なライセンスで、「HiBase バイナリ形式ライブラリ」を含む二次的著作物を複製（コピー）する権利が含まれます。

「HiBase ライブラリ」を利用した「アプリケーション・プログラム」を第三者に配付（無料 / 有料を問わず）する際は、弊社と文書（「HiBase コピーライセンス契約書」）によるコピーライセンス許諾契約を行なってください。

HiBase 標準環境 / プロフェッショナル環境 / 実行環境

お買い求めいただいた HiBase の商品タイプです。

「HiBase 標準環境」には、

「HiBase 利用環境」と
「HiBase 開発環境（「バイナリ形式」）」が納められています。

「HiBase プロフェッショナル環境」には、

「HiBase 利用環境」と
「HiBase 開発環境（「バイナリ形式」および「ソースコード形式」）」が納められています。

「HiBase 実行環境」には、

「HiBase 利用環境」のみが納められています。

「HiBase 実行環境」には、「HiBase 開発環境」が一切含まれませんので、HiBase の「アプリケーション・プログラム」を開発を希望する場合は、「HiBase 標準環境」、「HiBase プロフェッショナル環境」へのアップグレードをお勧めします。

「HiBase プロフェッショナル環境」には、「HiBase 開発環境」に「ソースコード」が含まれますので、弊社が想定した開発環境以外でも、HiBase の「アプリケーション・プログラム」を開発することができます。

独自の環境での HiBase の「アプリケーション・プログラム」開発を希望する場合は、「HiBase プロフェッショナル環境」へのアップグレードをお勧めします。

HiBase 開発環境 / 利用環境

お買い求めいただいた HiBase の商品構成です。

「HiBase 利用環境」には、

「イントラネット」をはじめとした各種「データベース・システム」を構築 / 運用するための「基本アプリケーション」が納められています。

「HiBase 開発環境」には、

「メール / ニュースサーバ」など独自の「アプリケーション」や「グループウェア」を開発するための「インタフェース・プログラム」が納められています。

HiBase 基本アプリケーション

HiBase を利用して、データベースを構築 / 運用してゆくための「基本アプリケーション・プログラム」で、

- ・ **HBServer**
(Client/Server で **HiBase** を運用するためのサーバプログラム)
- ・ **HBUtil** & Java アプレット **HBUtil**
(**HiBase** のデータベース定義ツール)
- ・ **Session** & Java アプレット **HBBrowser**
(**HiBase** のオーサリングツール) からなっています。

基本アプリケーションには、「68K Macintosh」用と「PowerPC」用があります。
「**HBUtil**」,「**Session**」には、「シングル・ユース」用/「ネットワーク・ユース」用があります。

HiBase 使用ライセンス

HiBase を自己のコンピュータで実行する際に必要なライセンスで、お買い求めいただいた「**HiBase** 標準環境」もしくは、「**HiBase** プロフェッショナル環境」,「**HiBase** 実行環境」に付属しています。

- 【 L 】 LF : Line Feed (ラインフィード) コード
入力ポインタを次の行に移動する制御コードです。
- 【 P 】 PPC (Program to Program Communication)
HiBase のアプリケーション同士が判断してデータを送受信する通信方式のことです。
- 【 S 】 Shift
英字入力の場合は大文字の入力に、ローマ字入力の際はカタカナの入力に使うキーです。
これを押したまま文字キーを押すと、各キーの上段の符号が入力されます。
- 【 T 】 TCP/IP (Transmission Control Protocol / Internet Protocol)
インターネットの基本プロトコル (通信方式) のことです。
HiBase は「MacTCP」と「OpenTransport」をサポートしています。

【 R 】

RAM

作業中の情報を一時的に記憶するメモリで、「ランダムアクセス・メモリ」とも呼ばれています。

RAMは、「アプリケーションプログラム」や「フォント」の情報、および、入力情報などを扱います。

RAMにある情報は、電源をオフにするとすべて消えてしまいます。

ROM

マッキントッシュを起動したり、作業に必要な基本情報を収納した、読み取り機能のみを持ったメモリです。

ROMの中の情報は変更できません。

また、電源をオフにしても情報は消えません。

RS - 232C

米国電子工業会の定めた規格の1つで、多くのコンピュータの入出力インターフェースに採用されています。

マッキントッシュは、「RS - 422A」を採用しています。

【あ】

アイコン

「デスクトップ」や「ウィンドウ」上で、「アプリケーション・プログラム」や「プロジェクト」、「ファイル」、「フォルダ」などを絵にして表示したものです。

アイテム

「データベース」に保管されているデータを分類するための項目のことです。

HiBaseの「データベースファイル」には、最大255個の「アイテム」をセットすることができます。

アクセス

電話回線を使って、「データベース」や「通信サービス」などに接続することです。

アドミニストレーション

「データベース」や「データベース・ファイル」の作成 / 削除 / メンテナンス... など、「データベース」の運用 / 管理を行なうことです。

HiBaseは、「**HBServer**」、「**HBUtil**」を利用して、アドミニストレーションの作業を行ないます。

アスキー (ASCII) コード

コンピュータで文字を表すために使われているコード体系の1つです。

アプリケーション・プログラム

応用プログラムのことです。

マッキントッシュには、日本語ワードプロセッサや通信ソフト、グラフィックスソフト... など、多くのアプリケーション・プログラムがあります。

アンロード

「データベース」に保管してある情報を、外部ファイル（「定義ファイル」や「データファイル」）に書き出すことです。

【い】

一覧表示

「データベース」に保管してあるデータを「一覧表示」のウィンドウにリスト状に表示することです。

一覧レイアウト

「一覧表示」用のレイアウトです。

イニシャライズ

情報を入出力できるように、「ディスク」を「フォーマット」することです。

印刷

プリンタで印字することです。

インストール

「アプリケーション・プログラム」や補足ファイルをコピーし、「アプリケーション・プログラム」が利用できるようにセットアップすることです。

インデックス

「キー」を利用して「データベースファイル」から「値」を得るための「インデックス情報」のことです。

インターネット (Internet)

「TCP/IP」プロトコルを使って世界中のLAN とLAN をつなく、分散処理型のコンピュータ・ネットワークのことです。

イントラネット (Intranet)

「インターネット」の技術を使って構築した社内（組織内）ネットワークのことです。

インライン入力

「アプリケーション・プログラム」の文字画面上で、かな漢字変換を行なうことです。

【う】 ウィンドウ

デスクトップ上で情報を表示、編集するための窓です。
ウィンドウは、開いたり閉じたりでき、サイズの変更や移動ができます。
表示内容は、「スクロール」という方法で移動できます。

【お】 オーサリング

「データ」の並べ方（「レイアウト」デザイン）や、検索条件（「グループ」）の設計... など、「データ」の表示設計を行なうことです。
HiBase は、基本アプリケーションの「**Session**」を利用してオーサリングの作業を行ないます。

オプション・キャラクタ

キーを使って入力する記号です。

オープン

ウィンドウを開くことです。
ディスクに保存してあるファイルをデスクトップに呼び出す場合に使います。

【か】 改行

コードを送り、行を変えることです。

確認パネル

HiBase からの確認事項やメッセージを表示するパネルです。
確認パネルが表示されたときは、メッセージにしたがって操作してください。

カット

「ファイル」の選択部分を切り取り、「クリップボード」に保管することです。
"カット"された内容は、"ペースト"により、「ファイル」に貼り付けられます。

環境設定

HiBase の「使用環境」を変えるための設定です。

【き】 キー

「データベース」に保管されているデータの検索に使う分類項目のことです。

HiBaseの「データベースファイル」には、最大255個の「キー」をセットすることができます。

【く】 クライアント・マシン

「Client/Server モデル」のネットワークで、「サーバ・マシン」に情報を要求する端末コンピュータのことです。

HiBaseは、複数の「クライアント・マシン」から、「データベース・エンジン」への同時アクセスが可能です。

クリック

ポインタを任意の場所に合わせてマウスのボタンを押し、すぐ離すことです。

クリップボード

”カット”、または”コピー”した内容を、一時保存するところです。

グループ

ある「検索条件」に該当する「データの集合」を「グループ」といいます。

HiBaseは、1つの「セッション」の中に、最大255個の各「グループ」を作成することができます。

グループウェア

「グループ・ワーク」の生産性を高めるためのソフトウェア（電子メール、WWW、FTP... など）のことです。

HiBaseを利用すれば、「データベース」を組み込んだ独自の「イントラネット」対応の「グループウェア」を開発することができます。

クローズボックス

「ウィンドウ」のタイトルバーの左端にある正方形のボックスのことです。

「クローズボックス」をクリックすると、「ウィンドウ」が閉じます。

【け】 警告パネル

HiBase からの警告メッセージを表示するパネルです。

確認パネルが表示されたときは、メッセージにしたがって操作してください。

検索

指定した内容を捜し出すことです。

「**Session**」は、「データベースファイル」に保管されている膨大なデータの中から、任意条件のデータを検索し、絞りこんで表示（「グループ」化）することができます。

検索条件

「データベースファイル」に保管されている膨大なデータの中から、必要なデータを検索するための条件のことです。

「**Session**」では、例えば「"電話番号"が"03"で始まるデータの集合」のように検索条件をセットし、「グループ」を作ります。

【こ】 コマンドログ

「クライアント・マシン」のアクセス状況を記録する機能です。

（コマンド）キー

他のキーと一緒に押すことによって、キーボードからメニュー命令を実行させるキーです。

【さ】 サーバ・マシン

「Client/Server モデル」のネットワークで、情報を蓄積し、「クライアント・マシン」からの要求に応じて情報を送り出すコンピュータのことです。

HiBase の「ネットワーク・サーバ」は、複数の「クライアント・マシン」から異なるプロトコルでの同時アクセスが可能です。

サイズボックス

ウィンドウの右端にある、正方形が2つ重なったボックス（）です。

ウィンドウのサイズを拡大、縮小するときに使います。

【し】 質問パネル

HiBase からあなたに質問するメッセージを表示するパネルです。

質問パネルの表示されるメニューには " ... " が付いています。

シフトクリック

Shift キーを押しながらマウスをクリックすることです。

長い範囲の選択や、選択範囲の変更時に使います。

詳細表示

「データベース」に保管してあるデータを、1レコードごとに「詳細表示」のウィンドウに表示することです。

詳細レイアウト

「詳細表示」用のレイアウトです。

【す】 スクロール

「ファイル」や「プロジェクト」の全体を見るために、「ウィンドウ」を上下左右に移動することです。

スクロールアロー

「スクロールバー」の端にある矢印です。

クリックすると1行、1段ずつ、押し続けると連続的にスクロールします。

スクロールバー

「ウィンドウ」の右側、下にある長方形のバーです。

スクロールバーの中には、「スクロールアロー」、「スクロールボックス」があります。

スクロールボックス

「スクロールバー」の中にある正方形のボックスです。

「ファイル」全体に対する、現在の表示位置を示します。

スペースバー

キーボード上の細長いバーです。

文章に空白を入れたり、かな漢字変換の変換キーとして使います。

【せ】 制御コード

コンピュータの制御機能を表すため、通常の文字とは別の意味を持つ特殊コードのことです。

改行コード、改段コード、改ページコード、タブコードなどがあります。

セッション

HiBase のデータを表示するための「ブラウザ (閲覧用紙)」です。

HiBase の「データベースファイル」には、最大255個の「セッション」を作成することができます。

選択

作業を行う場所や命令をマウスで指示することです。

【そ】 挿入ポイント

文書の中に新しい文字やグラフィックスなどを付け加えることができる位置です。

挿入ポイントは点滅する縦のバー「挿入ポインタ」で表示されます。

ソート

ある「特定の項目」を選び出し、その項目に対応するデータが「アルファベットや五十音の昇順 / 降順」になるようにデータを並べ変えることです。

ソート条件

データを並べ変えるための条件のことです。

「**Session**」では、例えば「"ショップ名" があ〜ん順で、"記入日" が早い順で、"エントリー番号" が若い順で...」のようにソート条件をセットします。

【た】 タイトルバー

「ウィンドウ」上部にあるバーです。

「ウィンドウ」の位置を移動するときなどに使います。

ダブルクリック

ポインタを目的の場所に合わせ、マウスを動かさずに、すばやく2度連続してマウスのボタンを押して離す動作のことです。

【ち】 チェックボックス

質問パネルなどの選択事項についている正方形のボックス (□) のことです。

選択された事項にはチェックマークが付きます。

【て】 定義ファイル

「データベースファイル」、「アイテム」、「キー」などの定義を記述した「テキストファイル」のことです。

データスキーマ

「データベース」に保管することのできるデータの種類の種類です。

HiBase は、「グラフィックス」、「サウンド」、各種「ドキュメント」... などもサポートしています。

データファイル

「データベース」に保管してある文字列や数値の情報を、外部ファイル (「テキストファイル」) にしたものです。

データベース

コンピュータで扱う「情報の基地」のことです。

HiBase は、最大255個の「データベース」を管理することができます。

データベース管理者

「データベース」や「データベース・ファイル」の作成 / 削除 / メンテナンス... など、「データベース」の運用 / 管理を行なう権限を持つ人のことです。

データベースファイル

「データベース」に情報を収納するファイルです。

HiBase の「データベース」は、最大64,000個の「データベースファイル」を管理することができます。

ディスク

情報を収納する磁気媒体です。

マッキントッシュでは、主に3.5インチのディスクを使います。

デスクアクセサリ

アップルメニューに用意されている " ミニ・アプリケーション " で、計算機、メモ用紙、時計、スクラップブックなどがあります。

デスクトップ

スクリーンのグレー部分およびメニュー部分のことです。
画面を机に見立てたもので、「デスクトップ」と呼ばれています。

電子メール

「ホスト・コンピュータ」を利用して、メッセージを交換するシステムです。

HiBase を利用すれば、「メーリング・リスト」など、「電子メール」を利用した独自のグループ・コミュニケーション・システムを開発することができます。

【と】 ドメイン名 (Domain Name)

「インターネット」の参加者を識別するための番号です。

HiBase の各サーバとの接続時、「ホスト名」に入力してください。

ドライブ

ディスクから情報を読み取ったり、ディスクに情報を保存する装置です。

【は】 バイナリ

CPU のアーキテクチャーに従った命令フォーマットで記述されている「プログラム」です。

マッキントッシュ同士で「アプリケーション・プログラム」や「アイコン」などの「リソース・ファイル」をやり取りする場合などに利用します。

反転表示

プルダウンメニュー、アイコン、文書または候補ウィンドウ内の同音異義語などの選択を示す反転した状態です。

【ひ】 開く

「データベース」や「データベースファイル」の内容を、画面に表示させることです。

【ふ】 ファイル

ディスクに収納された、ひとかたまりの文書です。

ファインダ

マッキントッシュの「オペレーションシステム」です。

HiBase の「基本アプリケーション」を管理したり、「ディスク」のコピーなどを行います。

フォルダ

「デスクトップ」の書類や「アプリケーション・プログラム」などを入れて、ファイルを整理しておくところです。

ブラウジング

「データベース」のデータの表示 / 編集作業を行なうことです。

HiBase は、基本アプリケーションの「**Session**」や、Java アプレットの「**HBBrowser**」を利用してブラウジングの作業を行ないます。

プラットフォーム (Platform)

電車の「プラットフォーム」のように、何かの基盤として機能するものことです。

HiBase は、Macintosh、UNIX、Windows の主要マルチプラットフォーム上で稼働し、特殊なOSへの移植も短期間で行うことができるように設計されています。

プルダウンメニュー

メニューバー上部に表示されているトップメニュー項目にポインタを合わせてマウスのボタンを押したときに表示されるメニュー項目のことです。

フレーム

「一覧レイアウト」や「詳細レイアウト」で、データを表示するエリアのことです。

「**Session**」の「フレーム」には、文章や数値だけでなく、絵や音声を入れることもできます。

【へ】

ペースト

「ファイル」からカット、またはコピーされ、「クリップボード」に保管された内容を、「ファイル」や「スクラップブック」、「メモ用紙」などに貼り付けることです。

編集

データを手直しすることです。

HiBase の「データベースファイル」には、最大255個の「セッション」を作成することができます。

【ほ】

ポインタ

マウスを動かして、作業するポイントを指示する目印です。

作業によって、ポインタは「」、「」、「」などに変化します。

保存

作成した文書を、ディスクに書き込むことです。

【ま】

マウス

机の上を滑らせながら使うワンボタン式の小さな指示装置です。

デスクトップ上にあるポインタがマウスの動きに合わせて移動します。

マルチウィンドウ

デスクトップにオープンされた複数のウィンドウのことです。

マルチバリュー

1つのデータ項目に複数の値（バリュー）を格納することです。

HiBase は、すべてのデータ項目に複数のバリューを格納することができます。

【め】

メニュー

「メニューバー」から選ぶ「命令」の総称です。

「メニューバー」の上でマウスのボタンを押すと、その下に「プルダウンメニュー」が表示されます。

メニューバー

デスクトップ上部のメニュー項目が並んでいる部分です。

メモリ

マッキントッシュの本体の中で作業中の情報を収納する場所です。

【れ】

レイアウト

項目の配置や、ラジオボタン、チェックボックスのセット... など、データの表示方法の「設計図」のことです。

HiBase の「セッション」には、「詳細レイアウト」と「一覧レイアウト」の2つの「レイアウト」をセットすることができます。

(1つの「セッション」の中に、最大255個の各「レイアウト」を作成することができます。)

レコード

「データベース」に保管してある1件ごとのデータのことで。

【ろ】

ログイン (log in)

ネットワークへのアクセスを開始することです。

ログオフ (log off)

ネットワークへのアクセスを終了することです。

ロード

「データベース」の情報を、読み込んだり、書き出すことです。

HiBase は、「データ」をロードする場合、「フォームファイル」、「データファイル」の2つの「ロードファイル」を使います。

HiBase の主な仕様



Commentary...

HiBase の使用環境 / 基本仕様は、以下のとおりです。

標準的な使用環境

マッキントッシュ本体
および、漢字Talk 7.1以上の日本語システム

マッキントッシュファミリー

「Macintosh 68030」以上の機種、または、
すべての「Power Macintosh」でご利用いただけます。

ネットワーク環境でご利用いただくためには、「Macintosh と互換性のある
TCP/IP ネットワーク環境」が必要です。

「Web サイト」をご利用いただくためには、ネットワーク・クライアント用
のコンピュータに「Microsoft Internet Explorer」や「Netscape Navigator」など
の「Web ブラウザ」が必要です。



HiBase を安定した動作でご利用いただくためには、
マッキントッシュ本体に以下の「メインメモリ」が必要です。

シングル・ユース用 マッキントッシュ

| | |
|-----------------|---------|
| 68K Macintosh | 8 MB 以上 |
| Power Macintosh | 16MB 以上 |

ネットワーク・サーバ用 マッキントッシュ

| | |
|-----------------|---------|
| 68K Macintosh | 8 MB 以上 |
| Power Macintosh | 32MB 以上 |

ネットワーク・クライアント用 マッキントッシュ

| | |
|-----------------|---------|
| 68K Macintosh | 8 MB 以上 |
| Power Macintosh | 16MB 以上 |

各 内蔵または外付けのハードディスク

ハードディスクに以下の空きメモリが必要です。

シングル・ユース用 ハードディスク

2,500 KB 以上の空きメモリが必要です。

ネットワーク・サーバ用 ハードディスク

10 MB 以上の空きメモリが必要です。

ネットワーク・クライアント用 ハードディスク

2,500 KB 以上の空きメモリが必要です。

各 CD-ROM ドライブ、フロッピーディスクドライブ

各 モニタ、プリンタ装置

マッキントッシュ対応モニタ、プリンタ全機種
(プリンタ装置がなくてもデータベース操作はできます。)



「**HiBase** 開発環境」内の、
「バイナリ形式」の「インタフェース・プログラム」を
ご利用いただくためには、
「**Metro Werks CodeWarrior**」が必要です。



その他のハードウェアについては、販売店にご相談ください。

HiBase の基本仕様



HiBase の「基本仕様」は、以下のとおりです。

【 HiBase 仕様一覧】

HiBase は、最大255個の「データベース」を管理することができます。
(アクティブな「データベース」は1つだけです。)

| | | |
|-----------------|---|----------------------|
| ファイル数 / データスペース | : | 64,000 |
| フィールド数 / ファイル | : | 255 |
| キー数 / ファイル | : | 250 |
| レコード数 / ファイル | : | 16,777,216 or 65,535 |

| | | |
|----------|---|-----|
| 最大フィールド数 | : | 255 |
| 最大フィールド長 | : | 無制限 |

ただしキーフィールドは 127 Bytes

| | | |
|----------|---|---|
| フィールドタイプ | : | char (< 255), numeric (< 16), Binary (<16 M) Date, Time, DateTime |
|----------|---|---|

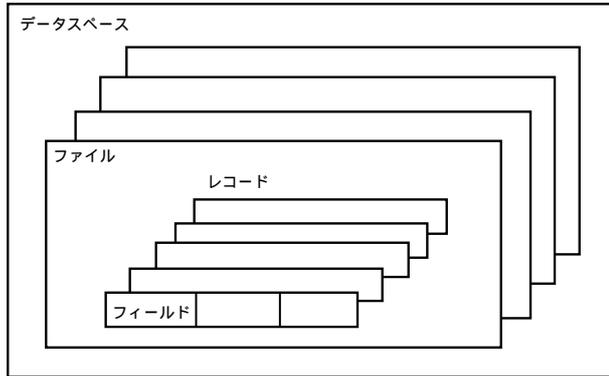
| | | |
|------|---|-----------------|
| 最大容量 | : | 単一ディスクデバイスの容量まで |
|------|---|-----------------|

| | | |
|---------|---|----|
| ジョインの有無 | : | 無し |
|---------|---|----|

| | | |
|------|---|-------------------------|
| 実行方式 | : | Multi User/Multi Thread |
|------|---|-------------------------|

【 論理構造 】

HiBase の論理構造



データスペース (= DataBase)

ファイル (= Relation)

レコード (= tuple)

フィールド (= item)

【 物理構造 】

HiBase / ファイルの物理構造

ファイル毎にディレクトリ (フォルダ) が作られる





「HiBase」で、

多彩な「データベース・システム」を構築／運営してください...



[表紙へ...](#)（終わり）

